データと資料が語る神戸大学の今の姿

平成２４年度　神戸大学データ資料集

写真：神戸大学社会科学系図書館　本館2階天井

目次

1. 神戸大学（Kobe University）の概要

平成24年5月1日現在

区分			入学定員	入学者数	総定員	在籍者数	
学生等数	学部		2,703	2,770	10,696	11,861	(3,999)
	大学院	修士（博士前期）	1,226	1,260	2,446	2,767	(904)
		博士（博士後期）	389	344	1,247	1,589	(551)
		専門職学位課程	149	156	378	341	(69)
	合計		4,467	4,530	14,767	16,558	(5,523)
	外国人留学生数		学部（内数）	大学院生（内数）	研究生等	計	
			108	740	284	1,132	(633)
	附属学校		学級数		在籍者数		
			52（2）注1学級		1,548（帰国子女28）		
区分			教員数	附属学校教諭	その他職員数	計	
教職員数	合計		1,505注2	119	1,813	3,437	
	（女性教職員数）		(215)	(47)	(1,135)	(1,397)	
	女性比率		14.3%	39.5%	62.6%	40.6%	

※（ ）内は女子を内数で表す。
注1：学級数の（ ）は、帰国子女教育学級を外数で示す。
注2：役員及び特別顧問を含む。

主要キャンパス	六甲台地区	本部、人文学・国際文化学・人間発達環境学・法学・経済学・経営学・理学・工学・ｼｽﾃﾑ情報学・農学・国際協力研究科、経済経営研究所、附属図書館など	約44ha
	楠地区	（医学、病院など）	約5ha
	深江地区	（海事科学、乗船実習科など）	約11ha
	名谷地区	（保健学）	約3ha
	住吉地区	（附属中等教育学校など）	約3ha
	明石地区	（附属幼稚園・小学校など）	約3ha
	大久保地区	（附属特別支援学校）	約2ha
	加西地区	（食資源教育研究センター）	約40ha
予算規模	平成24年度　約575億円（うち運営費交付金　約208億円） ※外部資金（受託研究収入、寄付金収入等）は除く。		

神戸大学の規模

［規模の比較（国立間）］

学部数

順位	大学名	学部数
1	北海道大学	12
2	神戸大学	11
2	大阪大学	11
2	岡山大学	11
2	広島大学	11
2	九州大学	11
7	東北大学	10
7	東京大学	10
7	京都大学	10
10	筑波大学	9
10	千葉大学	9
10	新潟大学	9
10	名古屋大学	9

学部入学定員

順位	大学名	入学定員
1	大阪大学	3,255
2	東京大学	3,063
3	京都大学	2,866
4	九州大学	2,555
5	神戸大学	2,543
6	北海道大学	2,485
7	東北大学	2,386
8	広島大学	2,355
9	千葉大学	2,320
10	新潟大学	2,245
11	岡山大学	2,198
12	名古屋大学	2,107
13	筑波大学	2,077

大学院数

順位	大学名	大学院数
1	九州大学	18
1	北海道大学	18
3	京都大学	17
4	大阪大学	16
4	東北大学	16
6	東京大学	15
7	神戸大学	14
7	名古屋大学	14
9	広島大学	11
10	鹿児島大学	10
11	千葉大学	9
11	山口大学	9

大学院入学定員

順位	大学名	入学定員	入学定員(M)	入学定員(P)	入学定員(D)
1	東京大学	4,931	2,824	395	1,712
2	京都大学	3,644	2,215	324	1,105
3	大阪大学	3,031	2,009	80	942
4	東北大学	2,751	1,773	150	828
5	九州大学	2,686	1,721	175	790
6	筑波大学	2,396	1,651	66	679
7	北海道大学	2,385	1,575	130	680
8	名古屋大学	2,321	1,525	70	726
9	東京工業大学	2,151	1,544	40	567
10	神戸大学	1,764	1,226	149	389
11	広島大学	1,555	1,017	48	490
12	千葉大学	1,235	936	40	259
13	岡山大学	1,146	810	65	271

学部・大学院入学定員

順位	大学名	入学定員
1	東京大学	7,994
2	京都大学	6,510
3	大阪大学	6,286
4	九州大学	5,241
5	東北大学	5,137
6	北海道大学	4,870
7	筑波大学	4,473
8	名古屋大学	4,428
9	神戸大学	4,307
10	広島大学	3,910
11	千葉大学	3,555

教員（常勤）

順位	大学名	教員数
1	東京大学	4,797
2	京都大学	3,686
3	大阪大学	3,106
4	東北大学	2,648
5	筑波大学	2,207
6	北海道大学	2,089
7	九州大学	2,082
8	広島大学	1,770
9	名古屋大学	1,724
10	神戸大学	1,597
11	岡山大学	1,532

※附属学校教諭を含む。

職員（常勤）

順位	大学名	職員数
1	東京大学	3,986
2	京都大学	2,975
3	東北大学	2,711
4	大阪大学	2,478
5	北海道大学	2,207
6	九州大学	2,012
7	岡山大学	1,903
8	神戸大学	1,702
9	筑波大学	1,598
10	広島大学	1,518
11	名古屋大学	1,456

※附属病院看護師を含む。

運営費交付金

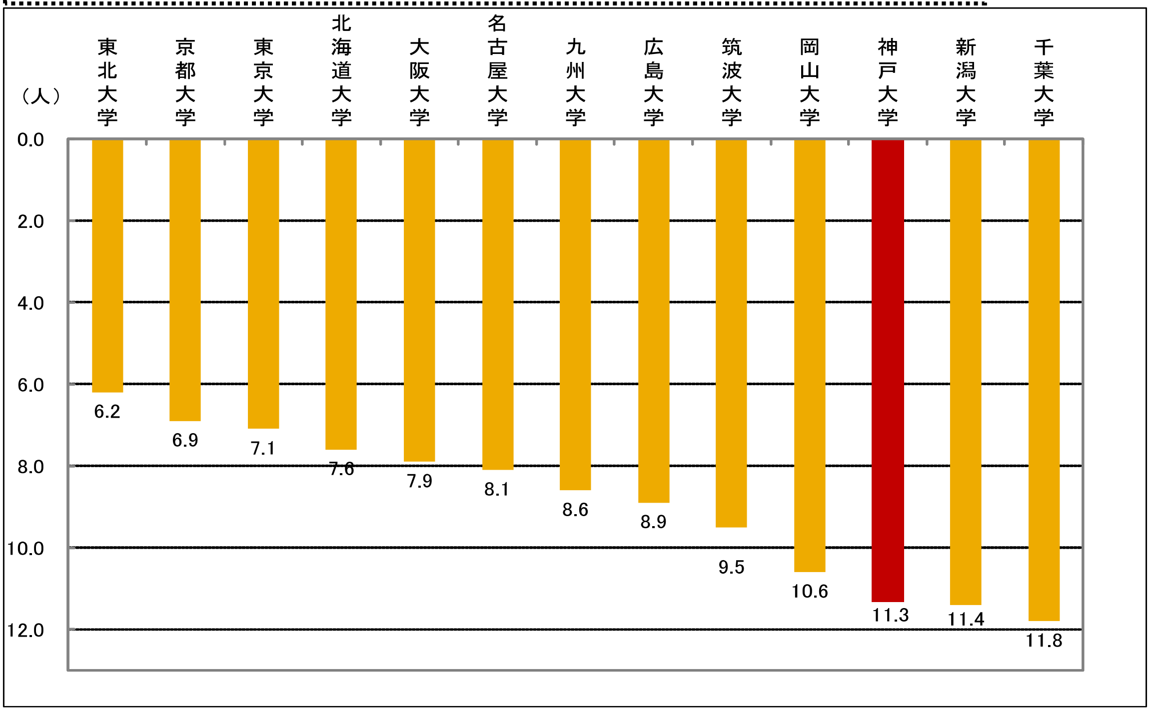
順位	大学名	金額
1	東京大学	84,037
2	京都大学	56,524
3	東北大学	50,508
4	大阪大学	47,455
5	筑波大学	42,674
6	九州大学	41,953
7	北海道大学	37,888
8	名古屋大学	32,874
9	広島大学	25,797
10	東京工業大学	21,746
11	神戸大学	20,830

※単位は百万円。百万円未満は切り捨て。

注）1. 学部・大学院数、入学定員については、「全国大学一覧（平成24年度）」により確認した。
2. 教職員数については、各国立大学法人の「事業報告書（平成22年度）」により確認した。
3. 運営費交付金については、平成24年度「国立大学運営費交付金」法人別予定額により確認した。

大規模13大学の教員一人当たり学生数の比較

神戸大学は学生数に比して教員数が少ない状況にある。



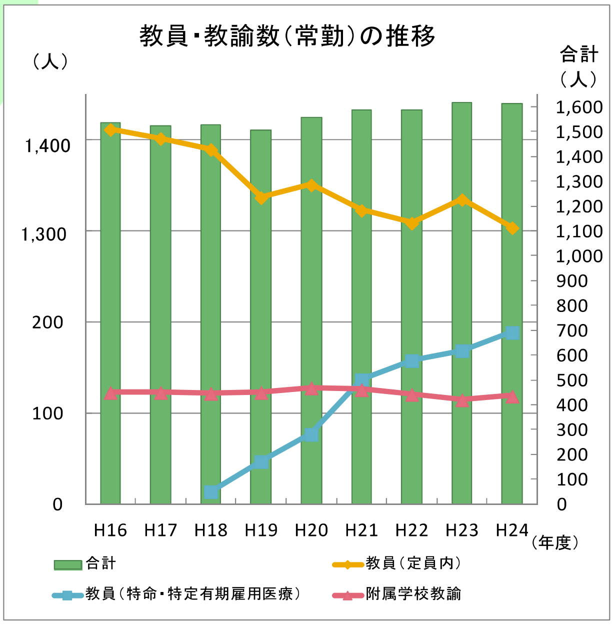
出　　典：国立大学法人財務データ概覧（平成22年度版）
算出方法：学校基本調査・平成22年度（5月1日現在の員数　）
学生数（学部＋大学院在籍者数）÷常勤教員総数（本務者）

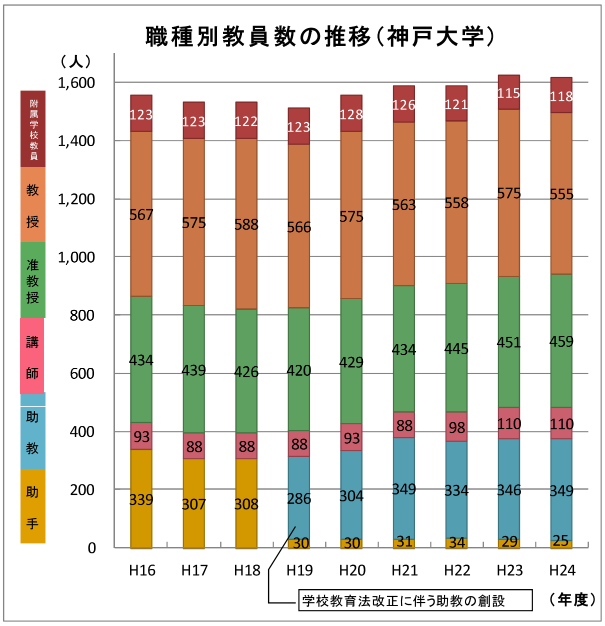
２－１．教員数の推移等

法人化時の常勤教員（定員内）が減り、特命教員及び特定有期雇用医療教員が増えている。また、職種別では、助教、講師、准教授の採用が増えている。

◆教員◆

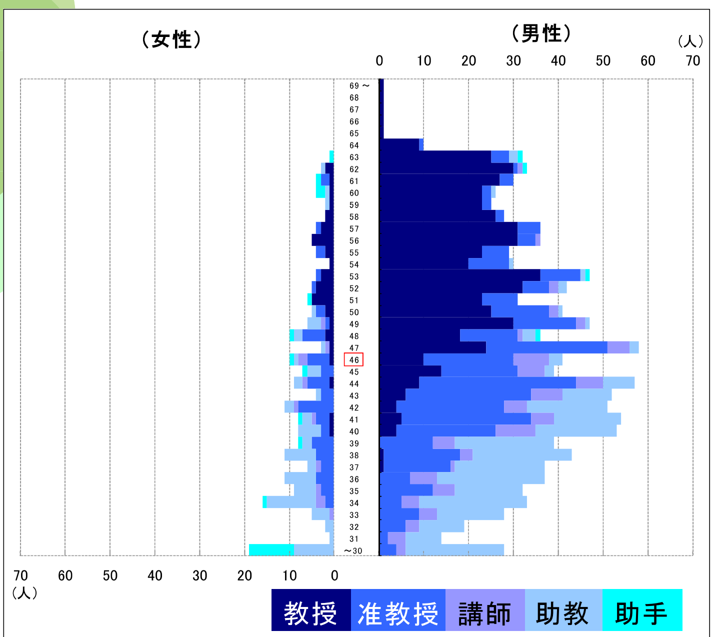
各年度5月1日現在





◆年齢別・職種別教員数◆

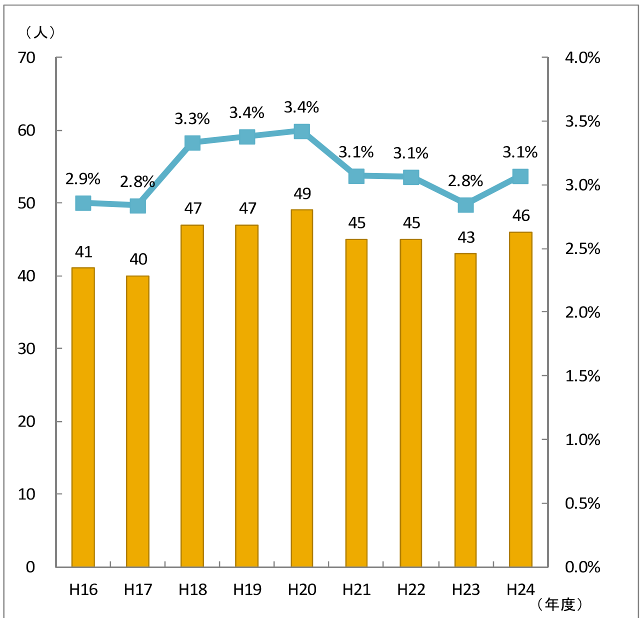
平成24年5月1日現在教員（年齢は平成24年5月1日現在）



教員平均年齢46歳（46.04歳：平成24年5月1日現在満年齢）

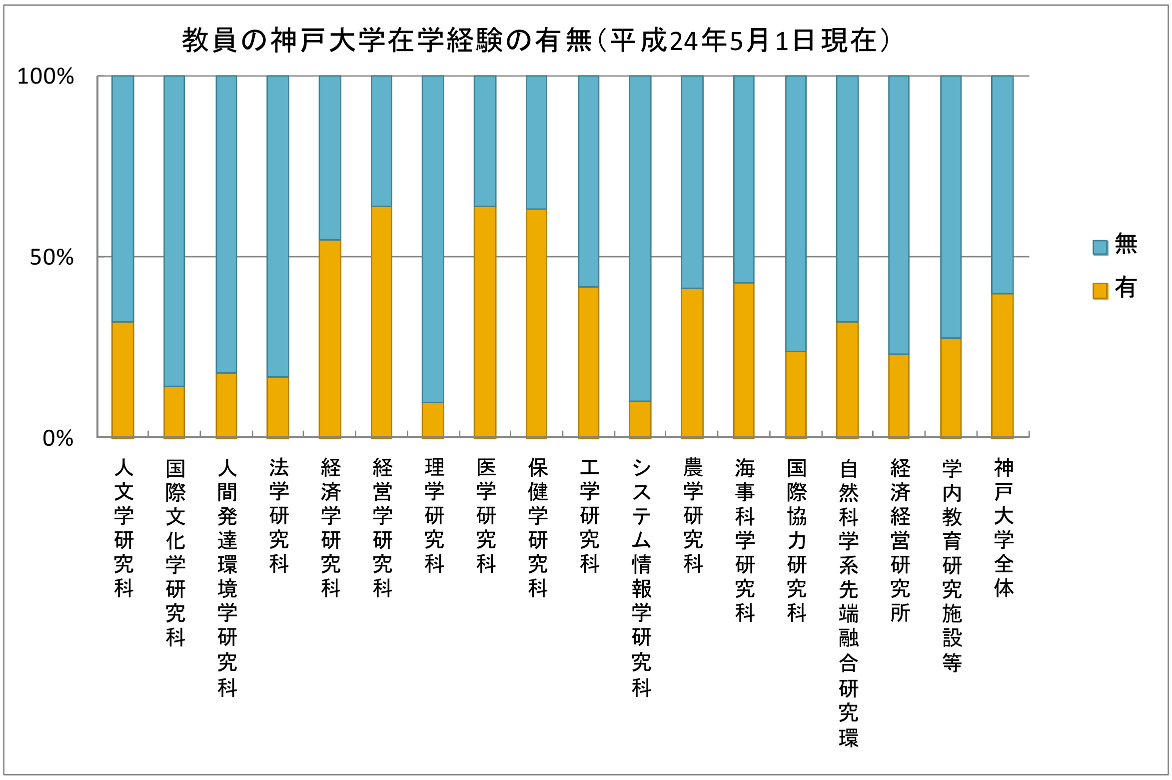
◆外国人教員数・外国人教員比率の推移◆

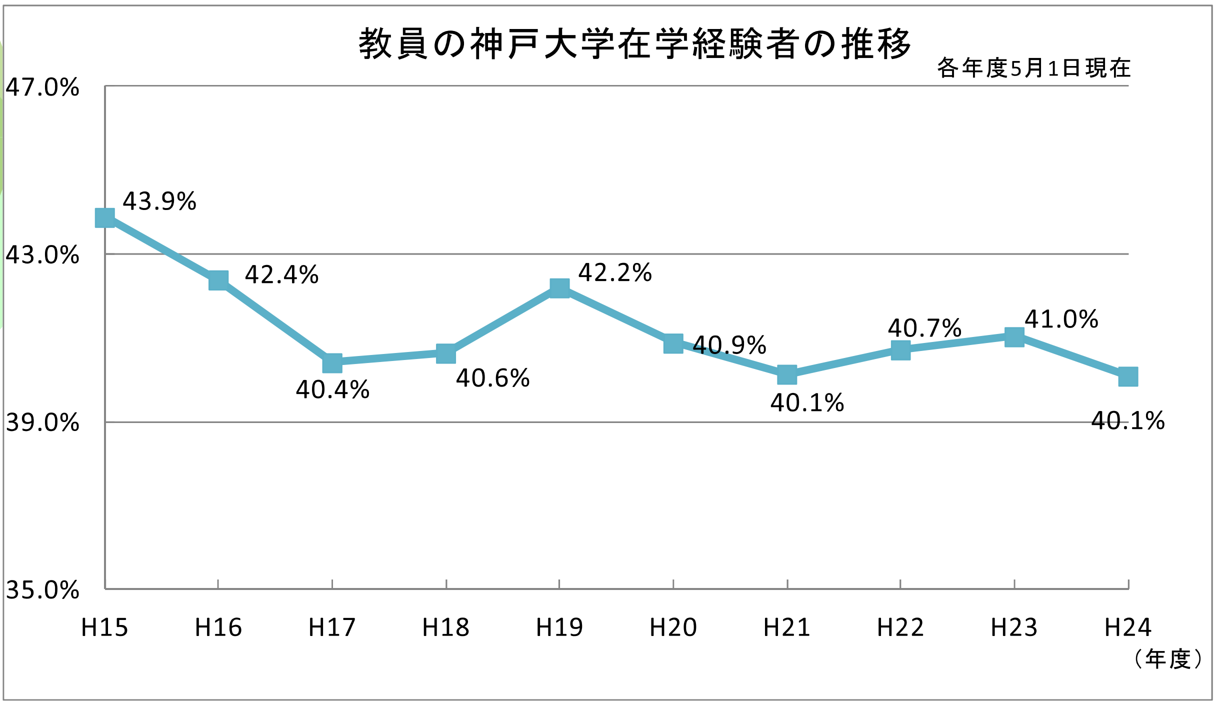
各年度５月１日現在の外国人教員（比率は全教員に対する外国人教員の率）



※平成23年5月1日現在の外国人教員の国籍は、中華人民共和国、アメリカ合衆国、大韓民国、イギリス及びドイツ等15の国と地域となっております。

2－2. 教員の神戸大学在学経験者数



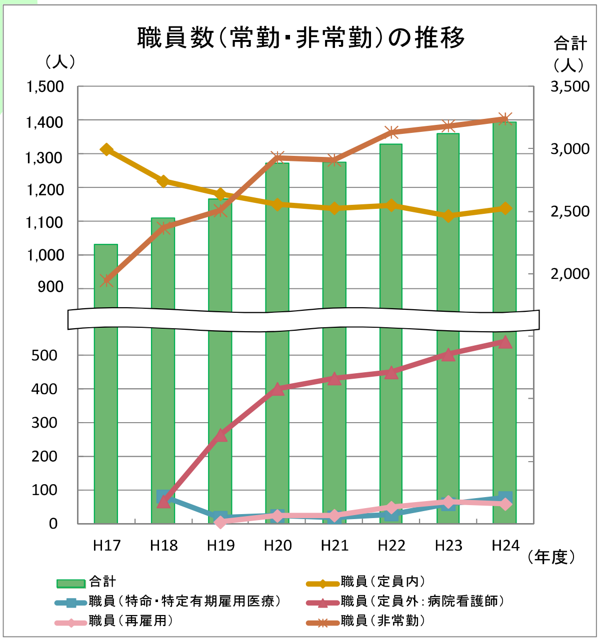


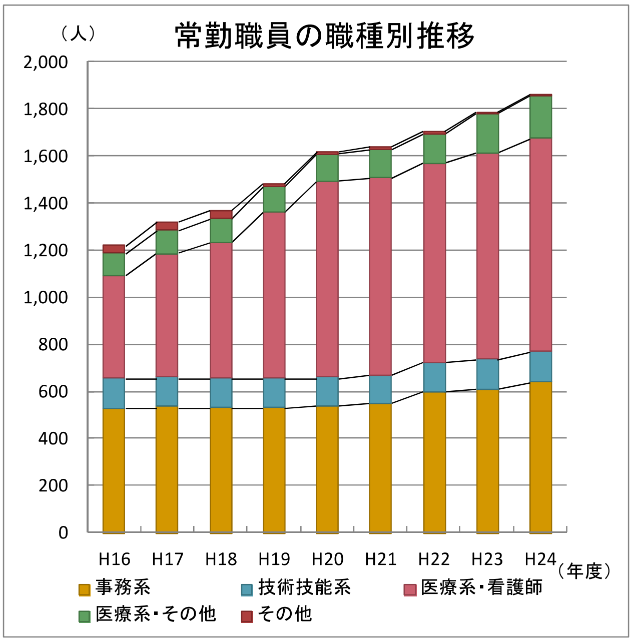
３． 職員数の推移

法人化以降、常勤職員（定員内）が減少している一方で、非常勤職員等が増えている。
また職種別では、特に看護師の数が増えている。

◆職員◆

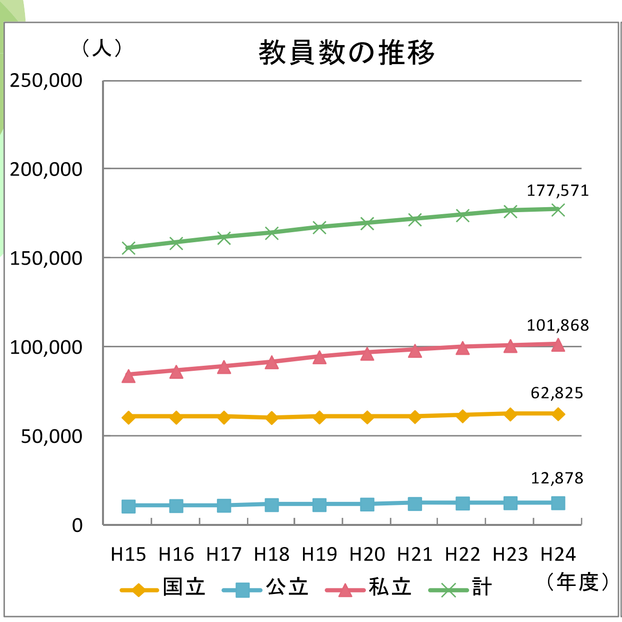
各年度5月1日現在

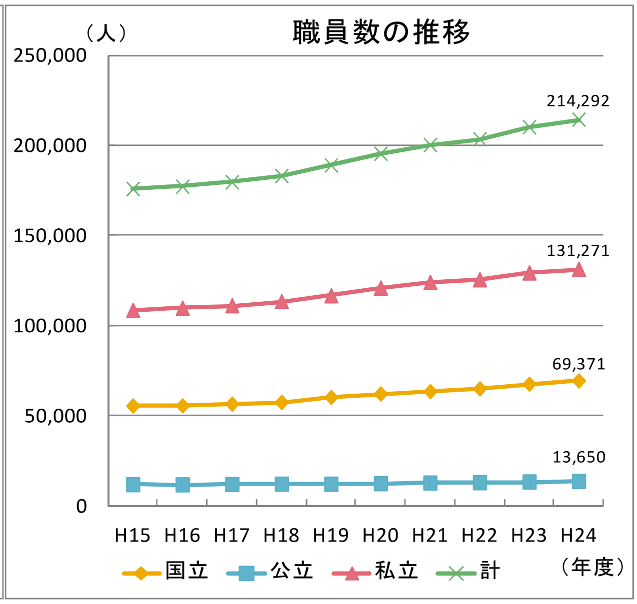




３．【参考】国公私立大学の教職員数の推移

各年度5月1日現在





※出典：文部科学省　学校基本調査より作成

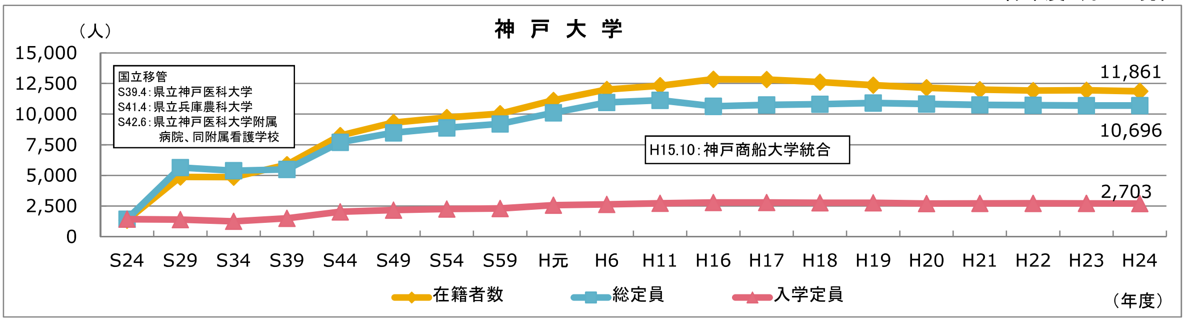
教育

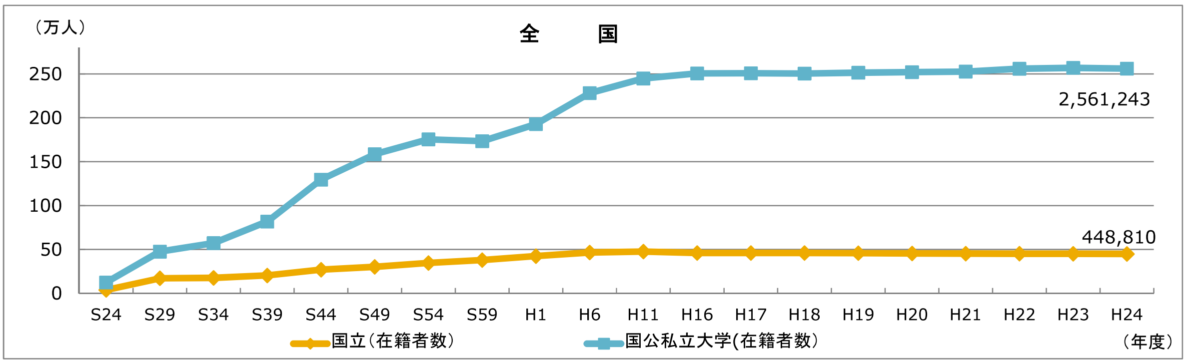
4. 学生定員の推移

総定員に対する在籍者数の比率は、学部及び修士・博士前期課程においては約1.1倍、博士・博士後期課程においては約1.3倍となっている。

【学　　部】

各年度5月1日現在



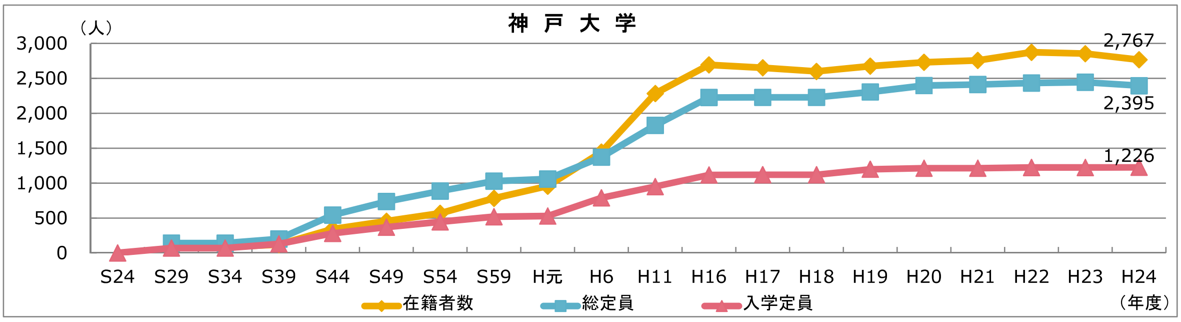


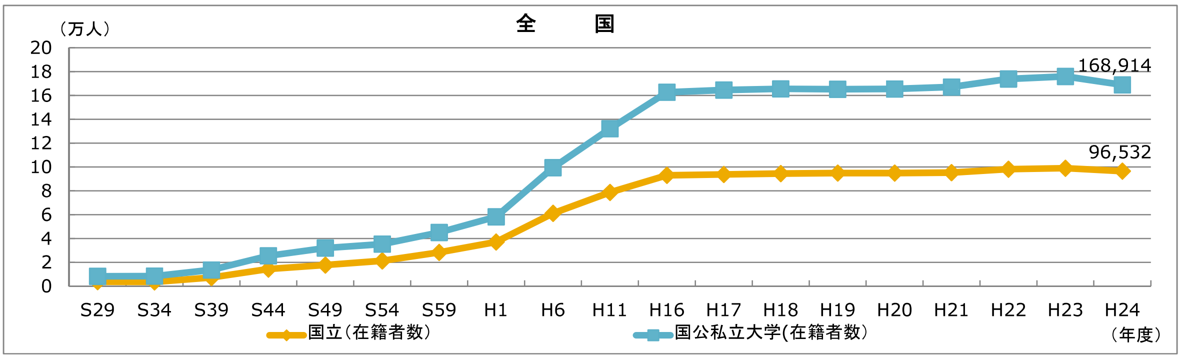
※出典：文部科学省　学校基本調査報告書・学校基本調査より作成

教育

【修士・博士前期課程】

各年度5月1日現在

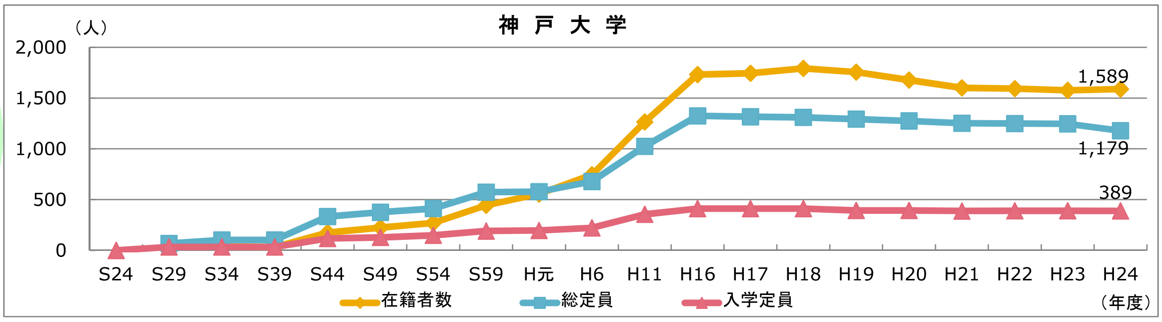


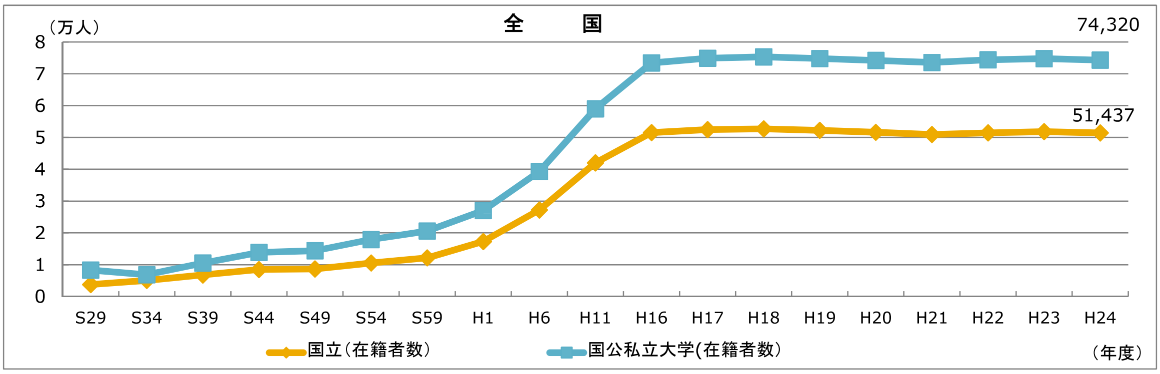


※出典：文部科学省　学校基本調査報告書・学校基本調査より作成

【博士・博士後期課程】

各年度5月1日現在

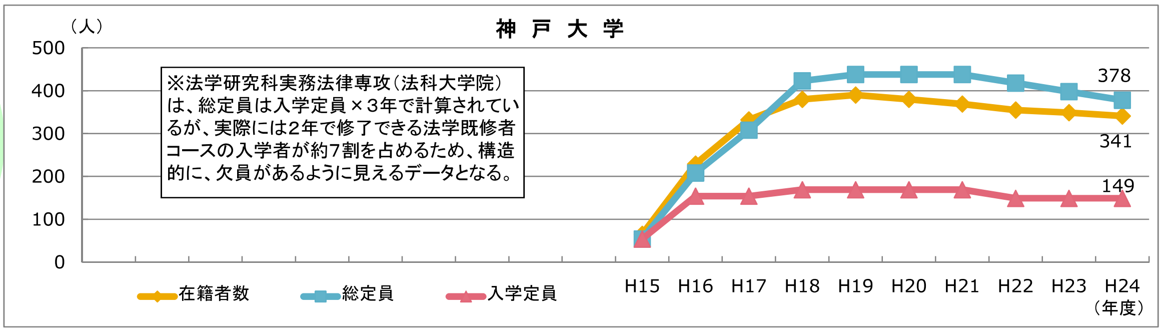


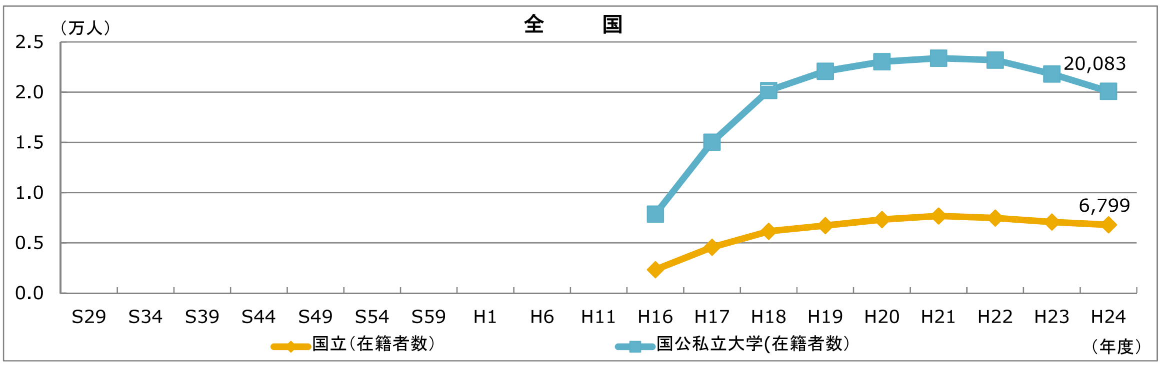


※出典：文部科学省　学校基本調査報告書・学校基本調査より作成

【専門職学位課程】

各年度5月1日現在





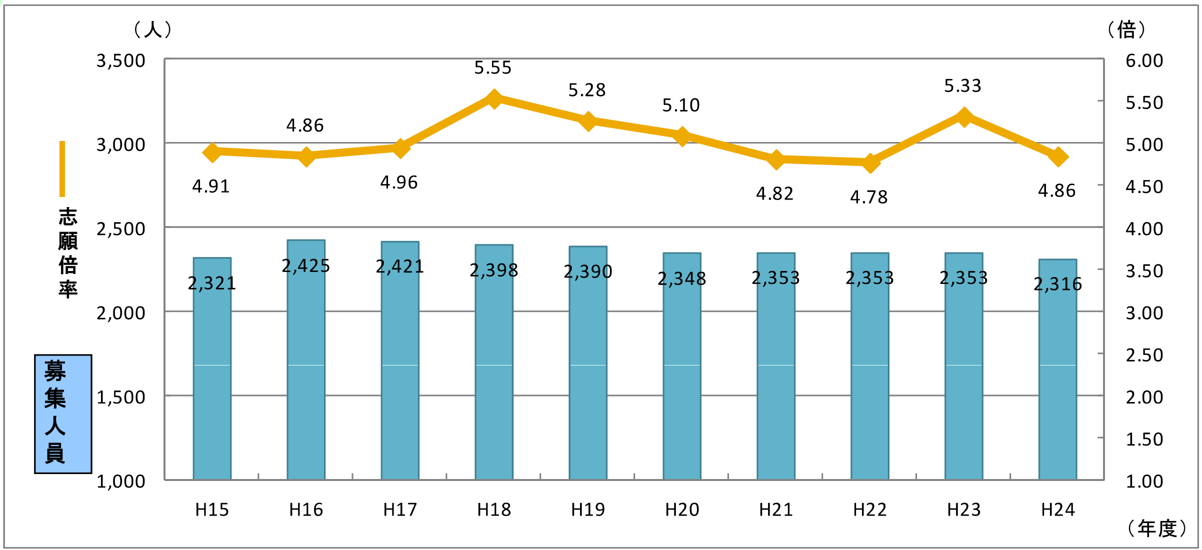
※出典：文部科学省　学校基本調査報告書・学校基本調査より作成

教育

5. 学部一般選抜志願状況

神戸大学における志願倍率は、毎年度4倍以上を確保しており、18歳人口が減る一方で、安定した人員確保を行っている。

◆神戸大学◆



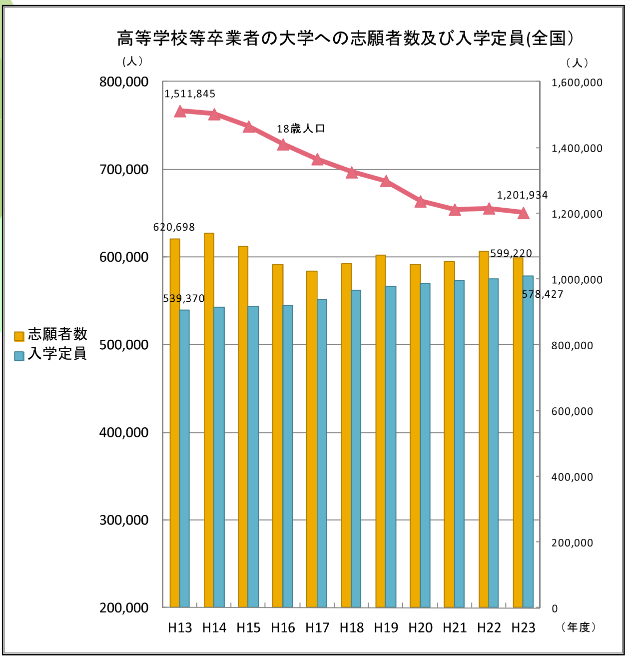
教育

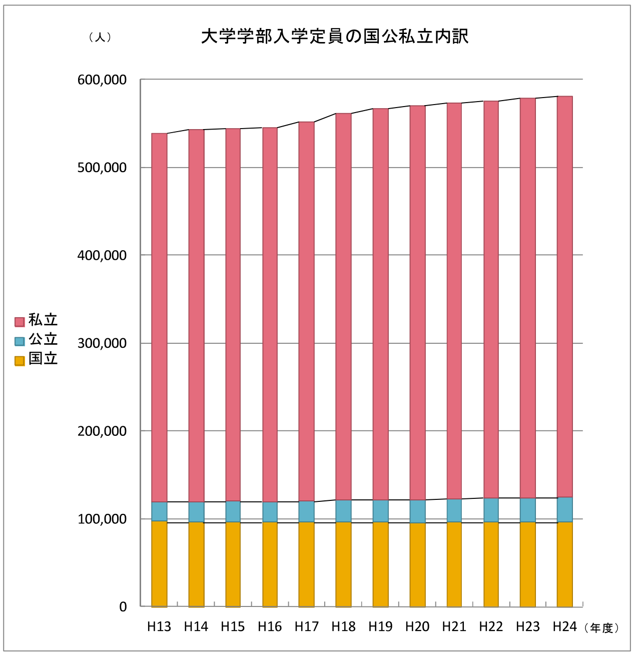
平成22～24年度国立大学入学者選抜に関するデータ（倍率上位40位）

順位	平成22年度	募集人員	志願者数	倍率	平成23年度	募集人員	志願者数	倍率	平成24年度	募集人員	志願者数	倍率
1	東京芸術	477	4,744	9.9	岐阜	1,001	9,724	9.7	旭川医科	112	1,488	13.3
2	岐阜	1,004	9,551	9.5	東京芸術	477	4,588	9.6	東京芸術	477	4,182	8.8
3	北見工業	307	2,436	7.9	鳴門教育	83	652	7.9	岐阜	1,015	8,507	8.4
4	旭川医科	112	812	7.3	旭川医科	112	841	7.5	宮崎	819	5,936	7.2
5	山梨	581	4,046	7.0	東京海洋	372	2,674	7.2	奈良教育	213	1,523	7.2
6	滋賀	613	4,166	6.8	滋賀	613	4,209	6.9	北見工業	307	2,186	7.1
7	鳥取	936	5,981	6.4	宮崎	797	5,461	6.9	兵庫教育	102	724	7.1
8	浜松医科	120	759	6.3	奈良教育	213	1,432	6.7	浜松医科	120	844	7.0
9	電気通信	621	3,904	6.3	山梨	576	3,852	6.7	鳥取	934	6,271	6.7
10	兵庫教育	102	640	6.3	上越教育	110	675	6.1	東京海洋	372	2,448	6.6
11	東京海洋	372	2,326	6.3	北見工業	307	1,881	6.1	山梨	626	4,030	6.4
12	大分	813	5,025	6.2	秋田	742	4,511	6.1	鳴門教育	83	522	6.3
13	鳴門教育	83	497	6.0	島根	857	5,157	6.0	秋田	744	4,605	6.2
14	奈良教育	213	1,264	5.9	東京外国語	715	4,269	6.0	福井	674	4,076	6.0
15	宮崎	802	4,624	5.8	横浜国立	1,488	8,878	6.0	徳島	924	5,582	6.0
16	横浜国立	1,471	8,371	5.7	東京工芸	1,008	5,931	5.9	滋賀	608	3,660	6.0
17	上越教育	110	609	5.5	電気通信	621	3,613	5.8	東京外国語	703	4,130	5.9
18	徳島	923	5,076	5.5	東京農工	731	4,244	5.8	電気通信	621	3,643	5.9
19	東京農工	739	3,943	5.3	茨城	1,293	7,207	5.6	横浜国立	1,488	8,610	5.8
20	東京工業	1,008	5,366	5.3	滋賀医科	130	721	5.5	東京農工	731	4,221	5.8
21	福岡教育	546	2,905	5.3	和歌山	777	4,278	5.5	高知	731	4,050	5.5
22	茨城	1,293	6,797	5.3	神戸	2,353	12,539	5.3	富山	1,397	7,671	5.5
23	東京外国語	715	3,745	5.2	徳島	925	4,864	5.3	福島	670	3,546	5.3
24	一橋	920	4,805	5.2	浜松医科	120	626	5.2	信州	1,595	8,357	5.2
25	秋田	739	3,833	5.2	富山	1,396	7,280	5.2	お茶の水女子	370	1,926	5.2
26	富山	1,392	7,214	5.2	千葉	2,066	10,706	5.2	琉球	1,331	6,869	5.2
27	和歌山	780	4,032	5.2	お茶の水女子	371	1,922	5.2	大分	823	4,202	5.1
28	福島	670	3,367	5.0	大分	815	4,204	5.2	島根	858	4,333	5.1
29	信州	1,614	8,055	5.0	鳥取	939	4,836	5.2	京都工芸繊維	558	2,799	5.0
30	三重	1,086	5,419	5.0	弘前	1,100	5,642	5.1	千葉	2,066	10,362	5.0
31	千葉	2,061	10,283	5.0	京都工芸繊維	558	2,858	5.1	弘前	1,103	5,490	5.0
32	東京医科歯科	242	1,207	5.0	埼玉	1,465	7,294	5.0	和歌山	777	3,865	5.0
33	島根	850	4,208	5.0	一橋	920	4,562	5.0	茨城	1,295	6,420	5.0
34	埼玉	1,462	7,147	4.9	福井	677	3,328	4.9	三重	1,079	5,266	4.9
35	お茶の水女子	368	1,771	4.8	琉球	1,324	6,443	4.9	北海道教育	906	4,419	4.9
36	滋賀医科	128	616	4.8	筑波	1,467	7,112	4.8	神戸	2,316	11,250	4.9
37	神戸	2,353	11,249	4.8	三重	1,077	5,178	4.8	東京工業	943	4,566	4.8
38	琉球	1,299	6,196	4.8	愛知教育	774	3,701	4.8	上越教育	110	531	4.8
39	奈良女子	409	1,940	4.7	兵庫教育	102	486	4.8	一橋	920	4,329	4.7
40	大阪教育	879	4,135	4.7	北海道教育	906	4,303	4.7	北海道教育	906	4,303	4.7

※出典：文部科学省「平成24年度国公立大学入学者選抜確定志願状況」より作成

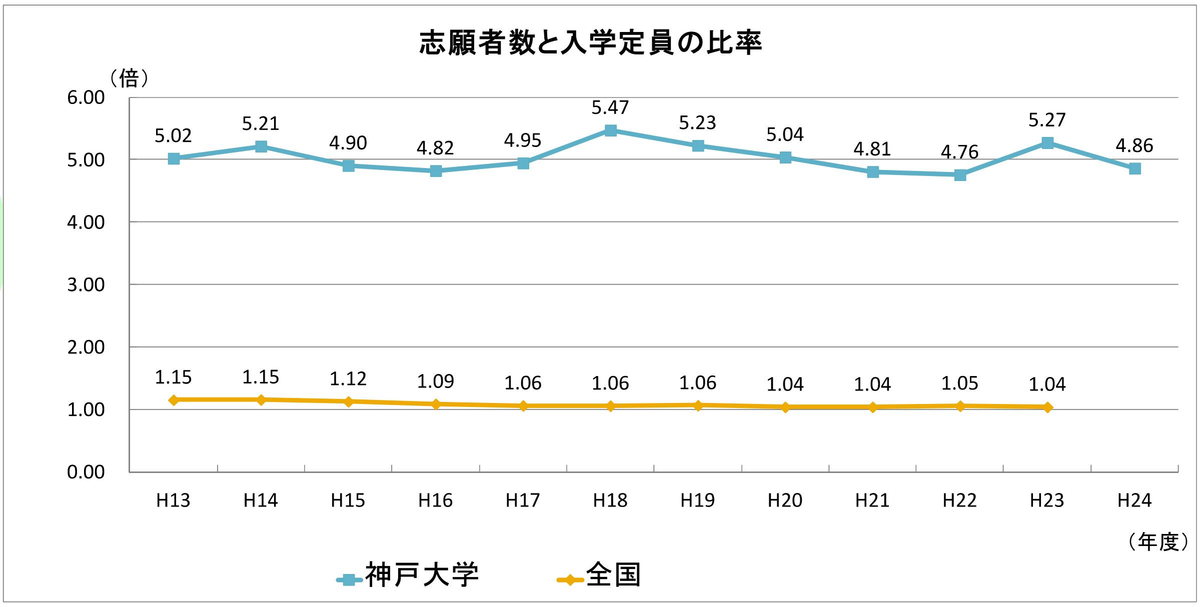
5.【参考】 全国の大学への志願者数及び入学定員





出典
志願者数：学校基本調査　高等学校（全日制・定時制・通信制）及び中等教育学校（後期課程）卒業者の大学への入学志願状況より作成
入学定員：全国大学一覧より作成
18歳人口：文部科学省ホームページデータより作成（３年前の中学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者数により算出）

教育



計算方法：志願者数÷入学定員（いずれも編入学を除く）

神戸大学　志願者数：学部志願者数（一般選抜・推薦・AO入試等も含む、H13～24年度）

全　　国　志願者数：学校基本調査　高等学校（全日制・定時制・通信制）及び中等教育学校（後期課程）卒業者の大学への入学志願状況（H13～23年度）

入学定員：全国大学一覧より作成（H13～23年度）

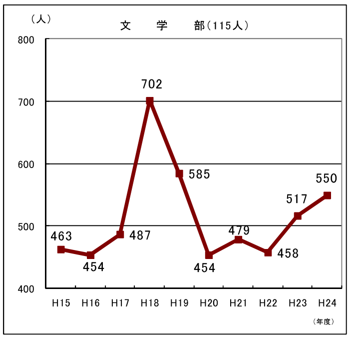
教育

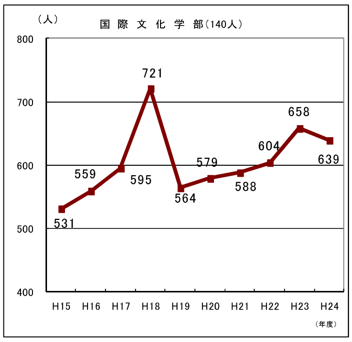
5.【参考】学部毎の一般選抜の志願者数

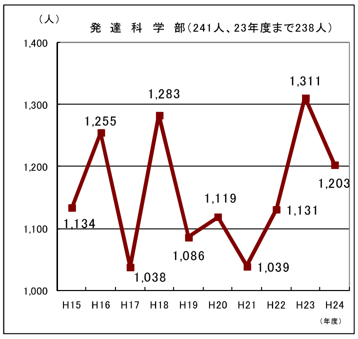
学部毎に分けてみると、法学部において、平成18年度～21年度入試にかけて志願者数の減少が見られたが、その後は安定した人員が確保できている。なお、平成24年度経営学部の志願者が半減しているが、これは後期日程廃止のためである。

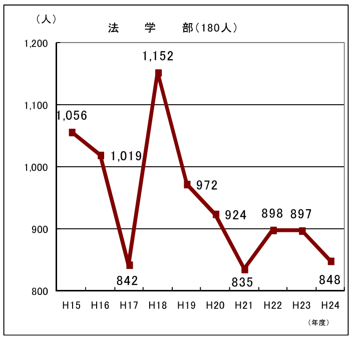
◆神戸大学◆

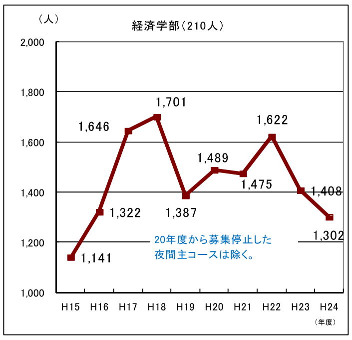
＊学部名欄の（ ）書きは、募集人員を表す。

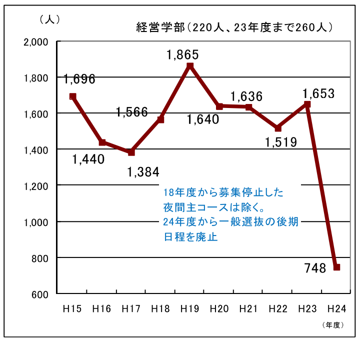








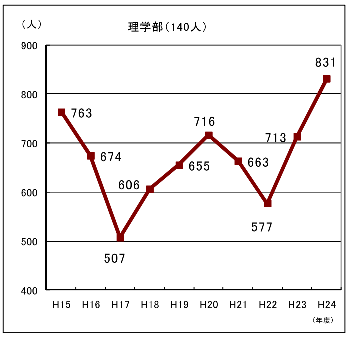


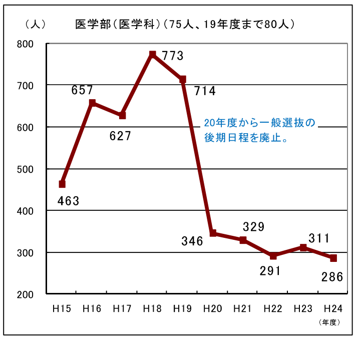


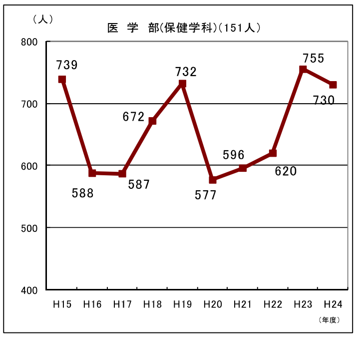
教育

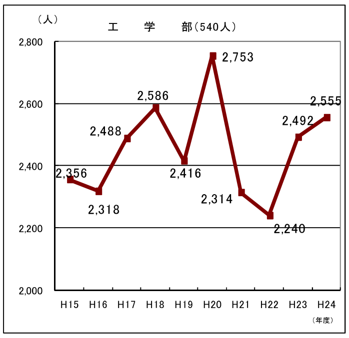
医学部においては、平成20年度から一般選抜の後期日程を廃止したため志願者数が半減したが、その後は安定した人員確保ができている。また平成24年度は、全体的に志願者数が減少した学部が多い中で理学部は増加（17%増）がみられた。

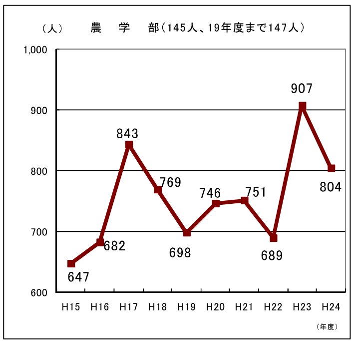
◆神戸大学◆

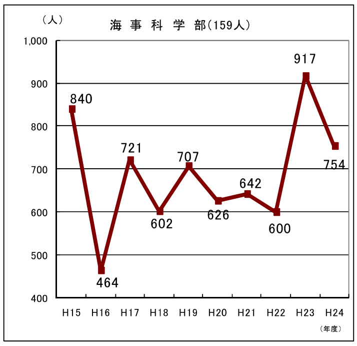








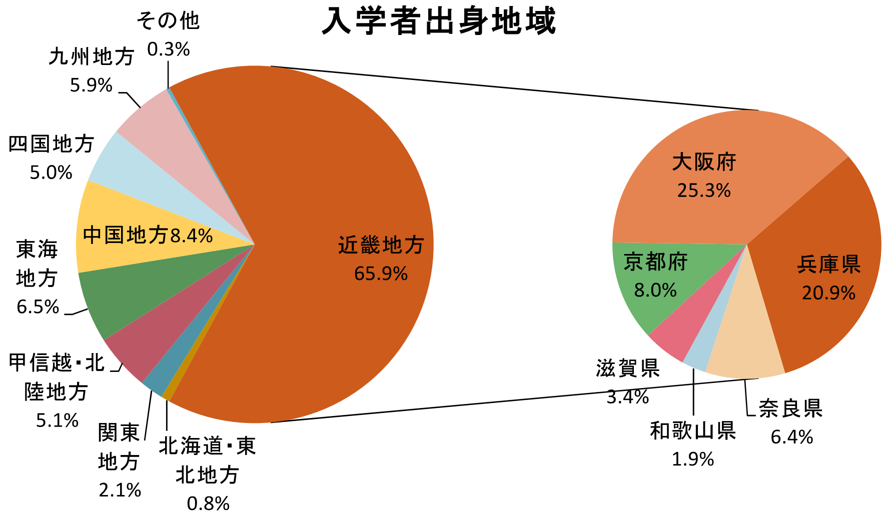




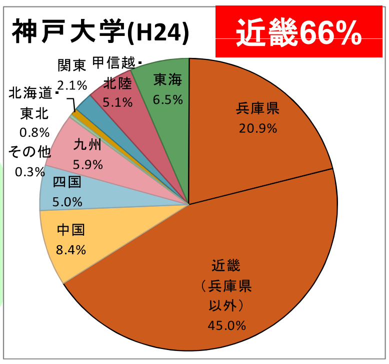
6. 学部入学状況

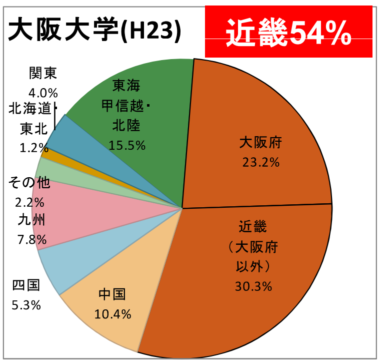
神戸大学・近隣大学ともに所在府県又は近隣地域の出身者が多い。

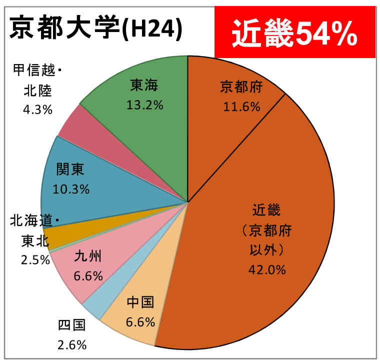
◆神戸大学◆(H24)

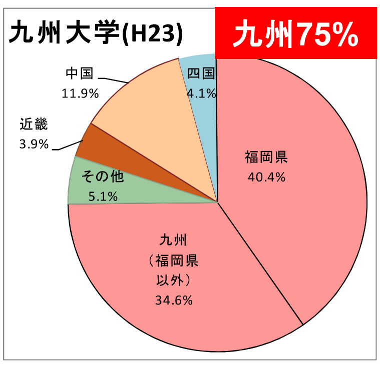


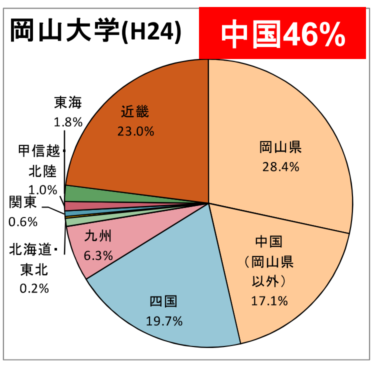
【北海道・東北地方】北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
【関東地方】群馬県、茨城県、千葉県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県
【甲信越・北陸地方】新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、山梨県
【東海地方】岐阜県、愛知県、静岡県、三重県
【中国地方】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
【九州地方】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
【近畿地方】滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
【四国地方】徳島県、香川県、愛媛県、高知県
【その他】外国の学校、検定等

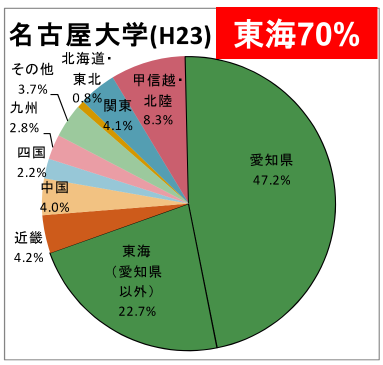










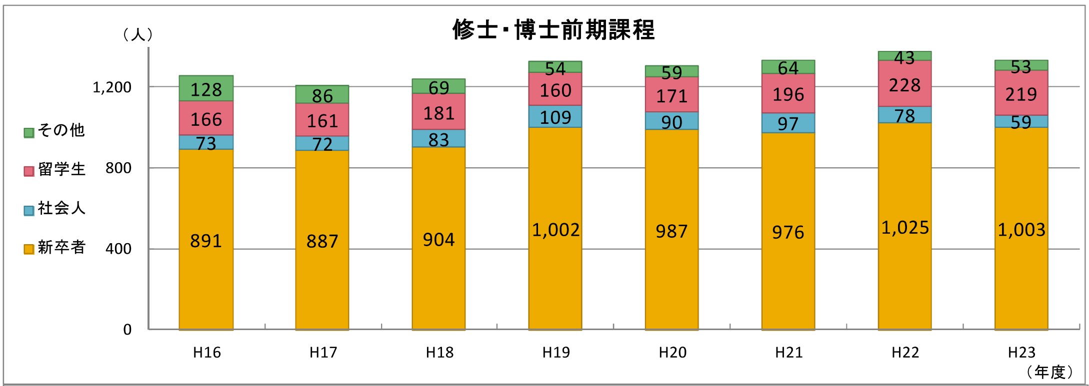


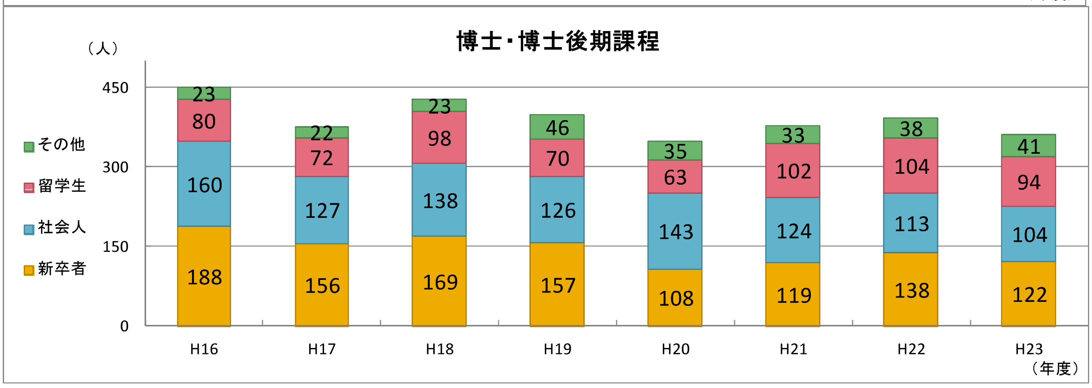
※出典：各大学HP公表資料より作成

教育

7. 大学院入学状況

◆神戸大学◆

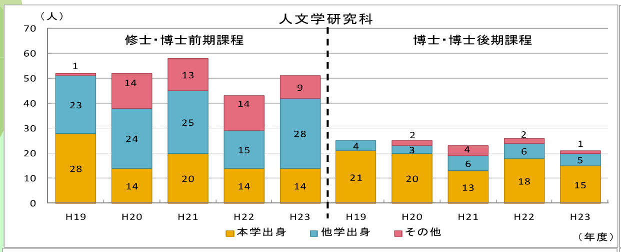


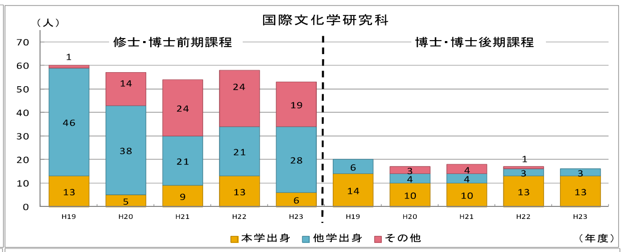


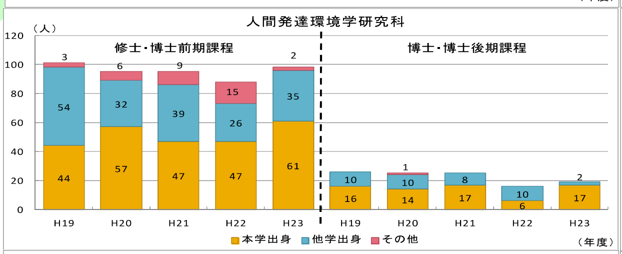
教育

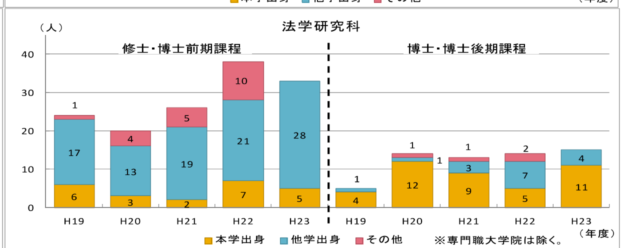
7. 大学院入学状況（研究科別・出身大学別）

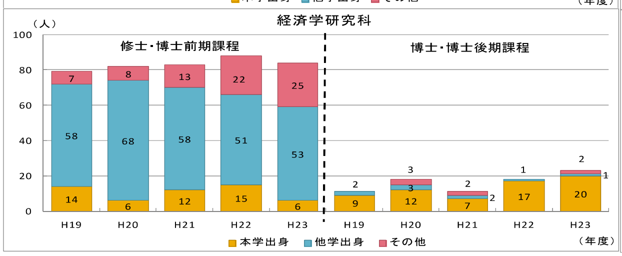
文系研究科においては、他大学出身の学生が多いのに対して、理系研究科においては本学出身の学生が多い。また、博士前期課程と博士後期課程を比較しても同様の傾向が見られる。

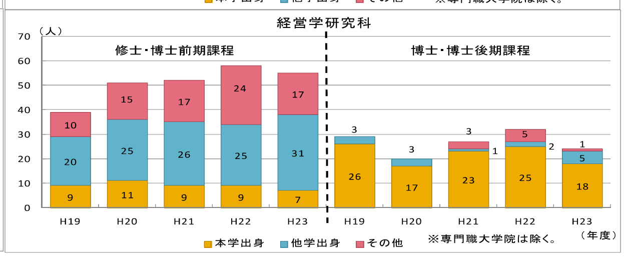


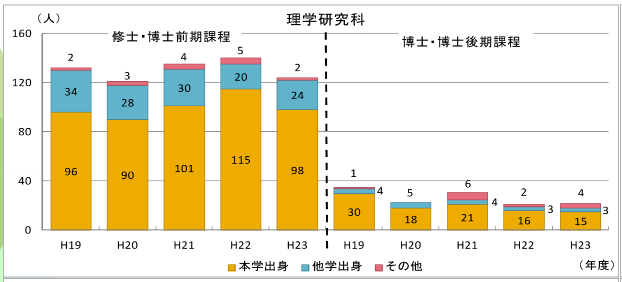


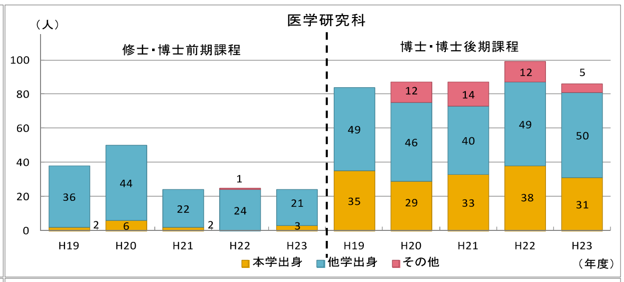


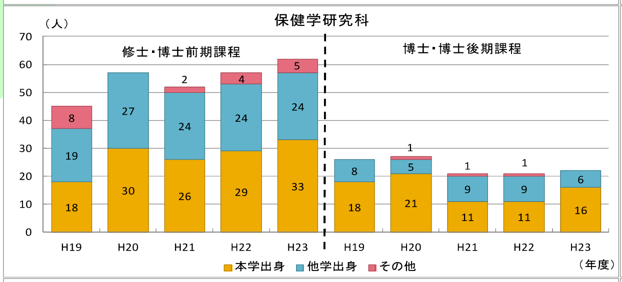


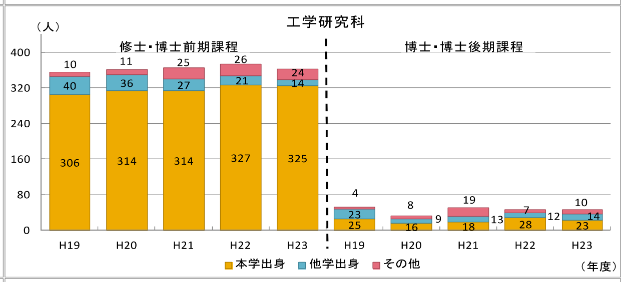


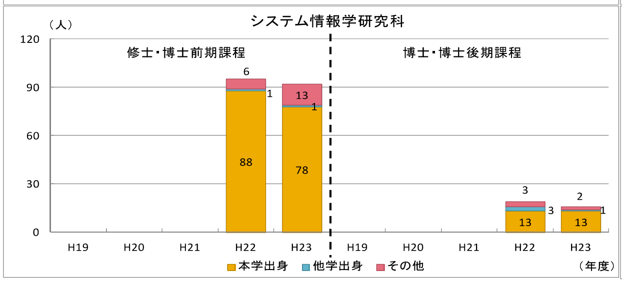


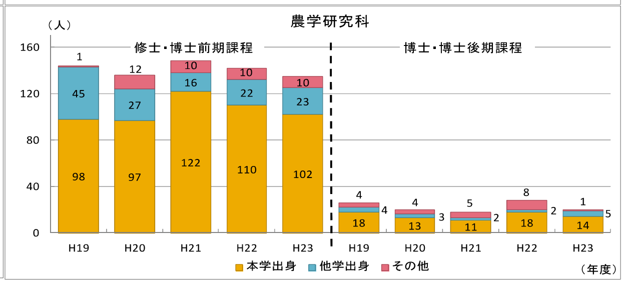

理学研究科
（人）
160
120
80
40
0
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
2
34
96
3
28
90
4
30
101
5
20
115
2
24
98
1
4
30
5
18
6
4
21
2
3
16
4
3
15
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
本学出身 他学出身 その他
（年度）

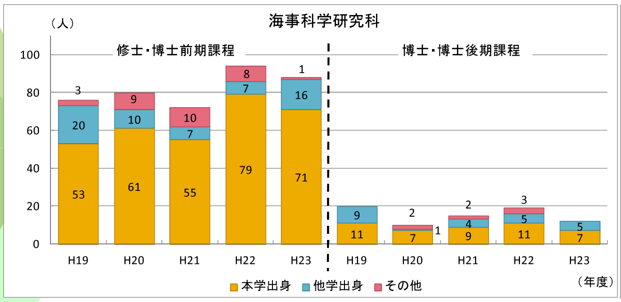

医学研究科
（人）
100
80
60
40
20
0
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
36
2
44
6
22
2
1
24
21
3
49
35
12
46
29
14
40
33
12
49
38
5
50
31
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
本学出身 他学出身 その他
（年度）

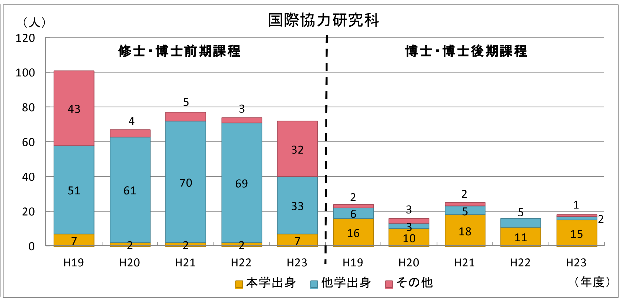

保健学研究科
（人）
70
60
50
40
30
20
10
0
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
8
19
18
27
30
2
24
26
4
24
29
5
24
33
8
18
1
5
21
1
9
11
1
9
11
6
16
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
本学出身 他学出身 その他
（年度）


工学研究科
（人）
400
320
240
160
80
0
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
10
40
306
11
36
314
25
27
314
26
21
327
24
14
325
4
23
25
8
9
16
19
13
18
7
12
28
10
14
23
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
本学出身 他学出身 その他
（年度）


システム情報学研究科
（人）
120
90
60
30
0
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
6
1
88
13
1
78
3
3
13
2
1
13
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
本学出身 他学出身 その他
（年度）

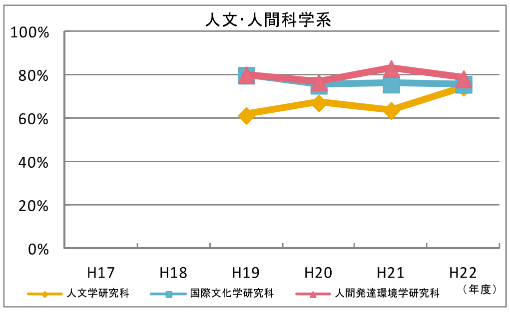

農学研究科
（人）
160
120
80
40
0
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
1
45
98
12
27
97
10
16
122
10
22
110
10
23
102
4
4
18
4
3
13
5
2
11
8
2
18
1
5
14
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
本学出身 他学出身 その他
（年度）

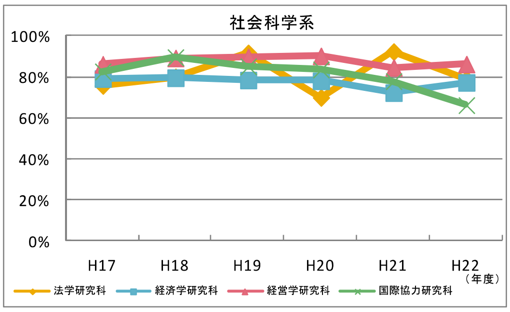

海事科学研究科
（人）
100
80
60
40
20
0
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
3
20
53
9
10
61
10
7
55
8
7
79
1
16
71
9
11
2
1
7
2
4
9
3
5
11
5
7
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
本学出身 他学出身 その他
（年度）

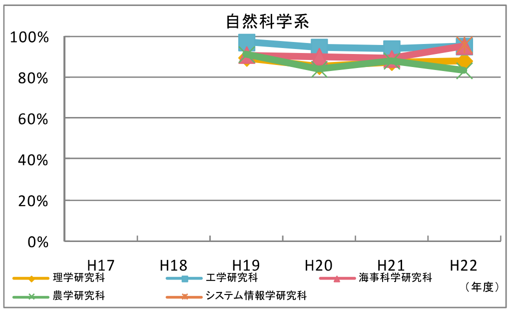

国際協力研究科
（人）
120
100
80
60
40
20
0
修士・博士前期課程
博士・博士後期課程
43
51
7
4
61
2
5
70
2
3
69
2
32
33
7
2
6
16
3
3
10
2
5
18
5
11
1
2
15
H19 H20 H21 H22 H23 H19 H20 H21 H22 H23
本学出身 他学出身 その他
（年度）

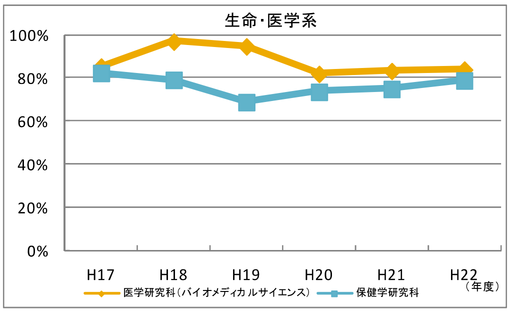
8. 学位授与状況（授与率）※学士課程を除く

◆神戸大学◆修士・博士前期課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

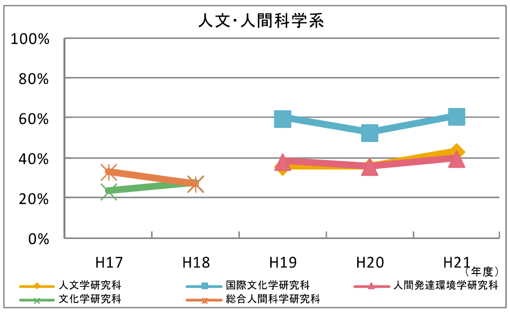


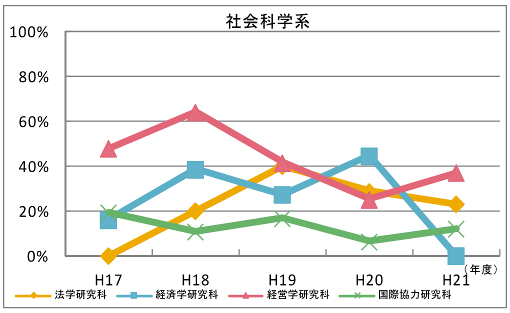


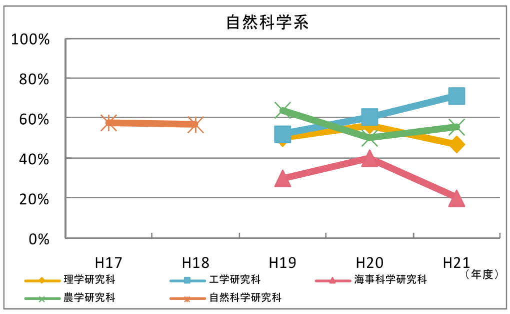


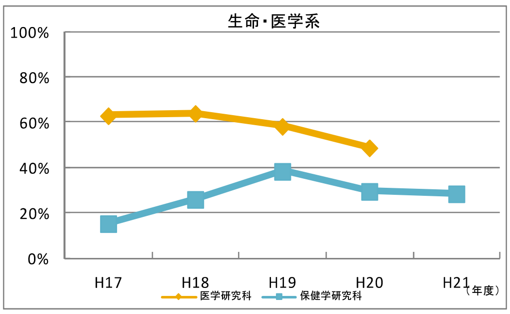


◆神戸大学◆博士・博士後期課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）



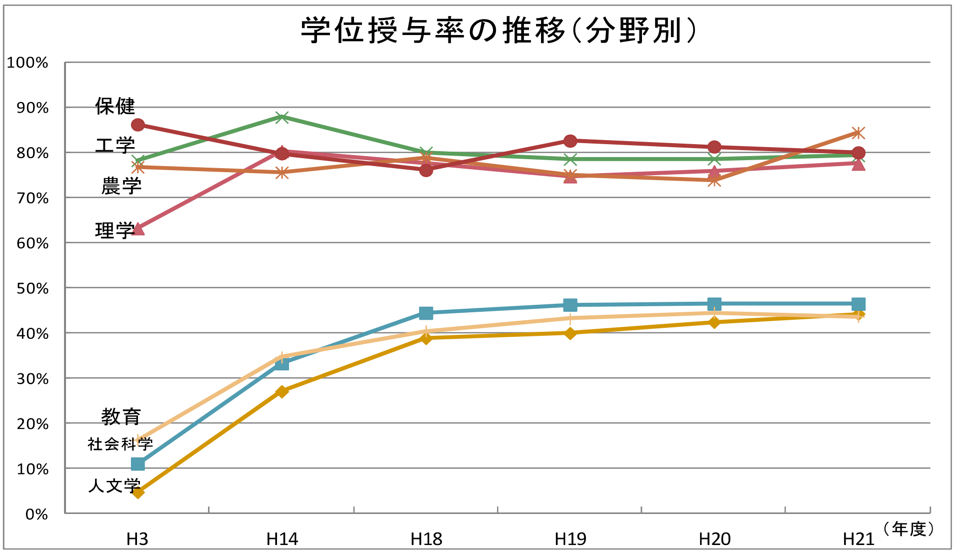






長期的な視野で分野別に授与率の推移を見ると、学位授与率の低かった人文学・社会科学・教育学の分野において、平成3年度の設置基準改正に伴う授与率の増加が見てとれる。

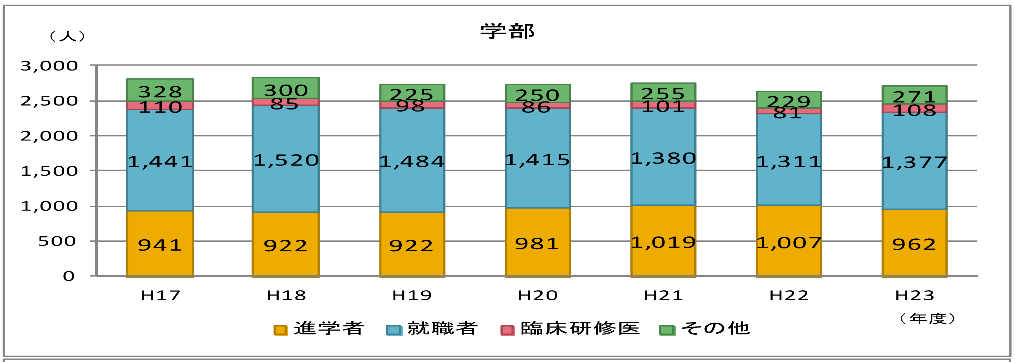
◆全　国◆(各年度の課程博士授与率)

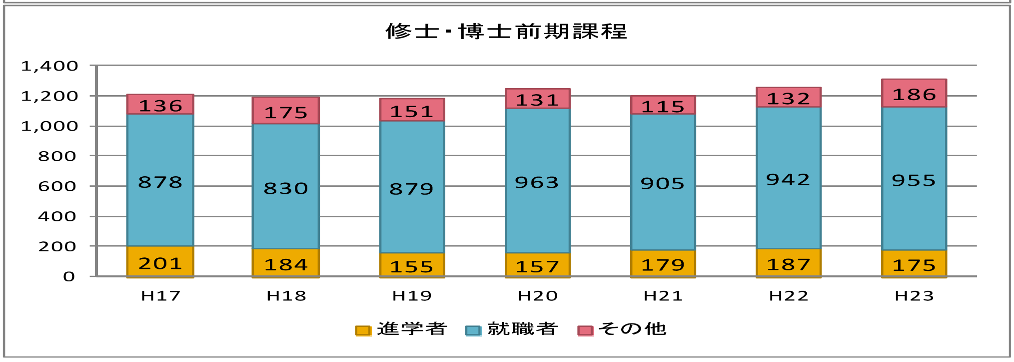


出典：平成23年7月 文部科学省「各大学院における「大学院教育振興施策要項」に関する取組の調査結果について（平成21年度）」より作成　※当該年度の課程博士授与数／当該年度から標準修業年限前の博士課程入学者数（入学者のうち最終的に課程博士を授与される割合の推計値。）

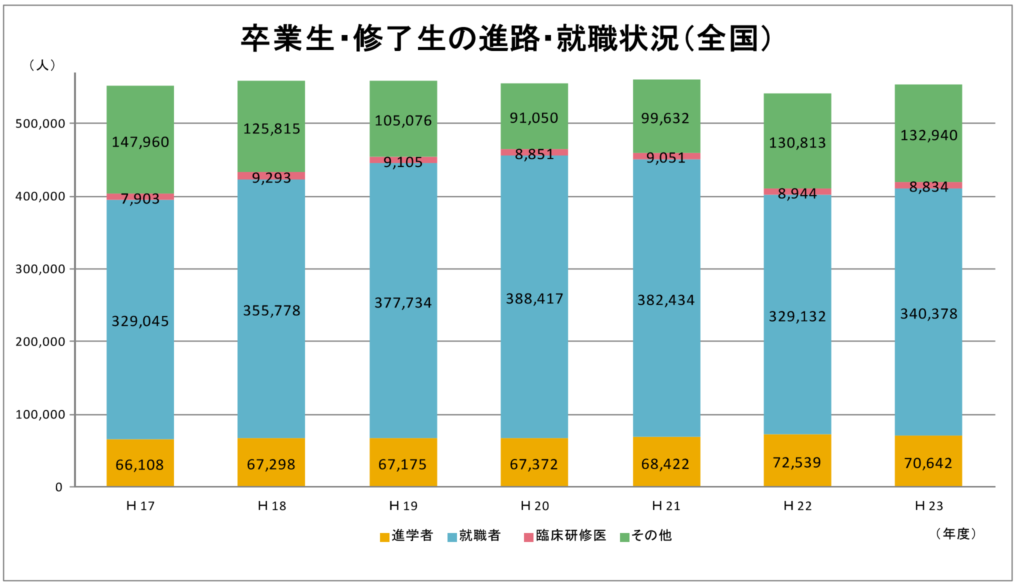
9. 卒業生・修了生の進路・就職状況

◆神戸大学◆（卒業・修了年度）



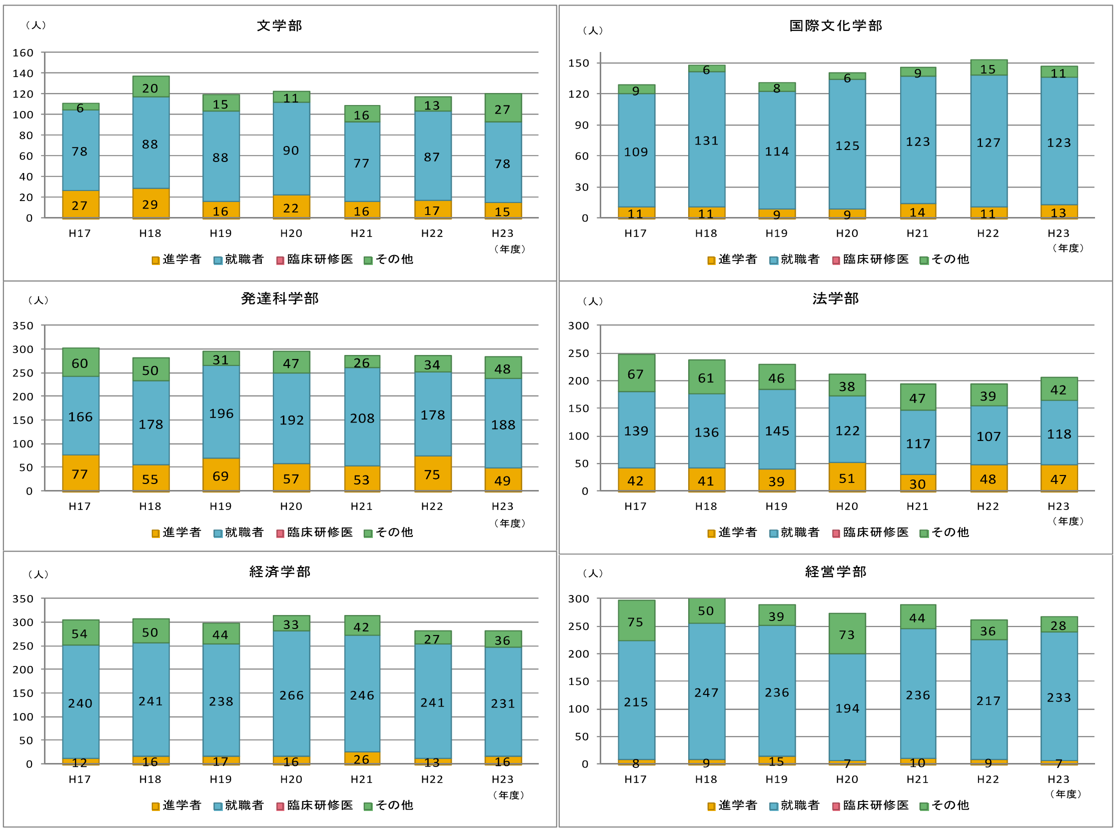


◆全 国◆

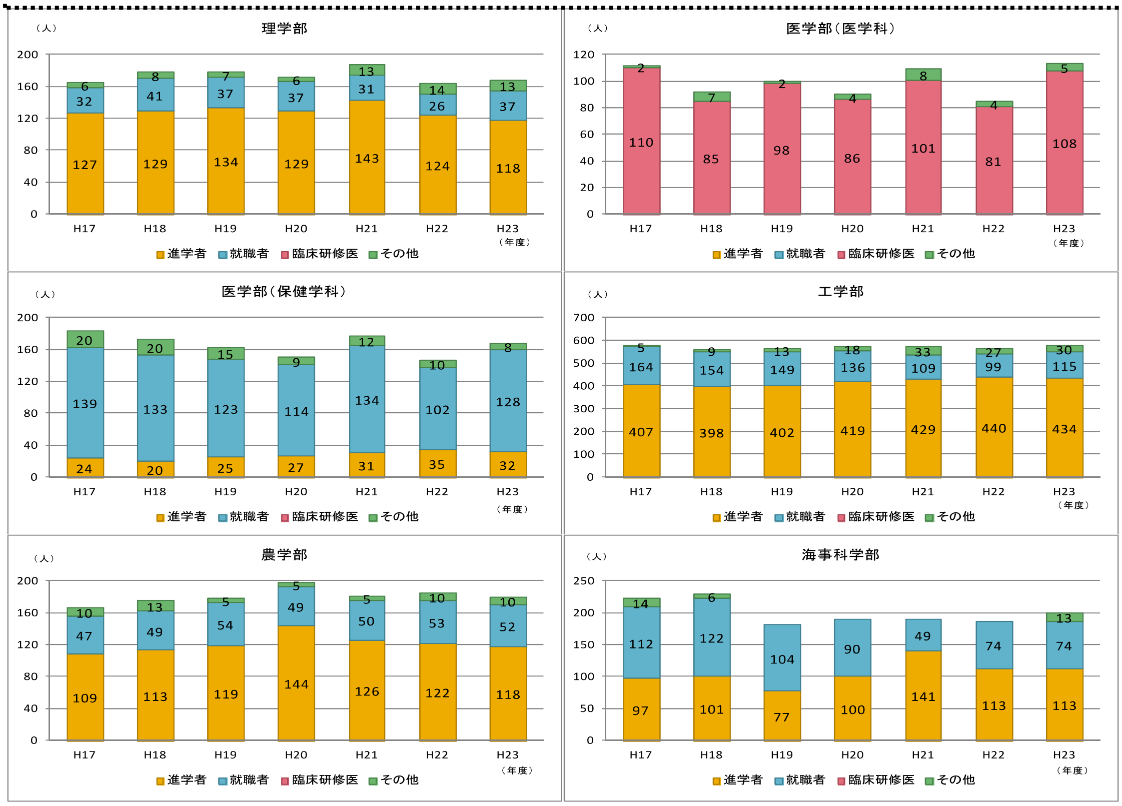


※ 出典：文部科学省 学校基本調査より作成

9.【参考】卒業生・修了生の進路・就職状況【学部別】

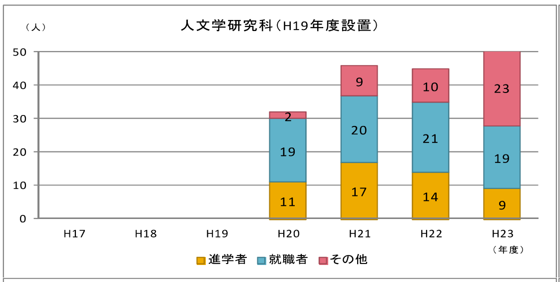


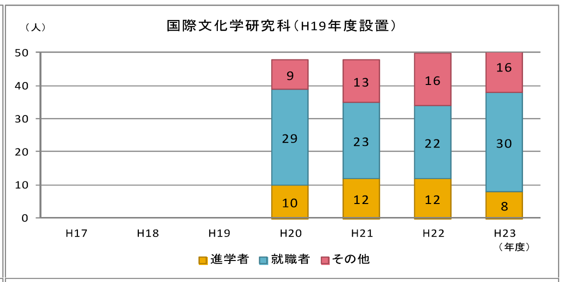
文系学部において全体的に就職する学生が多いのに対して、理系においては医学や海事を除き、進学する学生が多い。平成20年度以降を見ると、特に工学部では就職者数が減少し、進学者数が増加している。

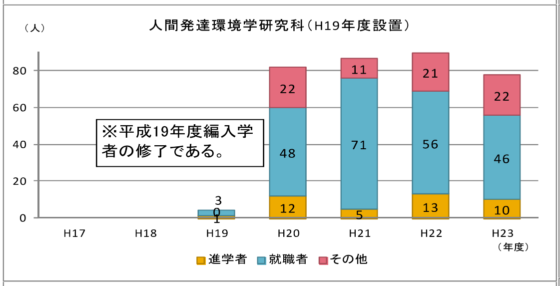


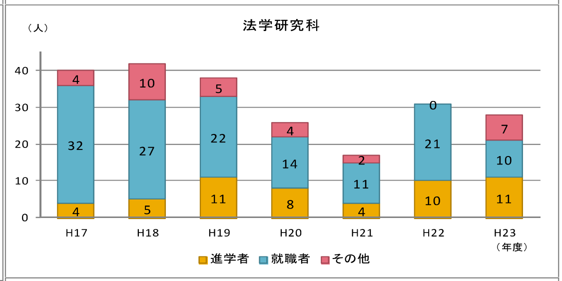
教育

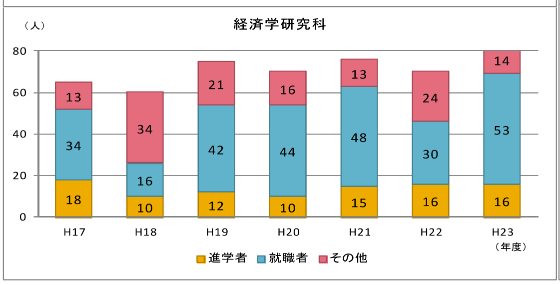
9.【参考】卒業生・修了生の進路・就職状況【修士・博士前期課程：研究科別】

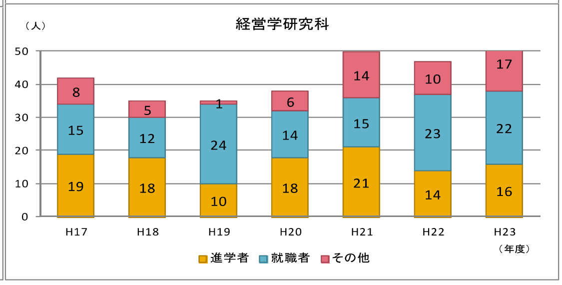




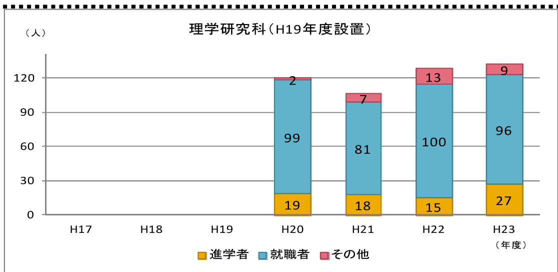


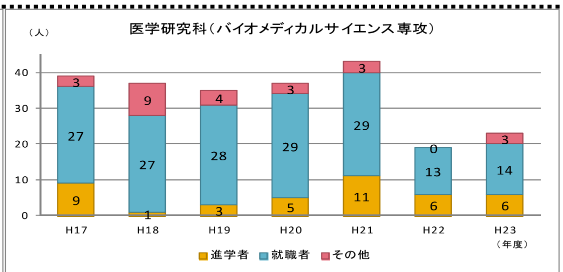


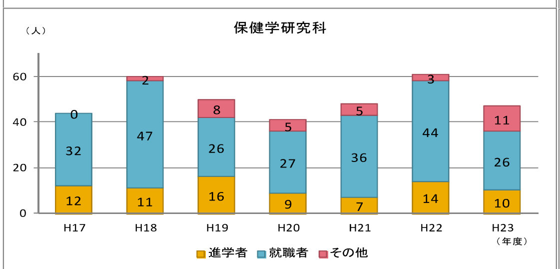


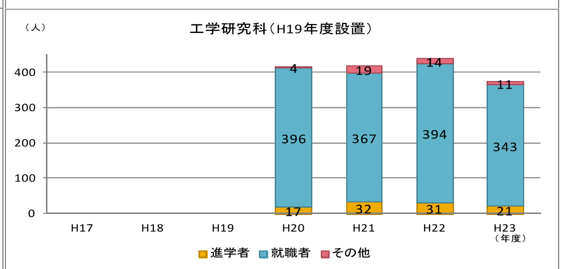


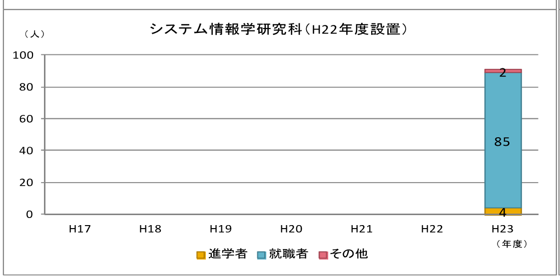
文系においては、学士課程を卒業後、就職する傾向にあるが、修士・博士前期課程においては、進学する傾向にある。また、理系においては、学士課程を卒業後、大学院に進学する傾向にあるが、修士・博士前期課程においては、就職する傾向にある。

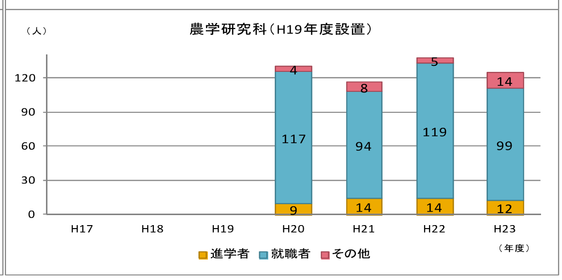




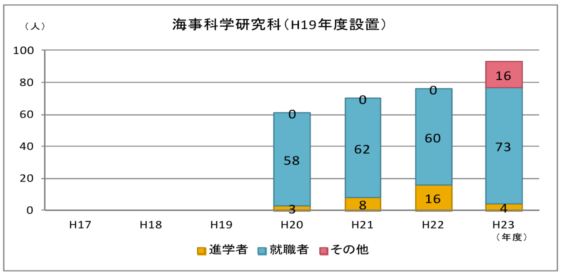




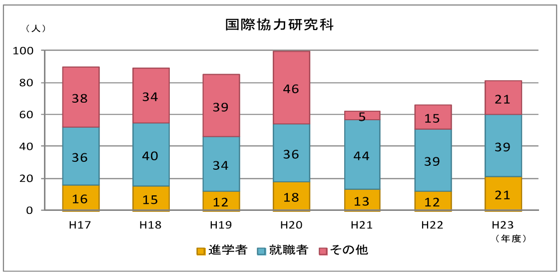




教育



（人）
海事科学研究科（H19年度設置）
100
80
60
40
20
0
H17
H18
H19
H20
H21
H22
H23
（年度）
3
58
0
8
62
0
16
60
0
4
73
16
進学者
就職者
その他



（人）
国際協力研究科
100
80
60
40
20
0
H17
H18
H19
H20
H21
H22
H23
（年度）
16
36
38
15
40
34
12
34
39
18
36
46
13
44
5
12
39
15
21
39
21
進学者
就職者
その他

10. 司法試験合格状況

【合格者数推移(上位20大学)】

	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
順位	大学名	合格者	大学名	合格者	大学名	合格者	大学名	合格者	大学名	合格者	大学名	合格者
1	東京大	178	東京大	200	東京大	216	東京大	201	東京大	210	中央大	202
2	慶應義塾大	173	中央大	196	中央大	162	中央大	189	中央大	176	東京大	194
3	中央大	153	慶應義塾大	165	慶應義塾大	147	慶應義塾大	179	京都大	172	慶應義塾大	186
4	京都大	135	早稲田大	130	京都大	145	京都大	135	慶應義塾大	164	早稲田大	155
5	早稲田大	115	京都大	100	早稲田大	124	早稲田大	130	早稲田大	138	京都大	152
6	明治大	80	明治大	84	明治大	96	明治大	85	明治大	90	明治大	82
7	立命館大	62	一橋大	78	一橋大	83	大阪大	70	一橋大	82	一橋大	77
8	一橋大	61	神戸大	70	神戸大	73	一橋大	69	神戸大	69	大阪大	74
9	同志社大	57	同志社大	59	北海道大	63	北海道大	62	同志社大	65	神戸大	60
10	北海道大	48	東北大	59	立命館大	60	東北大	58	東北大	54	北海道大	54
11	東北大	47	立命館大	59	大阪大	52	同志社大	55	大阪大	49	九州大	53
12	神戸大	46	関西学院大	51	九州大	46	神戸大	49	北海道大	48	同志社大	44
13	名古屋大	41	上智大	50	同志社大	45	名古屋大	49	名古屋大	43	名古屋大	44
14	千葉大	40	大阪大	49	上智大	40	立命館大	47	九州大	42	立命館大	43
15	上智大	40	首都大東京	39	名古屋大	40	九州大	46	立命館大	40	首都大東京	40
16	関西学院大	39	関西大	38	関西学院大	37	関西学院大	37	上智大	39	上智大	38
17	大阪大	32	九州大	38	関西大	35	上智大	33	首都大東京	38	東北大	38
18	関西大	32	千葉大	34	首都大東京	34	関西大	32	関西大	35	関西学院大	27
19	大阪市立大	31	大阪市立大	33	東北大	30	大阪市立大	31	法政大	31	関西大	22
20	九州大	29	北海道大	33	立教大	25	千葉大	30	大阪市立大	30	日本大	22
全体	1,851		2,065		2,043		2,074		2,063		2,044	

※出典:法務省「司法試験の結果について」より作成

教育

【合格率推移(上位20大学)】

	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
順位	大学名	割合	大学名	割合	大学名	割合	大学名	割合	大学名	割合	大学名	割合
1	千葉大	64.5%	一橋大	61.4%	一橋大	62.9%	慶應義塾大	50.4%	一橋大	57.7%	一橋大	57.0%
2	京都大	64.0%	慶應義塾大	56.5%	東京大	55.5%	一橋大	50.0%	京都大	54.6%	京都大	54.3%
3	慶應義塾大	63.8%	中央大	55.7%	京都大	50.3%	東京大	48.9%	東京大	50.5%	慶應義塾大	53.6%
4	一橋大	63.5%	神戸大	54.7%	神戸大	49.0%	京都大	48.7%	慶應義塾大	48.0%	東京大	51.2%
5	名古屋大	63.1%	東京大	54.6%	愛知大	48.8%	千葉大	43.5%	神戸大	46.6%	神戸大	45.8%
6	東京大	58.6%	首都大東京	49.4%	慶應義塾大	46.4%	北海道大	43.1%	千葉大	39.2%	大阪大	41.8%
7	中央大	52.4%	千葉大	49.3%	中央大	43.4%	中央大	43.1%	中央大	38.2%	中央大	41.3%
8	早稲田大	51.6%	東北大	46.5%	北海道大	40.4%	大阪大	38.9%	早稲田大	31.9%	首都大東京	39.6%
9	創価大	51.3%	愛知大	45.7%	首都大東京	39.1%	東北大	36.5%	東北大	31.8%	愛知大	37.8%
10	神戸大	50.5%	上智大	41.7%	千葉大	37.5%	名古屋大	35.3%	首都大東京	31.7%	北海道大	34.0%
11	北海道大	49.0%	京都大	41.5%	大阪大	33.5%	神戸大	34.0%	名古屋大	31.6%	早稲田大	32.8%
12	東北大	49.0%	大阪市立大	40.2%	名古屋大	33.3%	早稲田大	32.7%	岡山大	31.5%	名古屋大	32.6%
13	大阪大	43.8%	大阪大	38.6%	早稲田大	32.6%	愛知大	31.8%	北海道大	30.0%	千葉大	31.8%
14	琉球大	43.8%	成蹊大	37.8%	明治大	31.0%	金沢大	31.5%	大阪大	28.7%	九州大	26.2%
15	岡山大	43.5%	早稲田大	37.7%	南山大	30.5%	首都大東京	29.7%	北海学園大	27.0%	近畿大	24.3%
16	大阪市立大	43.1%	横浜国立大	36.9%	北海学園大	29.2%	山梨学院大	27.5%	南山大	26.3%	東北大	22.0%
17	福岡大	42.9%	広島大	36.5%	上智大	27.8%	九州大	26.3%	大阪市立大	25.0%	広島大	20.9%
18	上智大	42.6%	九州大	36.2%	九州大	26.4%	大阪市立大	26.1%	明治大	24.0%	上智大	20.8%
19	首都大東京	40.6%	神戸学院大	33.3%	山梨学院大	26.1%	筑波大	25.6%	同志社大	23.5%	明治大	20.4%
20	明治大	40.0%	名古屋大	32.7%	横浜国立大	25.3%	明治大	25.4%	金沢大	23.4%	中京大	19.5%

※出典:法務省「司法試験の結果について」より作成

神戸大学法科大学院は、50%前後の合格率を保っている。

教育

10. 【参考】司法試験合格状況（修了後翌年度に合格した割合）

新司法試験【既修】

順位	平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率
1	大阪学院大	1	100.0%	神戸学院大	1	100.0%	愛知大	10	83.3%	静岡大	1	100.0%	岡山大	1	100.0%	大阪学院大	1	100.0%
2	関東学院大	1	100.0%	大阪大	12	80.0%	広島修道大	3	75.0%	中京大	1	100.0%	熊本大	1	100.0%	近畿大	2	100.0%
3	九州大	2	100.0%	一橋大	51	76.1%	早稲田大	9	75.0%	創価大	5	83.3%	名城大	1	100.0%	西南学院大	1	100.0%
4	獨協大	1	100.0%	中央大	143	74.5%	一橋大	53	74.6%	早稲田大	4	80.0%	京都大	101	71.6%	南山大	1	100.0%
5	南山大	3	100.0%	早稲田大	16	72.7%	東京大	130	69.9%	名城大	3	75.0%	東京大	123	71.1%	京都大	89	74.2%
6	大阪大	6	85.7%	慶應義塾大	117	70.5%	京都大	95	69.9%	大阪大	21	67.7%	一橋大	45	70.3%	名古屋大	16	72.7%
7	早稲田大	8	80.0%	愛知大	7	70.0%	広島大	4	66.7%	一橋大	48	67.6%	愛知大	4	66.7%	愛知大	5	71.4%
8	名古屋大	15	75.0%	岡山大	2	66.7%	中央大	119	66.1%	駒澤大	2	66.7%	神戸大	39	63.9%	東京大	107	69.0%
9	京都大	95	70.9%	九州大	4	66.7%	名古屋大	11	64.7%	京都大	92	66.2%	慶應義塾大	96	60.8%	慶應義塾大	100	69.0%
10	慶應義塾大	106	67.5%	首都大東京	26	65.0%	慶應義塾大	98	62.8%	東京大	123	64.7%	早稲田大	9	56.3%	一橋大	39	67.2%
11	広島修道大	2	66.7%	東京大	119	64.7%	北海道大	33	62.3%	山梨大	7	63.6%	首都大東京	21	51.2%	早稲田大	39	56.5%
12	東京大	115	63.2%	名古屋大	12	63.2%	神戸大	46	62.2%	慶應義塾大	98	63.2%	千葉大	13	50.0%	大阪大	23	56.1%
13	中央大	89	61.0%	神戸大	35	61.4%	大阪大	21	61.8%	名古屋大	12	63.2%	中央大	93	49.5%	首都大東京	22	52.4%
14	東北大	29	60.4%	広島大	3	60.0%	新潟大	3	60.0%	北海道大	28	58.3%	創価大	3	42.9%	中央大	99	51.0%
15	一橋大	37	56.9%	千葉大	22	53.7%	横浜国立大	6	60.0%	中央大	115	56.1%	大阪大	15	41.7%	青山学院大	1	50.0%
16	千葉大	18	56.3%	東北大	27	52.9%	首都大東京	23	57.5%	愛知学院大	1	50.0%	名古屋大	8	40.0%	岡山大	2	50.0%
17	大阪市立大	20	54.1%	京都大	69	52.7%	創価大	4	57.1%	近畿大	1	50.0%	北海道大	14	31.1%	白鴎大	1	50.0%
18	神戸大	30	50.8%	明治大	46	50.5%	千葉大	16	53.3%	千葉大	11	50.0%	明治大	26	29.2%	神戸大	26	48.1%
19	神奈川大	1	50.0%	香川大	1	50.0%	香川大	1	50.0%	神戸大	29	46.0%	九州大	11	28.9%	北海道大	18	40.9%
20	國學院大	1	50.0%	熊本大	1	50.0%	神戸学院大	1	50.0%	大阪市立大	14	43.8%	東北大	13	27.1%	九州大	15	36.6%
21	西南学院大	1	50.0%	南山大	5	50.0%	福岡大	1	50.0%	東北大	20	42.6%	大阪市立大	8	25.8%	千葉大	6	33.3%
22	創価大	4	50.0%	北海学園大	2	50.0%	名城大	2	50.0%	九州大	21	41.2%	東洋大	2	25.0%	駿河台大	1	25.0%
23	福岡大	1	50.0%	山梨大	4	50.0%	山梨大	7	46.7%	岡山大	2	40.0%	山梨大	1	25.0%	成蹊大	3	25.0%
24	北海道大	25	50.0%	上智大	25	47.2%	南山大	5	45.5%	神奈川大	2	40.0%	上智大	11	20.4%	東洋大	1	25.0%
25	上智大	20	48.8%	大阪市立大	14	46.7%	北海学園大	3	42.9%	横浜国立大	2	40.0%	同志社大	15	18.3%	上智大	10	22.2%
26	成蹊大	7	43.8%	北海道大	21	44.7%	九州大	16	42.1%	上智大	19	38.0%	学習院大	4	18.2%	同志社大	10	20.0%
27	首都大東京	18	42.9%	立命館大	37	43.0%	明治大	41	41.8%	明治大	25	37.9%	成蹊大	2	18.2%	明治大	22	17.9%
28	明治大	38	39.2%	横浜国立大	6	42.9%	大阪市立大	13	39.4%	関西学院大	8	34.8%	立命館大	14	18.2%	東北大	8	17.8%
29	立命館大	33	38.8%	久留米大	2	40.0%	立命館大	31	37.8%	首都大東京	14	34.1%	関西大	7	17.5%	甲南大	1	16.7%
30	甲南大	2	28.6%	創価大	5	38.5%	大阪学院大ほか	1	33.3%	広島大	1	33.3%	横浜国立大	2	15.4%	立命館大	9	14.3%

※出典：法務省「司法試験の結果について」より作成

教育

新司法試験【未修】

順位	平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率	大学名	合格者	合格率
1	千葉大	16	88.9%	千葉大	5	62.5%	一橋大	17	68.0%	慶應義塾大	30	46.2%	一橋大	12	52.2%	一橋大	15	55.6%
2	一橋大	17	73.9%	愛知大	6	54.5%	熊本大	4	50.0%	筑波大	8	44.4%	北海学園大	3	50.0%	大阪大	20	45.5%
3	慶應義塾大	41	60.3%	東京大	31	43.1%	東京大	29	43.9%	千葉大	7	43.8%	神戸大	8	47.1%	愛知大	5	41.7%
4	名古屋大	20	54.1%	成蹊大	3	42.9%	北海道大	16	43.2%	金沢大	10	41.7%	岡山大	16	45.7%	京都大	16	41.0%
5	早稲田大	104	50.5%	神戸学院大	5	41.7%	千葉大	3	42.9%	立教大	12	41.4%	京都大	18	43.9%	東京大	24	35.8%
6	北海道大	18	48.6%	岡山大	9	40.9%	京都大	16	38.1%	東北大	9	40.9%	南山大	13	41.9%	慶應義塾大	21	35.6%
7	東京大	38	48.1%	九州大	27	38.0%	早稲田大	79	37.8%	北海道大	13	40.6%	早稲田大	81	41.5%	早稲田大	56	34.1%
8	創価大	12	46.2%	神戸大	11	37.9%	上智大	12	36.4%	早稲田大	74	40.2%	慶應義塾大	20	40.8%	西南学院大	3	33.3%
9	同志社大	17	45.9%	一橋大	11	37.9%	慶應義塾大	22	36.1%	東京大	26	36.1%	中央大	27	36.0%	東北大	9	33.3%
10	東北大	13	44.8%	青山学院大	9	37.5%	神戸大	9	34.6%	大阪大	18	33.3%	東京大	22	33.3%	南山大	8	33.3%
11	岡山大	8	44.4%	大阪大	26	37.1%	首都大東京	4	33.3%	首都大東京	6	33.3%	名古屋大	14	32.6%	中央大	24	32.9%
12	琉球大	7	43.8%	早稲田大	83	36.6%	北海学園大	3	33.3%	名古屋大	17	32.7%	金沢大	8	32.0%	神戸大	7	30.4%
13	首都大東京	5	41.7%	慶應義塾大	23	35.9%	立教大	7	33.3%	一橋大	9	30.0%	大阪市立大	7	31.8%	創価大	7	30.4%
14	京都大	17	41.5%	横浜国立大	10	35.7%	愛知大	6	27.3%	中央大	17	28.8%	千葉大	5	31.3%	熊本大	3	27.3%
15	神戸大	7	41.2%	東北大	13	34.2%	立命館大	9	27.3%	愛知大	4	28.6%	大阪大	13	30.2%	名城大	3	27.3%
16	神戸学院大	3	37.5%	広島大	8	33.3%	中京大	4	26.7%	広島大	8	27.6%	九州大	11	28.2%	名古屋大	12	26.7%
17	関西学院大	16	37.2%	名古屋大	17	32.7%	九州大	18	26.5%	関東学院大	3	27.3%	北海道大	9	28.1%	九州大	11	25.6%
18	大阪大	21	36.8%	大阪市立大	6	31.6%	名古屋大	14	26.4%	九州大	7	26.9%	愛知大	3	27.3%	広島修道大	1	25.0%
19	九州大	24	36.4%	専修大	2	28.6%	金沢大	5	25.0%	神戸大	5	26.3%	明治大	18	26.9%	大阪市立大	4	23.5%
20	福岡大	4	36.4%	南山大	7	28.0%	近畿大	5	25.0%	学習院大	2	25.0%	創価大	6	26.1%	同志社大	4	23.5%
21	上智大	9	36.0%	大東文化大	5	27.8%	中央大	18	24.0%	山梨大	2	22.2%	学習院大	2	25.0%	上智大	7	22.6%
22	明治大	19	34.5%	中央大	12	26.7%	岡山大	5	23.8%	香川大	3	21.4%	中京大	2	25.0%	首都大東京	2	22.2%
23	中央大	19	33.9%	京都大	12	25.0%	成蹊大	4	23.5%	静岡大	2	20.0%	名城大	4	25.0%	北海道大	5	21.7%
24	香川大	3	33.3%	福岡大	5	25.0%	横浜国立大	8	23.5%	信州大	3	20.0%	山梨大	3	25.0%	千葉大	2	20.0%
25	金沢大	7	30.4%	名城大	4	25.0%	明治大	17	23.0%	北海学園大	2	20.0%	琉球大	3	23.1%	筑波大	3	20.0%
26	山梨大	7	30.4%	関西学院大	9	23.1%	桐蔭横浜大	5	22.7%	立命館大	6	20.0%	上智大	8	22.9%	東北学院大	2	20.0%
27	南山大	6	30.0%	関西大	7	22.6%	学習院大	2	22.2%	中京大	3	18.8%	甲南大	5	22.7%	東洋大	1	20.0%
28	立教大	8	29.6%	上智大	7	22.6%	大阪大	13	21.3%	同志社大	6	18.8%	東北大	7	22.6%	明治大	9	18.8%
29	東洋大	5	29.4%	創価大	6	21.4%	関東学院大	3	20.0%	名城大	3	18.8%	近畿大	4	22.2%	関西学院大	7	17.9%
30	横浜国立大	6	28.6%	新潟大	6	21.4%	久留米大	2	20.0%	京都大	7	18.4%	静岡大	3	21.4%	広島大	5	17.2%

※出典：法務省「司法試験の結果について」より作成

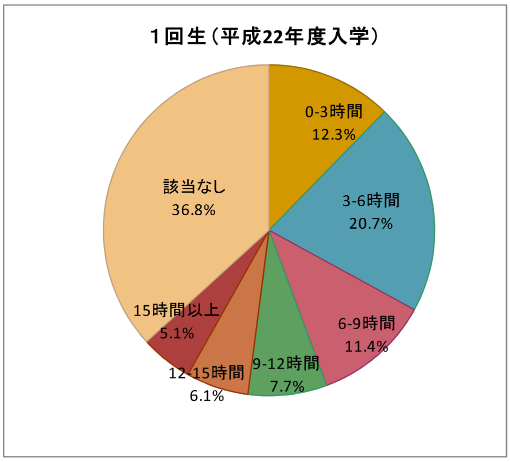
11. 学生生活

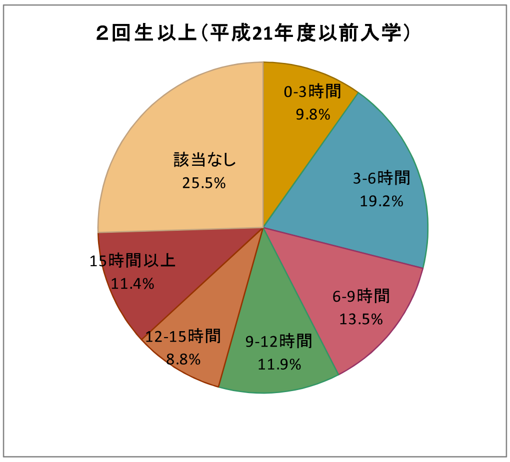
教育

11－1. 学生生活状況（就業時間・家庭収入）

○神戸大学学部学生の入学年度別一週間あたりの就業時間割合

2回生以上になると就業の時間が増える傾向にある。特に15時間以上の割合をみると、2倍以上増加しており、自宅での学習時間に影響が出る可能性も考えられる。





出典　平成22年度神戸大学学生生活実態調査より作成

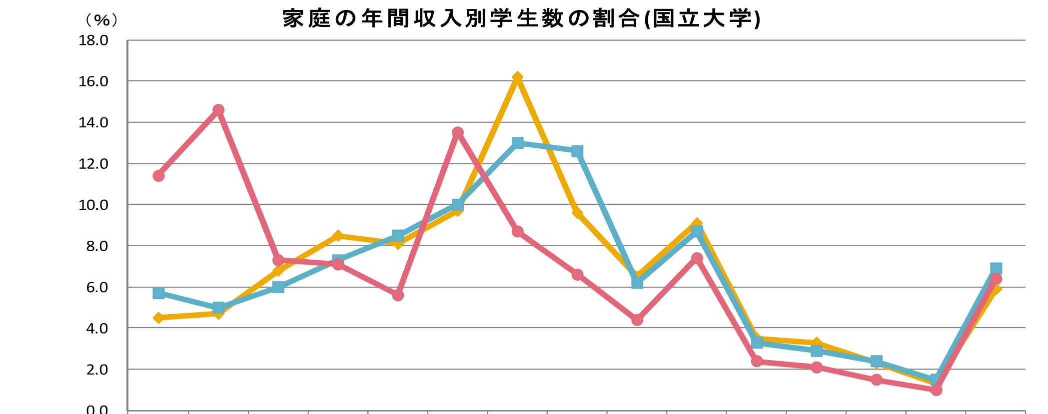
教育

11－1.【参考】家庭の年間収入別学生数の割合

学部・大学院の全体的な傾向として、600～900万、1,000万～1,100万の収入がある家庭が多いが、博士課程においては他の課程に比べて200万円～300万の収入の家庭が多い。

※結婚等で独立の家庭を構成している場合は、その独立家庭の所得総額を記入している。

◆全　国◆



	200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上
大学昼間部	4.5	4.7	6.8	8.5	8.1	9.7	16.2	9.6	6.5	9.1	3.5	3.3	2.3	1.3	5.9
修士課程	5.7	5.0	6.0	7.3	8.5	10.0	13.0	12.6	6.2	8.7	3.3	2.9	2.4	1.5	6.9
博士課程	11.4	14.6	7.3	7.1	5.6	13.5	8.7	6.6	4.4	7.4	2.4	2.1	1.5	1.0	6.4

（%）

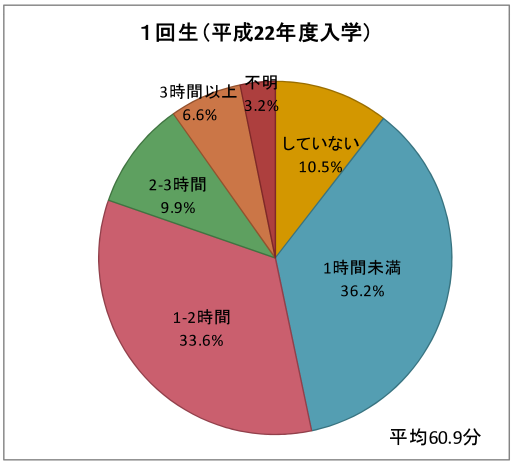
出典：独立行政法人 日本学生支援機構 平成22年度学生生活調査より作成

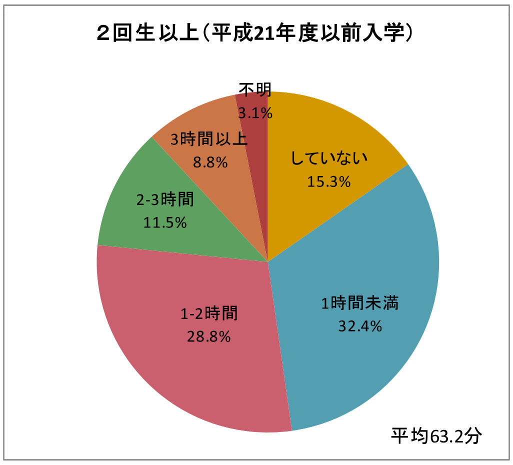
教育

神戸大学学部学生の学期中の平日一日当たりの学習時間

※ なお、学習時間とは授業時間以外の学習時間を示す

いずれの学年においても「1時間未満」の比率が最も多い。一方、2回生以上の学生の方が勉強をしていない学生と2時間以上勉強する学生の割合がやや大きく、就学意欲の有無が明確になっていると言える。





出典　平成22年度神戸大学学生生活実態調査より作成

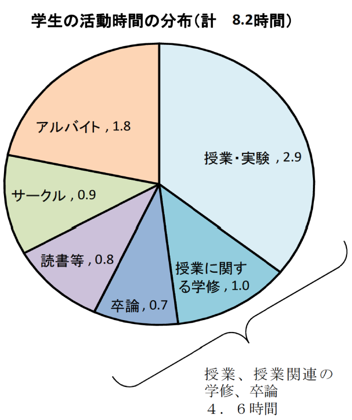
教育

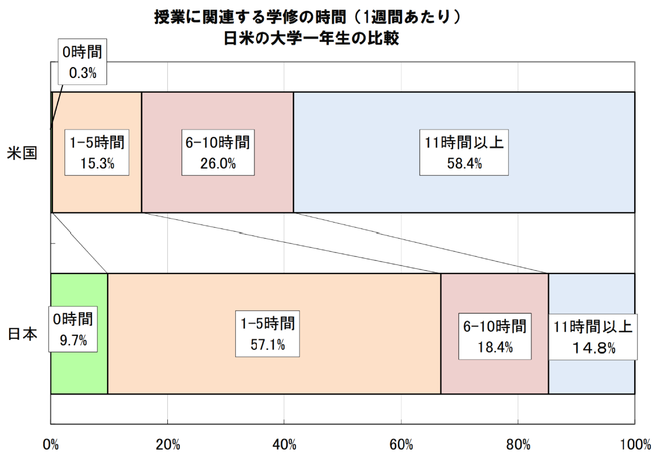
【参考】新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて ～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～

平成24年8月28日　中央教育審議会　答申より

学生の学修時間の現状

我が国の学生の学修時間（授業、授業関連の学修、卒論）はその約半日の一日４．６時間とのデータもある。
これは例えばアメリカの大学生と比較しても短い。



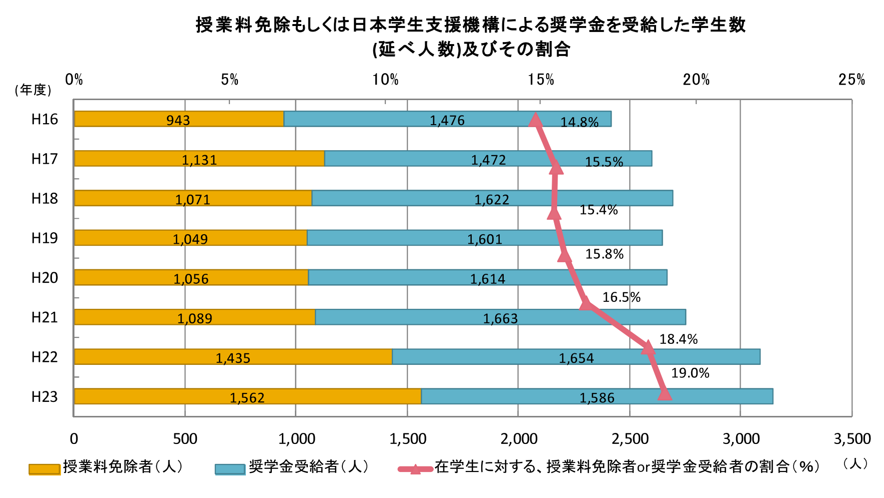


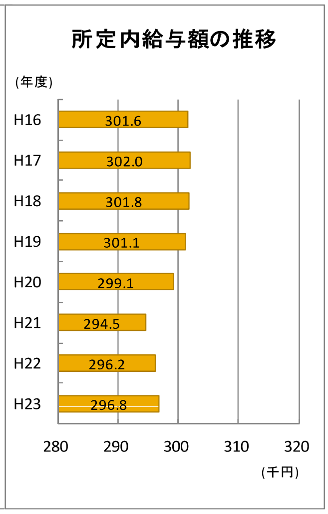
出典：東京大学　大学経営政策研究センター（CRUMP）『全国大学生調査』2007年、サンプル数44,905人　http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/
NSSE（The National Survey of Student Engagement）

11－2. 経済支援について

平均賃金は近年減少傾向であり、それに伴う形で神戸大学においても授業料の免除や奨学金を受給する学生数は増加傾向となっている。神戸大学では平成22年度より授業料免除について、半額免除枠を拡大させたことにより、多くの学生の経済的支援を実現している。

◆神戸大学◆





※なお、在学生に専門職大学院（MBA）の学生は含まない。

右図「所定内給与額の推移」：出典　厚生労働省　賃金センサス(賃金構造基本統計調査)より作成

12.研究論文

○ 2002-2011年(10年間)の累積論文数（主に自然科学系を集計）が１万件を超える大学

順位	大学名	論文数
1	東京大学	71,871
2	京都大学	52,718
3	大阪大学	43,649
4	東北大学	42,842
5	九州大学	28,993
6	北海道大学	28,618
7	名古屋大学	27,425
8	東京工業大学	24,138
9	筑波大学	17,727
10	広島大学	15,776
11	慶應義塾大学	14,041
12	岡山大学	13,529
13	千葉大学	12,530
14	神戸大学	11,724

参考	早稲田大学	8,666

※ 出典：論文数　文部科学省科学技術政策研究所「大学ベンチマーキングシリーズ研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング2011」　2002-2011年の累積論文数

学問分野によって論文作成の在り方などが異なることもあって、論文数だけで大学の研究活動を評価できるものではないことに留意が必要。

12.研究論文

○研究論文の量変化（論文数）　（伸び率は1997-2001年→2007-2011年の比較）

※ 調査対象は、主に自然科学系の論文である。

大学名	区分	全体	1:化学	2:材料科学	3:物理学	4:計算機・数学	5:工学	6:環境・地球科学	7:臨床医学	8:基礎生命科学
北海道大学	97-01	11,630	2,076	512	1,323	251	520	666	1,859	4,085
	02-06	14,251	2,145	750	1,696	333	643	1,124	2,274	4,824
	07-11	14,367	2,028	825	1,696	404	701	1,374	2,377	4,822
	伸び率	24%	-2%	61%	28%	61%	35%	106%	28%	18%
東北大学	97-01	17,368	2,994	2,073	4,383	262	1,364	473	2,200	2,906
	02-06	21,004	2,870	2,546	5,618	476	1,759	810	2,544	3,530
	07-11	21,838	2,874	3,013	5,549	629	1,803	1,109	2,971	3,715
	伸び率	26%	-4%	45%	27%	140%	32%	134%	35%	28%
筑波大学	97-01	7,671	943	224	1,793	286	461	276	1,462	1,866
	02-06	8,718	898	259	1,998	353	548	387	1,671	2,140
	07-11	9,009	1,081	383	2,020	306	545	517	1,704	2,329
	伸び率	17%	15%	71%	13%	7%	18%	87%	17%	25%
千葉大学	97-01	5,195	842	111	561	102	238	105	1,423	1,608
	02-06	6,354	992	145	785	135	290	237	1,691	1,883
	07-11	6,176	862	131	745	172	301	278	1,851	1,771
	伸び率	19%	2%	18%	33%	69%	26%	165%	30%	10%
東京大学	97-01	30,263	3,777	1,194	7,095	565	1,928	1,371	4,282	8,874
	02-06	34,946	3,860	1,510	8,510	818	2,346	2,043	4,754	9,564
	07-11	36,925	3,973	1,415	9,107	1,161	2,413	2,795	5,573	9,805
	伸び率	22%	5%	19%	28%	105%	25%	104%	30%	10%
東京工業大学	97-01	10,438	3,602	976	2,226	390	1,285	238	89	971
	02-06	12,363	3,286	1,216	3,406	463	1,562	443	87	1,119
	07-11	11,775	2,996	1,195	3,550	593	1,693	481	122	1,056
	伸び率	13%	-17%	22%	59%	52%	32%	102%	37%	9%
名古屋大学	97-01	12,308	1,791	587	2,236	293	1,026	476	2,136	3,232
	02-06	13,398	1,871	782	2,465	301	1,048	762	2,273	3,350
	07-11	14,027	1,817	741	2,963	425	1,051	820	2,891	3,136
	伸び率	14%	1%	26%	33%	45%	2%	72%	35%	-3%
京都大学	97-01	21,600	4,054	1,106	3,831	518	1,340	883	2,934	6,169
	02-06	25,423	4,361	1,184	4,798	732	1,643	1,388	3,250	7,010
	07-11	27,295	4,480	1,234	5,331	1,074	1,778	1,657	4,101	7,193
	伸び率	26%	11%	12%	39%	107%	33%	88%	40%	17%
大阪大学	97-01	19,128	3,310	1,275	3,742	525	1,277	122	3,451	4,594
	02-06	21,842	3,497	1,785	4,726	606	1,395	130	3,618	5,026
	07-11	21,807	3,657	1,732	4,698	722	1,377	242	4,122	4,954
	伸び率	14%	10%	36%	26%	38%	8%	98%	19%	8%
神戸大学	97-01	4,533	440	127	810	155	293	129	1,157	1,294
	02-06	5,601	586	122	871	190	382	191	1,506	1,554
	07-11	6,123	714	143	862	223	449	196	1,612	1,827
	伸び率	35%	62%	13%	6%	44%	53%	52%	39%	41%
岡山大学	97-01	5,662	721	146	476	108	232	209	1,803	1,880
	02-06	6,546	716	190	705	128	276	219	2,004	2,126
	07-11	6,983	759	178	828	174	326	357	2,135	2,178
	伸び率	23%	5%	22%	74%	61%	41%	71%	18%	16%
広島大学	97-01	6,965	958	257	1,278	271	473	261	1,458	1,861
	02-06	7,981	1,127	332	1,518	327	594	266	1,619	1,990
	07-11	7,795	1,021	307	1,558	303	507	399	1,737	1,892
	伸び率	12%	7%	19%	22%	12%	7%	53%	19%	2%
九州大学	97-01	12,446	2,217	601	1,241	377	871	382	2,891	3,473
	02-06	14,210	2,278	766	1,542	445	1,202	618	2,928	3,907
	07-11	14,783	2,312	891	1,874	524	1,175	810	3,047	4,018
	伸び率	19%	4%	48%	51%	39%	35%	112%	5%	16%
慶應義塾大学	97-01	5,434	802	187	542	289	359	34	1,874	1,143
	02-06	6,598	894	306	619	352	459	39	2,210	1,487
	07-11	7,443	757	212	761	422	549	53	2,816	1,749
	伸び率	37%	-6%	13%	40%	46%	53%	56%	50%	53%
早稲田大学	97-01	2,828	590	267	750	233	288	59	93	381
	02-06	3,857	698	285	1,148	336	409	103	162	444
	07-11	4,809	735	301	1,411	461	632	116	406	673
	伸び率	70%	25%	13%	88%	98%	119%	97%	337%	77%

出典：文部科学省　科学技術政策研究所「大学ベンチマーキングシリーズ研究論文に着目した
日本の大学ベンチマーキング2011」

学問分野によって論文作成の在り方などが異なることもあって、論文数だけで大学の研究活動を評価できるものではないことに留意が必要。

12.研究論文

○研究論文の質変化（Top10%補正論文数）（伸び率は1997-2001年→2007-2011年の比較）

※ 調査対象は、主に自然科学系の論文である。

大学名	区分	全体	1:化学	2:材料科学	3:物理学	4:計算機・数学	5:工学	6:環境・地球科学	7:臨床医学	8:基礎生命科学
北海道大学	97-01	902.5	235.8	54.0	97.0	10.3	37.3	60.9	176.4	227.8
	02-06	1052.9	215.6	64.1	140.2	25.1	34.8	72.7	203.2	290.2
	07-11	1193.2	209.9	74.7	134.3	26.7	49.4	117.4	203.7	359.2
	伸び率	32%	-11%	38%	38%	159%	32%	93%	15%	58%
東北大学	97-01	1,676.0	347.7	232.7	503.0	17.9	131.5	29.4	173.4	227.3
	02-06	2,023.8	340.4	250.1	719.3	25.0	119.9	58.5	211.5	284.8
	07-11	2,163.8	315.9	221.9	624.3	34.9	158.1	110.2	331.6	343.2
	伸び率	29%	-9%	-5%	24%	95%	20%	275%	91%	51%
筑波大学	97-01	630.2	60.5	23.4	220.2	12.4	40.3	14.2	93.8	156.4
	02-06	824.9	102.0	27.4	298.7	13.5	30.7	26.7	125.7	185.0
	07-11	1027.4	117.2	40.3	376.8	11.9	55.7	47.7	152.1	213.9
	伸び率	63%	94%	72%	71%	-4%	38%	236%	62%	37%
千葉大学	97-01	452.0	109.9	5.1	43.5	2.0	10.4	3.0	136.1	134.9
	02-06	531.5	100.2	11.1	99.6	5.1	10.4	5.1	162.3	133.5
	07-11	561.4	95.5	14.1	103.6	8.1	22.0	8.0	171.1	133.5
	伸び率	24%	-13%	176%	138%	305%	112%	167%	26%	-1%
東京大学	97-01	3774.6	596.8	126.4	1053.3	71.6	209.2	141.1	595.7	909.2
	02-06	4388.9	681.7	165.5	1287.0	78.0	230.1	181.0	640.6	1059.3
	07-11	5209.2	711.1	216.5	1565.5	113.6	242.8	339.7	718.9	1221.5
	伸び率	38%	19%	71%	49%	59%	16%	141%	21%	34%
東京工業大学	97-01	1,011.3	303.6	113.3	314.7	34.4	111.6	43.7	8.0	75.0
	02-06	1,236.5	278.9	136.9	494.4	33.0	106.2	74.9	8.2	101.0
	07-11	1,437.4	292.3	137.2	573.6	77.2	140.5	78.2	15.3	114.6
	伸び率	42%	-4%	21%	82%	124%	26%	79%	91%	53%
名古屋大学	97-01	1207.5	262.1	41.9	235.1	24.9	81.7	45.7	203.6	300.4
	02-06	1345.3	247.4	64.9	323.8	20.7	76.3	34.8	205.4	362.8
	07-11	1632.9	259.9	51.5	457.8	38.0	86.4	65.0	303.6	356.9
	伸び率	35%	-1%	23%	95%	53%	6%	42%	49%	19%
京都大学	97-01	2,683.9	565.5	174.5	445.1	54.9	139.5	63.0	445.3	751.7
	02-06	2,901.0	680.4	145.1	558.7	67.3	123.2	64.4	455.4	775.2
	07-11	3,509.1	713.7	145.2	807.7	104.5	172.8	131.6	545.8	821.6
	伸び率	31%	26%	-17%	81%	90%	24%	109%	23%	9%
大阪大学	97-01	2149.7	405.0	138.7	416.0	40.3	100.2	5.1	483.9	514.3
	02-06	2391.3	408.4	180.1	576.7	44.2	94.1	5.2	496.4	552.1
	07-11	2514.0	495.4	181.6	557.6	41.7	83.2	22.2	520.4	564.0
	伸び率	17%	22%	31%	34%	3%	-17%	335%	8%	10%
神戸大学	97-01	406.3	34.2	17.3	94.4	14.5	36.1	1.0	97.0	105.6
	02-06	404.1	29.7	9.1	71.9	14.7	23.7	6.2	105.2	136.5
	07-11	580.7	52.6	11.9	121.1	14.6	27.3	13.7	161.1	164.9
	伸び率	43%	54%	-31%	28%	1%	-24%	1270%	66%	56%
岡山大学	97-01	380.9	51.4	21.4	34.4	4.2	31.2	20.4	108.0	109.1
	02-06	496.2	49.0	22.2	78.4	2.2	22.7	20.4	146.1	152.3
	07-11	681.9	34.4	6.5	176.9	6.6	19.8	28.7	195.9	204.5
	伸び率	79%	-33%	-70%	414%	57%	-37%	41%	81%	87%
広島大学	97-01	530.6	75.6	34.7	130.8	13.5	43.4	9.2	119.8	99.6
	02-06	659.1	101.1	39.4	156.7	18.7	50.1	19.4	150.2	118.2
	07-11	759.2	76.6	38.3	299.7	12.1	29.1	36.3	155.1	100.6
	伸び率	43%	1%	10%	129%	-10%	-33%	295%	29%	1%
九州大学	97-01	1070.6	264.1	87.7	56.7	24.8	78.7	23.3	304.8	223.3
	02-06	1243.0	265.3	102.4	86.6	24.0	101.1	56.1	324.6	269.8
	07-11	1289.4	233.7	99.8	122.4	44.4	99.3	56.2	321.9	291.0
	伸び率	20%	-12%	14%	116%	79%	26%	141%	6%	30%
慶應義塾大学	97-01	461.8	53.6	31.7	50.6	15.4	24.8	2.0	175.4	96.2
	02-06	573.2	67.3	51.7	48.5	11.1	39.3	4.1	218.5	121.5
	07-11	710.7	68.2	25.9	49.8	18.7	44.0	5.6	312.7	175.2
	伸び率	54%	27%	-18%	-2%	21%	77%	180%	78%	82%
早稲田大学	97-01	246.8	61.5	43.9	83.1	15.5	15.5	3.1	6.1	18.2
	02-06	369.9	52.2	34.5	168.8	33.3	35.2	6.1	12.3	26.4
	07-11	541.7	66.6	32.3	291.0	34.2	37.1	5.9	27.6	44.8
	伸び率	119%	8%	-26%	250%	121%	139%	90%	352%	146%

Top10%補正論文数とは、被引用回数が各年各分野で上位10%に入る論文の抽出後、実数で論文数の1/10 となるように補正を加えた論文数を指す。

出典：文部科学省　科学技術政策研究所「大学ベンチマーキングシリーズ研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング2011」

学問分野によって論文作成の在り方などが異なることもあって、論文数だけで大学の研究活動を評価できるものではないことに留意が必要。

13. 科学研究費

13－1. 平成24年度科学研究費助成事業獲得状況

●**新規採択率**（奨励研究、研究成果公開促進費を除く。）

・神戸大学　33.7%　・全体　28.8%

・神戸大学の順位　**不明**（31位以下）

●**新規採択件数**（奨励研究、研究成果公開促進費を除く。）

・神戸大学　342件　・全体　23,966件

・神戸大学の順位　**11位**（24年度：11位、23年度：10位、22年度：11位）

●**新規＋継続の採択件数**（奨励研究、研究成果公開促進費を除く。）

・神戸大学　975件　・全体　67,254件

・神戸大学の順位　**10位**（24年度：10位、23年度：11位、22年度：11位）

●**新規＋継続の配分額（直接経費のみ）**（奨励研究、研究成果公開促進費を除く。）

・神戸大学　2,175,567千円　・全体　154,662,992千円

・神戸大学の順位　**13位**（24年度：13位、23年度：13位、22年度：12位）

●**新規＋継続の配分額（直接経費＋間接経費）**（奨励研究、研究成果公開促進費を除く。）

・神戸大学　2,819,837千円　・全体　200,797,140千円

・神戸大学の順位　**13位**（24年度：13位、23年度：13位、22年度：12位）

研究

◆平成24年度科学研究費助成事業獲得状況内訳◆

平成24年4月現在

種目		採択件数	配分額（新規＋継続）		
			直接経費（千円）	間接経費（千円）	合計（千円）
特別推進研究	全体	59	4,571,600	1,371,480	5,943,080
	本学	0	0	0	0
	本学割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特定領域研究	全体	117	882,500		882,500
	本学	3	28,000		28,000
	本学割合	2.6%	3.2%		3.2%
新学術領域研究	全体	2,733	21,049,219	6,314,766	27,363,985
	本学	40	367,100	110,130	477,230
	本学割合	1.5%	1.7%	1.7%	1.7%
基盤研究(S)	全体	348	9,229,300	2,768,790	11,998,090
	本学	3	79,600	23,880	103,480
	本学割合	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%
基盤研究(A)	全体	2,054	18,888,800	5,666,640	24,555,440
	本学	24	208,100	62,430	270,530
	本学割合	1.2%	1.1%	1.1%	1.1%
基盤研究(B)	全体	8,358	32,515,800	9,754,740	42,270,540
	本学	157	606,900	182,070	788,970
	本学割合	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%
基盤研究(C)	全体	28,211	31,815,351	9,544,605	41,359,956
	本学	389	442,075	132,622	574,697
	本学割合	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%
挑戦的萌芽研究	全体	7,735	9,476,700	2,843,010	12,319,710
	本学	123	143,900	43,170	187,070
	本学割合	1.6%	1.5%	1.5%	1.5%
若手研究(S)	全体	47	540,100	162,030	702,130
	本学	0	0	0	0
	本学割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
若手研究(A)	全体	1,244	6,921,164	2,076,349	8,997,513
	本学	12	48,000	14,400	62,400
	本学割合	1.0%	0.7%	0.7%	0.7%
若手研究(B)	全体	15,557	17,942,303	5,382,691	23,324,994
	本学	218	244,892	73,468	318,360
	本学割合	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%
研究活動ｽﾀｰﾄ支援	全体	791	830,155	249,047	1,079,202
	本学	6	7,000	2,100	9,100
	本学割合	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%
合計	全体	67,254	154,662,992	46,134,148	200,797,140
	本学	975	2,175,567	644,270	2,819,837
	本学割合	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%

研究

13－1. 科学研究費補助金獲得状況(ランキング)

研究者が所属する研究機関別　採択件数･配分額一覧(新規採択＋継続分)

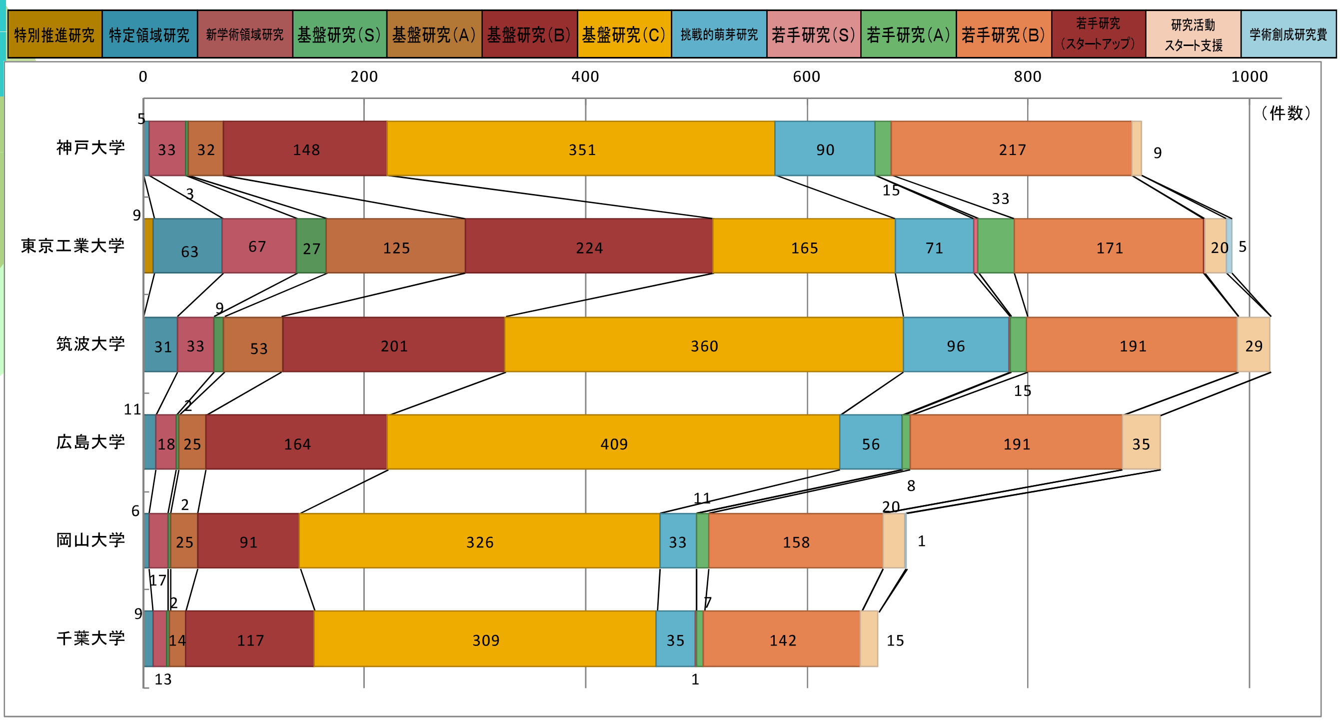
各年度4月現在
(金額単位:千円)

平成22年度							平成23年度							平成24年度						
順位	機 関 名	採択件数	配分額	間接経費	合計	1件当たりの単価	順位	機 関 名	採択件数	配分額	間接経費	合計	1件当たりの単価	順位	機 関 名	採択件数	配分額	間接経費	合計	1件当たりの単価
1	東京大学	3,009	14,908,953	4,068,586	18,977,539	6,307	1	東京大学	3,374	16,493,188	4,828,616	21,321,804	6,319	1	東京大学	3,503	15,636,405	4,659,542	20,295,947	5,794
2	京都大学	2,423	9,295,745	2,425,492	11,721,237	4,837	2	京都大学	2,651	10,029,290	2,879,937	12,909,227	4,870	2	京都大学	2,780	9,962,900	2,958,720	12,921,620	4,648
3	大阪大学	2,117	7,483,690	1,973,157	9,456,847	4,467	3	大阪大学	2,365	8,353,623	2,425,507	10,779,130	4,558	3	大阪大学	2,561	8,413,068	2,495,570	10,908,638	4,260
4	東北大学	1,995	7,162,434	1,948,690	9,111,124	4,567	4	東北大学	2,295	7,910,694	2,321,338	10,232,032	4,458	4	東北大学	2,451	7,832,042	2,337,433	10,169,475	4,149
5	九州大学	1,498	4,333,310	1,190,883	5,524,193	3,688	5	九州大学	1,712	4,977,640	1,446,432	6,424,072	3,752	5	九州大学	1,812	5,109,888	1,514,307	6,624,195	3,656
6	北海道大学	1,428	4,311,388	1,150,617	5,462,005	3,825	6	北海道大学	1,608	4,636,646	1,359,644	5,996,290	3,729	6	名古屋大学	1,621	5,027,500	1,486,200	6,513,700	4,018
7	名古屋大学	1,359	4,297,690	1,095,957	5,393,647	3,969	7	名古屋大学	1,489	4,657,043	1,314,433	5,971,476	4,010	7	北海道大学	1,729	4,977,749	1,478,085	6,455,834	3,734
8	東京工業大学	748	3,398,320	894,186	4,292,506	5,739	8	東京工業大学	765	3,192,399	925,530	4,117,929	5,383	8	東京工業大学	833	3,283,586	983,276	4,266,862	5,122
9	筑波大学	1,009	2,435,639	654,042	3,089,681	3,062	9	筑波大学	1,141	2,738,881	807,534	3,546,415	3,108	9	筑波大学	1,187	2,749,898	821,250	3,571,148	3,009
10	神戸大学	801	1,874,730	526,149	2,400,879	2,997	10	広島大学	993	2,095,085	624,026	2,719,111	2,738	10	広島大学	1,055	2,181,600	654,480	2,836,080	2,688
11	広島大学	913	1,806,220	510,366	2,316,586	2,537	11	神戸大学	903	2,019,740	594,012	2,613,752	2,895	11	神戸大学	975	2,175,567	644,270	2,819,837	2,892
12	岡山大学	672	1,462,050	421,065	1,883,115	2,802	12	岡山大学	766	1,745,385	520,165	2,265,550	2,958	12	岡山大学	839	1,744,049	522,255	2,266,304	2,701
13	千葉大学	663	1,435,693	392,818	1,828,511	2,758	13	千葉大学	752	1,502,246	446,504	1,948,750	2,591	13	千葉大学	809	1,649,600	494,880	2,144,480	2,651
14	東京医科歯科大学	445	1,136,250	292,875	1,429,125	3,212	14	東京医科歯科大学	535	1,461,900	425,670	1,887,570	3,528	14	熊本大学	615	1,482,620	442,896	1,925,516	3,131
15	熊本大学	508	1,096,690	308,247	1,404,937	2,766	15	熊本大学	580	1,441,620	421,656	1,863,276	3,213	15	東京医科歯科大学	558	1,434,500	429,780	1,864,280	3,341
16	金沢大学	594	1,089,130	302,709	1,391,839	2,343	16	金沢大学	656	1,320,582	392,185	1,712,767	2,611	16	金沢大学	698	1,348,700	402,750	1,751,450	2,509
17	長崎大学	461	894,680	252,474	1,147,154	2,488	17	新潟大学	622	1,077,390	323,217	1,400,607	2,252	17	新潟大学	672	1,161,800	348,540	1,510,340	2,248
18	徳島大学	436	912,710	231,423	1,144,133	2,624	18	徳島大学	492	1,037,170	291,981	1,329,151	2,702	18	長崎大学	543	1,005,400	301,620	1,307,020	2,407
19	愛媛大学	378	886,800	255,750	1,142,550	3,023	19	愛媛大学	426	964,060	289,218	1,253,278	2,942	19	徳島大学	514	992,200	297,660	1,289,860	2,509
20	新潟大学	521	876,423	253,447	1,129,870	2,169	20	長崎大学	513	893,250	267,975	1,161,225	2,264	20	東京農工大学	277	886,000	265,620	1,151,620	4,157
21	東京農工大学	241	795,150	222,255	1,017,405	4,222	21	信州大学	468	825,270	245,121	1,070,391	2,287	21	愛媛大学	437	885,000	265,500	1,150,500	2,633
22	信州大学	386	700,037	198,761	898,798	2,328	22	東京農工大学	263	816,970	238,131	1,055,101	4,012	22	奈良先端科学技術大学院大学	213	884,800	252,420	1,137,220	5,339
23	奈良先端科学技術大学院大学	197	709,380	159,564	868,944	4,411	23	奈良先端科学技術大学院大学	208	799,310	217,743	1,017,053	4,890	23	信州大学	490	833,300	249,990	1,083,290	2,211
24	静岡大学	301	641,660	179,988	821,648	2,730	24	山口大学	419	715,560	214,668	930,228	2,220	24	山口大学	448	784,000	235,200	1,019,200	2,275
25	山口大学	383	635,846	182,624	818,470	2,137	25	鹿児島大学	420	712,190	213,207	925,397	2,203	25	群馬大学	445	779,900	233,970	1,013,870	2,278
26	群馬大学	381	590,040	161,562	751,602	1,973	26	群馬大学	403	696,391	206,517	902,908	2,240	26	静岡大学	341	705,400	211,620	917,020	2,689
27	富山大学	333	576,420	160,746	737,166	2,214	27	静岡大学	323	673,783	200,635	874,418	2,707	27	鹿児島大学	450	685,700	205,710	891,410	1,981
28	一橋大学	149	567,750	168,645	736,395	4,942	28	横浜国立大学	270	605,340	180,642	785,982	2,911	28	岐阜大学	351	649,800	194,940	844,740	2,407
29	鹿児島大学	367	567,240	159,732	726,972	1,981	29	山形大学	343	565,080	169,164	734,244	2,141	29	山形大学	378	639,700	191,910	831,610	2,200
30	三重大学	292	509,620	138,606	648,226	2,220	30	富山大学	347	557,260	164,748	722,008	2,081	30	富山大学	353	637,852	191,356	829,208	2,349

※出典:文部科学省「科学研究費補助金の配分について」より作成(国立大学のみ)

研究

13－1.【参考】平成22年度科学研究費補助金獲得状況〈件数(新規＋継続)〉



※参考:東京工業大学･･･東京工業大学HPにおける平成22年度財務諸表より作成。
筑波大学･･･筑波大学HP＞研究推進部研究企画課＞筑波大学研究データ集(平成22年度)より作成。
広島大学･･･HP＞大学案内＞大学の概要＞外部資金受入れ状況＞外部資金受入状況(2011年)より作成。なお、直接経費のみの記載のため、間接経費を推計。
岡山大学･･･岡山大学HP(http://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/soumu-pdf/2010gaiyoP49-50.pdf)より作成。
千葉大学･･･千葉大学HP＞大学案内＞千葉大学データ＞平成22年度科学研究費補助金採択状況より作成。なお、直接経費のみの記載のため、間接経費を推計。
※根拠資料の定義が異なるため、単純比較はできない。

13－1. 【参考】平成24年度科研費（補助金分・基金分）の配分について〈全体〉

平成24年4月現在

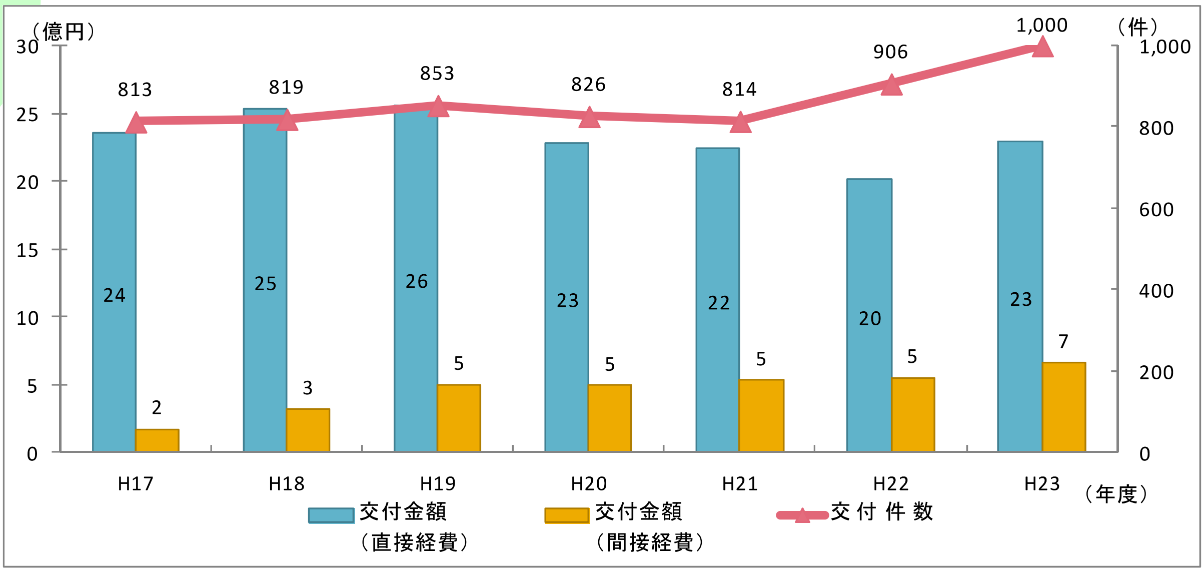
	研究課題数			配分額（千円）	1課題あたりの配分額	
	応募（件）	採択（件）	採択率		平均（千円）	最高（千円）
科学研究費	130,324	67,961	52.1%	155,012,892	2,281	159,200
特別推進研究	59	59	100.0%	4,571,600	77,485	159,200
特定領域研究	117	117	100.0%	882,500	7,543	42,000
新学術領域研究（研究領域提案型）	4,842	2,732	56.4%	21,045,350	7,703	135,400
新学術領域研究（研究課題提案型）	1	1	100.0%	3,869	3,869	3,869
基盤研究（S）	348	348	100.0%	9,229,300	26,521	87,900
基盤研究（A）	3,784	2,054	54.3%	18,888,800	9,196	34,400
基盤研究（B）	15,837	8,358	52.8%	32,515,800	3,890	13,300
基盤研究（C）	51,301	28,211	55.0%	31,815,351	1,128	3,800
挑戦的萌芽研究	16,541	7,735	46.8%	9,476,700	1,225	3,100
若手研究（S）	50	47	94.0%	540,100	11,491	19,000
若手研究（A）	2,646	1,244	47.0%	6,921,164	5,564	19,700
若手研究（B）	30,211	15,557	51.5%	17,942,303	1,153	3,400
研究活動スタート支援	791	791	100.0%	830,155	1,050	1,500
奨励研究	3,796	707	18.6%	349,900	495	800
研究成果公開促進費	1,006	536	53.3%	1,166,960	2,177	20,000
学術創成研究費	－	－	－	－	－	－
合計	131,330	68,497	52.2%	156,179,852	2,280	159,200

※出典：文部科学省「平成24年度科研費（補助金分・基金分）の配分について」より作成

13－2. 科学研究費補助金獲得状況（推移）

平成22年度において、交付件数が大幅に増加しているにもかかわらず、交付金額が減少したが、平成23年度においては、回復傾向にある。

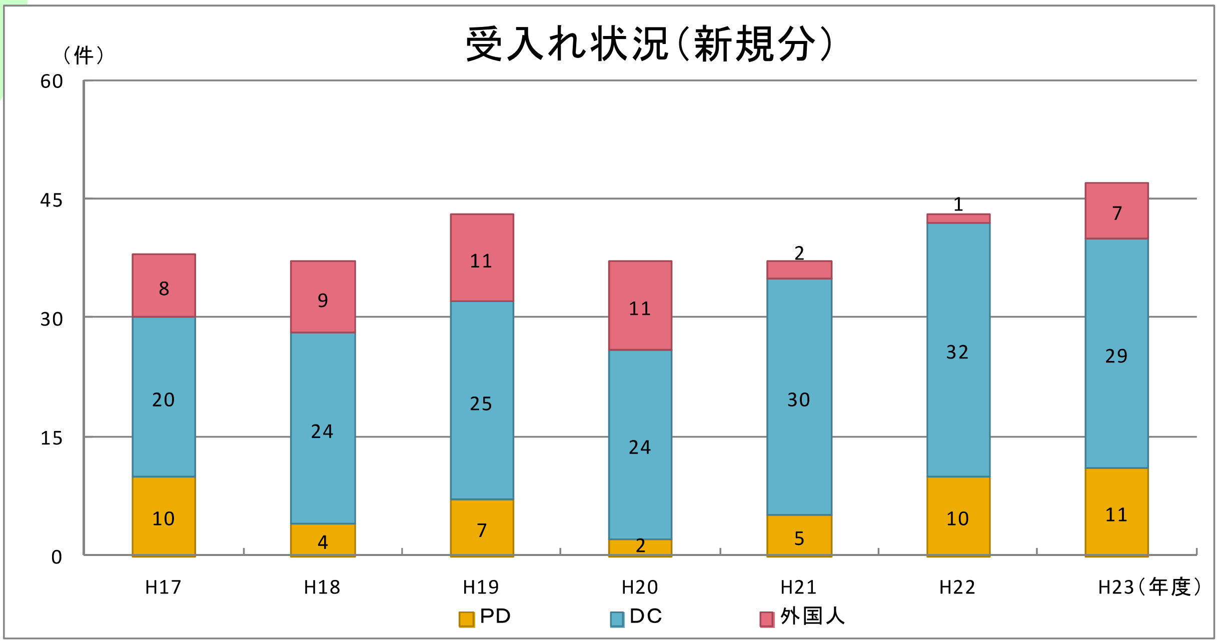
◆神戸大学◆



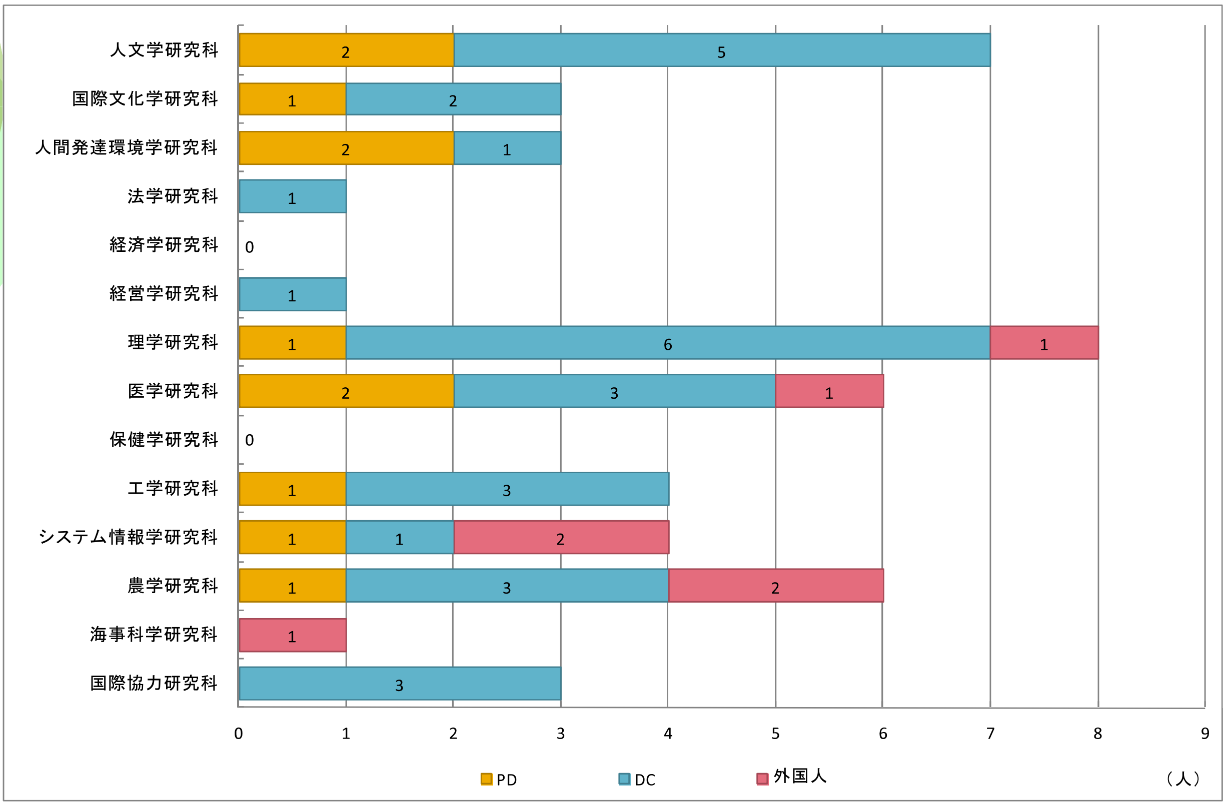
14. 日本学術振興会特別研究員受入れ状況（新規分）

◆神戸大学◆

全体的に外国人特別研究員が減少していたが、平成23年度において回復している。また部局別に見ると人文学研究科と理学研究科において受入れが多い。



14.【参考】日本学術振興会特別研究員受入れ状況（新規分）《平成23年度》



15. 文化勲章等受章者一覧

○所属教員

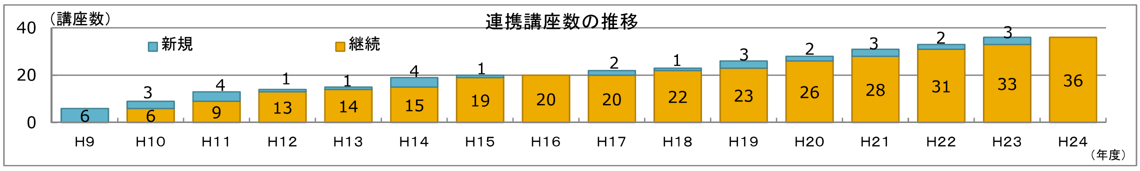
	氏名	決定年	旧所属	官職
【文化勲章】	西塚　泰美	昭和63年	医学部	教授・学長
【文化功労者】	西塚　泰美	昭和62年	医学部	教授・学長
	五百旗頭　真	平成23年	法学研究科	名誉教授
【紫綬褒章】	岩井　誠三	平成元年	医学部	教授
	三嶋　豊	平成6年	医学部	教授
	天野　明弘	平成12年	経営学部	教授
	岡村　均	平成19年	医学系研究科	教授
	春日　雅人	平成19年	医学系研究科	教授
	清野　進	平成23年	医学研究科	教授
【ウルフ賞】	西塚　泰美	平成6年	医学部	教授・学長
【アルバート・ラスカー医学研究賞】基礎医学研究賞	西塚　泰美	平成元年	医学部	教授・学長
【ガードナー国際賞】	西塚　泰美	昭和63年	医学部	教授・学長
【朝日賞】	西塚　泰美	昭和61年	医学部	教授・学長
【京都賞】基礎科学部門	西塚　泰美	平成4年	医学部	教授・学長
【女性化学賞】	相馬　芳枝	平成23年	自然科学研究科	客員教授・特別顧問

○神戸大学出身の著名人

氏名	賞名等	受賞部門	決定年	卒業校等
江崎　玲於奈	【ノーベル賞】	物理学賞	昭和48年	兵庫県師範学校附属小学校高等科（神戸大学附属中等教育学校の前身）
	【文化勲章】		昭和49年	
野依　良治	【ノーベル賞】	化学賞	平成13年	兵庫師範学校男子部附属小学校卒（神戸大学附属住吉小学校の前身）
	【ウルフ賞】	化学部門	平成13年	
	【朝日賞】		平成4年	
河合　隼雄	【朝日賞】		平成9年	神戸工業専門学校卒（神戸大学工学部の前身）
山中　伸弥	【ノーベル賞】	生理学・医学賞	平成24年	神戸大学医学部卒
	【ウルフ賞】	医学部門	平成23年	
	【アルバート・ラスカー医学研究賞】	基礎医学研究賞	平成21年	
	【ガードナー国際賞】		平成21年	
	【ミレニアム技術賞】		平成24年	
	【京都賞】	先端技術部門	平成22年	
	【朝日賞】		平成19年	
脇田　晴子	【文化勲章】		平成22年	神戸大学文学部史学科卒

研究

16. 連携大学院の実施状況



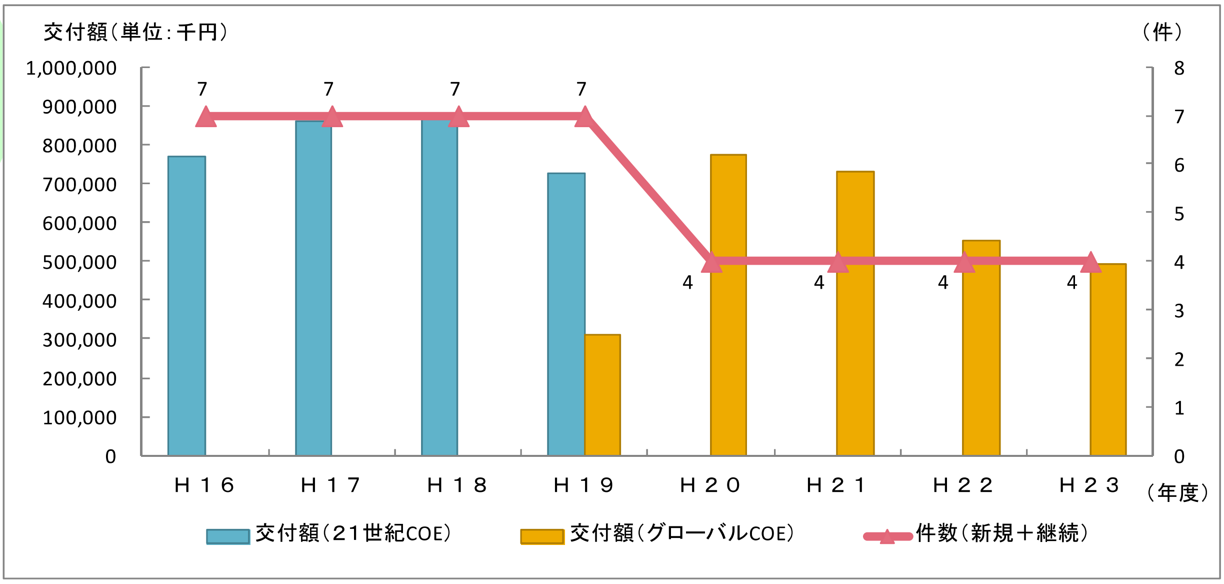
◆参考：連携講座一覧　　平成24年5月１日現在

研究科名	専攻名	講座名	連携先	開始年度
人文学研究科	社会動態専攻	文化資源論	(財)大和文華館、(独)国立博物館奈良国立博物館	平成19年度
国際文化学研究科	グローバル文化専攻	先端コミュニケーション論	(株)国際電気通信基礎技術研究所	平成19年度
人間発達環境学研究科	人間環境学専攻	環境先端科学	(独)国立環境研究所、(独)産業技術総合研究所	平成19年度
経営学研究科	マネジメント・システム専攻	マネジメント・システム設計	(株)野村総合研究所	平成10年度
	会計システム専攻	事業価値評価	GCAサヴィアングループ(株)	平成18年度
	現代経営学専攻	経営戦略システム設計	アクセンチュア(株)	平成11年度
理学研究科	化学専攻	構造解析化学	(財)高輝度光科学研究センター、放射光研究所	平成19年度
		理論生物化学	(独)理化学研究所、計算科学研究機構	平成23年度
	生物学専攻	分子薬理学	(株)塩野義製薬医薬開発本部	平成19年度
		発生生物学	(独)理化学研究所、発生・再生科学総合研究センター	平成19年度
	地球惑星科学専攻	人類紀環境	岡山理科大学自然科学研究所	平成19年度
		大気海洋環境科学	(独)海洋研究開発機構	平成19年度
医学研究科	医科学専攻	生理学・細胞生物学	(独)理化学研究所、発生・再生科学総合研究センター	平成14年度
			(株)カン研究所	平成22年度
			アスビオファーマ(株)	平成23年度
		生化学・分子生物学	(財)高輝度光科学研究センター、放射光研究所	平成12年度
			(株)カン研究所	平成22年度
		微生物感染症学	(独)医薬基盤研究所	平成19年度
			兵庫県立健康生活科学研究所	平成20年度
		地域社会医学・健康科学	(独)医薬品医療機器総合機構	平成23年度
		内科学	(株)カン研究所	平成22年度
		内科系	兵庫県立粒子線医療センター	平成13年度
			(財)先端医療振興財団、先端医療センター	平成13年度
			(財)先端医療振興財団、先端医療センター	平成20年度
		外科系	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	平成19年度
工学研究科	建築学専攻	地域減災計画	総務省消防庁消防大学校消防研究センター	平成19年度
	電気電子工学専攻	機能性薄膜学	パナソニック(株)先端技術研究所	平成19年度
	機械工学専攻	知的製造システム	(株)神戸製鋼所技術開発本部、神戸総合技術研究所	平成19年度
		機能適応モデル	(独)情報通信研究機構	平成19年度
		開智型ものづくり	川崎重工業(株)、技術開発本部	平成21年度
	応用化学専攻	局所場反応・物性解析学	(独)産業技術総合研究所、関西センター	平成19年度
		化学エネルギー変換プロセス学	(独)産業技術総合研究所、関西センター	平成19年度
		生物機能工学	(財)サントリー生物有機科学研究所	平成21年度
		製剤設計生産工学	アステラス製薬(株)	平成22年度
		ケミカル・バイオセンシング	(独)産業技術総合研究所、連携研究体ﾊﾞｲｵ技術産業化センター	平成23年度
システム情報学研究科	システム科学専攻	応用システム	三菱電機(株)先端技術総合研究所	平成19年度
	情報科学専攻	感性アートメディア	(株)国際電気通信基礎技術研究所	平成19年度
	計算科学専攻	先端計算科学	(独)理化学研究所	平成22年度
		応用計算科学	(独)海洋研究開発機構	平成22年度
農学研究科	資源生命科学専攻	食料生産フィールド科学	兵庫県立農林水産技術総合センター	平成19年度
海事科学研究科	海事科学専攻	海洋環境計測科学	(独)海洋研究開発機構	平成19年度
		地域環境科学	(財)ひょうご環境創造協会　兵庫県環境研究センター	平成21年度

17. 教育・研究プログラムの採択状況

17－1. 21世紀COE・グローバルCOE

◆神戸大学◆



※ 21世紀COEは、平成14～16年度において採択されており、グローバルCOEについては、平成19～21年度において採択されており、平成22年度以降は新規の公募がない。

17－1.【参考】グローバルCOE採択状況

【平成19年度新規採択分】　　（単位：千円）

プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
グローバルCOEプログラム				
統合的膜生物学の国際教育研究拠点	医学研究科	1,345,917	H19～H23	統合的膜生物学をキーワードに、生体膜に関わる多彩な研究対象とアプローチを背景とする世界最高水準の研究者を集結させて異分野融合型の有機的連携を図り、高次生体膜機能の全貌の解明とその基本原理の理解を目指すと同時に、膜生物学に関する統合的な知識と方法論を身に付け、新しい視点から研究を創生する能力及び国際的活動能力を有する若手研究者を育成する教育研究拠点を形成する。

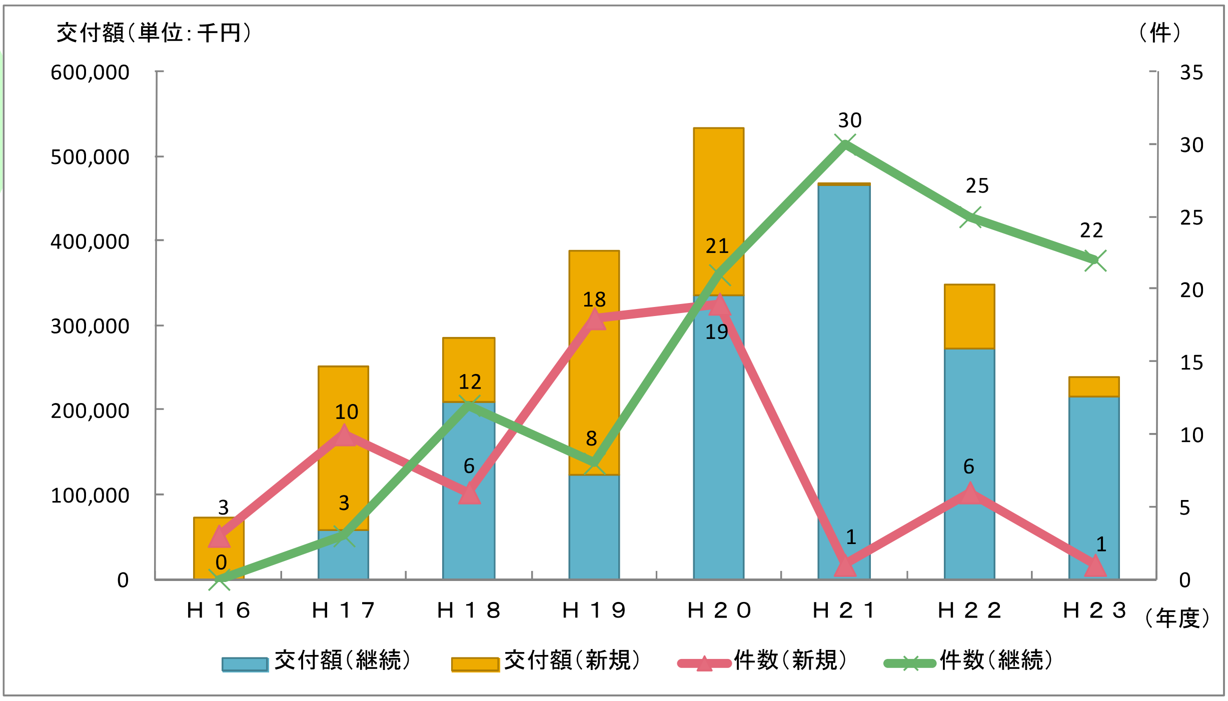
【平成20年度新規採択分】　　（単位：千円）

プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
グローバルCOEプログラム				
次世代シグナル伝達医学の教育研究国際拠点	医学研究科	1,040,321	H20～H24	基礎・臨床医学の実質的な融合を基にした分野横断的・統合的なアプローチにより、社会的に根本的な解決が急務となっているがん、代謝疾患、感染症、神経・筋疾患を対象とし、それらの疾患が互いに関わり合う核心メカニズムの解明、並びに画期的な診断・治療・予防法の確立を目指すと同時に、新分野を創成する能力を有するclinician-scientist・医学研究者の育成を目指した、シグナル伝達医学の教育研究国際拠点を形成する。
惑星科学国際教育研究拠点の構築	理学研究科	429,520	H20～H24	北海道大学と連携して、惑星系の起源・進化・多様性を統合し普遍化した汎惑星系モデルの構築を目指すと同時に、21世紀COEプログラムの成果として設立された惑星科学研究センターを、企画運営・情報化・国際連携などへの対応力を持ち、国内外の惑星科学研究者やグループによる教育研究活動のネットワーク化を支援するコーディネーションセンターに拡充させ、5年後には国際的な共同教育研究活動を展開する惑星科学国際教育研究拠点として確立させることを目標とする。（連携：北海道大学理学研究院）
マス・フォア・インダストリ教育研究拠点	理学研究科（九州大学　連携大学：神戸大学）	41,700	H20～H24	マス・フォア・インダストリ（MI）とは、純粋・応用数学を流動性・汎用性をもつ形に融合再編しつつ産業界からの要請に応えようとすることで生まれる、未来技術の創出基盤となる数学の新研究領域である。九州大学が中心となり、本学理学研究科数学専攻が連携して推進する本プログラムにおいては、統計・確率、数値/数式計算、可積分系を始めとする優れた研究実績を基に、数学と産業界の未だ類を見ない協働に向けた先駆的、組織的取組を更に押し進め、世界最高水準のMI教育研究拠点の形成を目指す。

※ 補助金交付済総額には、間接経費を含む。

17－2. 大学教育改革支援プログラム

◆神戸大学◆



※ 平成22年度以降はグローバルCOEプログラム及び科学技術振興調整費以外を大学教育改革支援プログラムとして計算している。

研究

17－2.【参考】大学教育改革支援プログラム採択状況

【平成21年度新規採択分】　（単位：千円）

プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム				
医薬共同による創薬・育薬を担う医療人の育成を通じた私立・国立大学間の連携	医学部附属病院（神戸薬科大学　連携大学：神戸大学）	0	H21～H23	医薬品の適正使用・安全管理教育を強化するため神戸薬科大学での新たな学部授業科目、大学院授業科目の共同開発を行う。また、卒後教育で、薬剤師レジデント教育プログラムを充実、医薬生涯研修支援プログラムを開発、両大学で展開するとともに、医薬共同研究を推進することにより、創薬・育薬を担う医療人の育成を行う。さらに、両大学の教員・職員を対象としたFD・SD研修プログラム等の共同開発を行い、教員・職員の質の向上を図る。
組織的な若手研究者等海外派遣プログラム				
国際連携プラットフォームによる東アジアの未来を担う若手人文学研究者等の育成	人文学研究科	29,007	H21～H24	本取組では、多極的教育研究プログラムを更に発展させ、フィールドワークや論文執筆、国際学会発表、公開講座や市民フォーラムの開催等、様々な教育研究活動の場となる「国際連携プラットフォーム」を構築し、東アジアの未来を担う、高度な研究能力と広い国際的視野を持った若手人文学研究者等の育成を目指す。
理論と実践を結ぶ国際政策学のための分野横断的かつ実践的な思考力の育成事業	国際協力研究科	25,800	H21～H25	実践的・分野横断的な視点を有する研究者育成を目的に、本研究科のダブルディグリー・プログラムのための留学や単位認定される海外実習、インターンシップのための海外渡航等に、財政的支援をします。
大学病院連携型高度医療人養成推進事業				
四国本州メディカルブリッジ高度医療人養成	医学部附属病院（徳島大学　連携大学：神戸大学ほか4大学）	9,111	H21～H25	四国と首都・阪神圏の異なる医療環境で、地域医療から高度先進医療まで幅広い分野での専門診療経験を積むとともに、大学院での質の高い臨床研究を組み入れることで、卒前教育、初期臨床研修と緊密に連続・連携した魅力あるキャリア形成システムの構築を目指す。総合力を基盤とした高い専門性と臨床研究能力を有し、地域医療の特性を理解した優れた医師を数多く輩出することにより、大学病院の機能強化を図るとともに、四国に定着し、その医療に貢献できる専門医の増加と地域医療の活性化を目指す。

【平成22年度新規採択分】　（単位：千円）

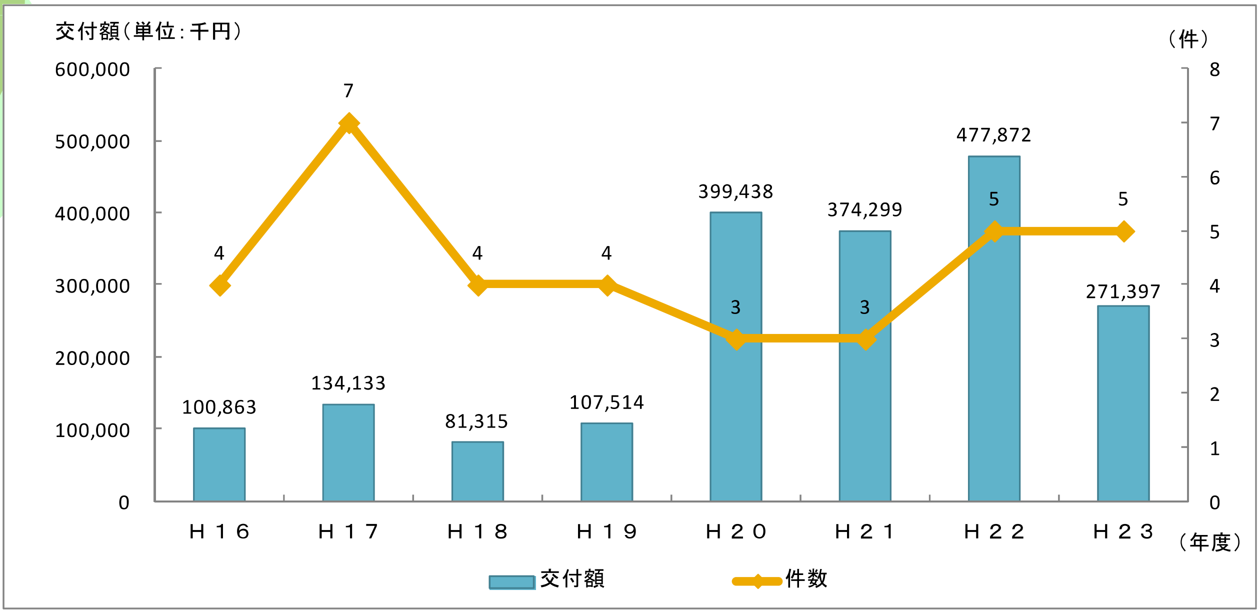
プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
国際共同に基づく日本研究推進事業				
日本サブカルチャー研究の世界的展開 -学術的深化と戦略的な成果発信-	人文学研究科	14,650	H22～H24	欧米における研究組織との国際共同研究を基盤とし、世界で進行中の日本マンガ・アニメの研究の動向・情報を系統的に整理し、さらに学術的深化を図る。またその成果を世界に発信する。これらを通して、世界での同研究の学術としての展開や定着を促すことがねらいである。また、ひるがえって、こうした活動を通して、日本と世界での日本研究の推進を図る。
頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラム				
時空構造解明を目指すアトラス実験での若手研究者育成とネットワーク構築	理学研究科	26,691	H22～H25	この派遣プログラムは、欧州原子核研究機構（CERN）の最高エネルギー陽子衝突型加速器LHCでの国際共同実験アトラス（ATLAS）に共同研究として若手を現地で参加させることにより、素粒子実験分野の次世代を担う若手研究者の育成および現地研究員とのネットワーク構築を図るものである。
健常者・障がい者の意図認識によるユニバーサルコミュニケーションの研究	都市安全研究センター	6,868	H22～H24	「認知工学」「科学教育」「脳科学」の融合による新たなコミュニケーション科学分野の開拓に挑戦し、海外研究機関との共同研究を介して言語神経系の解析を用いたユニバーサルコミュニケーション研究の促進を図る。そのため世界トップクラスの研究機関であるワシントン大学知脳科学研究所に、優秀な若手研究者を派遣し、協力関係を強化する。
研究開発学校				
幼稚園教育と小学校教育の接続期における円滑な接続のための新分野創設にむけたカリキュラムと指導方法等の研究開発	附属幼稚園	3,561	H22～H24	①子どもの発達段階を踏まえ、幼稚園と小学校に「接続期」を設定し、教育課程の連続性を明確にするための新たな分野の検討　②　新分野を踏まえた「接続期」におけるカリキュラムの開発　③　新分野を踏まえた指導方法及教材の研究開発　④　研究実践による実践データの収集　⑤　研究開発結果に対する検証・評価　⑥　幼稚園から小学校を通した、子どもの追跡調査の実施と検証
看護師の人材養成システムの確立＜看護職キャリアシステム構築プラン＞				
キャリアシステム・神戸REEDプラン ～経験学習に基づく双方向型教育 Reflective Educative Development Plan～	附属病院	48,750	H22～H26	看護師が看護専門職としてやりがいをもって生涯発達し続けることを目指し、個人のキャリア発達ニーズと組織のキャリア開発ニーズを統合させる仕組みを整えるため、経験学習に基づき看護実践能力を養う教育プログラムの開発、教育学等の専門的知識を備えた教育指導者の養成、交流先での職位をもった人事交流の実施及び教育指導者を対象としたキャリアパスの構築を行う。
大学等産学官連携自立化促進プログラム（地域産学官連携科学技術振興事業費補助金）				
「コーディネーター支援型」	連携創造本部	24,000	H22～H24	本プログラムにより配置したコーディネーターが、神戸大学の産学官連携活動に対する積極的な提言と実質的な実行者として戦略企画の一端を担うとともに、地域連携・広域連携・国際連携プロジェクトの企画立案及びマネジメントにおいて中心的な役割を担うことにより、産学官連携の一層の活性化に向けた好循環を促す。また、後継者の人材育成を積極的に行うことで、自立的かつ継続的なコーディネート活動を推進するための体制を構築する。

【平成23年度新規採択分】　（単位：千円）

プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
大学の世界展開力強化事業				
「キャンパス・アジア」中核拠点形成支援 東アジアにおけるリスク・マネジメント専門家養成プログラム	国際協力研究科	21,268	H23～H27	本プログラムは神戸大学大学院国際協力研究科、復旦大学国際関係・公共事務学院、高麗大学校国際大学院がコンソーシアムを形成し、将来の東アジア地域のみならず、世界レベルで活躍するリスクマネジメント専門家の養成に向けた同一かつ質の高い協働教育を展開する取組である。博士課程前期課程の大学院生を対象に12ヵ月間、交換留学およびダブル・ディグリープログラムを実施する受入・派遣モデルを三大学の協働により開発し、インターンシップを含めた講義等を履修し、各大学で定めた単位を相互認定することにより、将来の東アジアおよび世界レベルで活躍するリスク・マネジメント専門家を養成する。また、神戸大学大学院国際協力研究科の国内外での実績を前提に、WHO神戸センター、人と未来防災センター、アジア防災センター、JICA兵庫等のリスクマネジメントに関わる多彩な研究機関やNPO諸機関、既にネットワークが構築されている国際機関でのインターンシップなどプログラム参加者により充実した教育の機会を提供する。

17－3. 科学技術振興調整費

◆神戸大学◆



17－3.【参考】科学技術振興調整費採択状況

※平成23年度より「科学技術戦略推進費」に名称変更

【平成20年度新規採択分】（単位：千円）

プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
先端融合領域イノベーション創出拠点の形成（地域産官学連携科学技術振興事業費補助金）				
バイオプロダクション 次世代農工連携拠点	自然科学系 先端融合研究環	964,797	H20～H30 （予定）	本拠点では、農学（生物資源生産・開発）と工学（化学物質生産・分離技術）の広範囲な学術領域を融合させ、再生可能なバイオマス資源から、「次世代燃料・化成品原料」、「バイオプラスチック・バイオ繊維」及び「バイオファインケミカル」等の重要なバイオベース製品群を作り出すバイオプロダクションを実用化してグリーンイノベーションを達成し、持続可能な低炭素社会の実現を目指す。本学が優位性と独自性を誇る6つのコア研究領域「リサーチエンジン」を、産産学連携で発展させて確立する。

【平成21年度新規採択分】（単位：千円）

プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
地域再生人材創出拠点の形成（科学技術戦略推進費補助金）				
医師・コメディカル統合的 人材育成拠点形成	医学研究科	128,289	H21～H25	震災の経験を生かして災害時にも効率的に対応できる地域医療充実に向けコメディカルとのスキルミクスに重点をおいたユニットを形成し、地域医療の質、安全性の向上のみならず、南海大地震などの災害時の緊急対策の充実を図る。神戸大学を中心として兵庫県等と連携し、機能的なスキルミクスを実現できるエキスパート・コメディカルの育成を目的に災害・救急医療、感染症医療、周産期医療、高齢者医療および、がん医療、の5つの領域の育成コースを策定する。

【平成22年度新規採択分】（単位：千円）

プログラム名・取組名	実施担当部局	補助金交付済総額	採択期間	概　要
ポストドクター・キャリア開発事業（科学技術人材育成費補助金）				
生命医学イノベーション創出 リーダー養成	医学研究科	125,651	H22～H26	21世紀の成長産業として注目されている生命医学分野の研究開発をリードする若手イノベーション人材の養成は、我が国の経済成長を左右する喫緊の課題である。本取組では、医学研究科を始めとする神戸大学の生命医学関連研究科と関西エリアに集積する関連企業が連携することにより、従来の大学院教育では成しえなかった、企業マインドあふれる若手イノベーション人材を要請する。
女性研究者支援システム改革				
レボルーション！ 女性教員養成神戸スタイル	男女共同参画推進室	68,709	H22～H26	本学独自の育成研究員（教員採用候補者として育成）も対象として、新規養成女性教員を女性枠により公募で21名以上（教授、准教授、講師、助教）、理工農学系研究科に採用する。同女性教員を採用した研究科にはインセンティブとして同女性教員1名に対して1名の任期付き助教を学内経費により配置する（5年間）。全ての女性研究者を対象に「神戸キャリアアップカフェ」を開催し、更なる研究意欲・昇進意欲の向上を促す。新規養成女性教員に研究費（スタートアップ及び2・3年目）を支給、メンター2名（研究・ライフ）を配置し、理工農学系のすべての女性教員に研究スキルアップ経費を補助、全学の子育て中の女性研究者に研究支援員を配置する。
地域再生人材創出拠点の形成（科学技術戦略推進費補助金）				
企業を牽引する 計算科学高度技術者の養成	システム情報学研究科	92,560	H22～H26	地域に集積するものづくり産業を次世代型製造業へ転換させるために、社内で最先端シミュレーション技術の導入・利活用を牽引するリーダーの養成を目指す。プログラム相談室の設置など手厚い指導体制で、最先端スーパーコンピュータを駆使し、新産業を創出する人材を育成する。

18.大学間協定（国内）

○国内大学との大学間協定締結状況（H24.5.1現在で有効な協定）

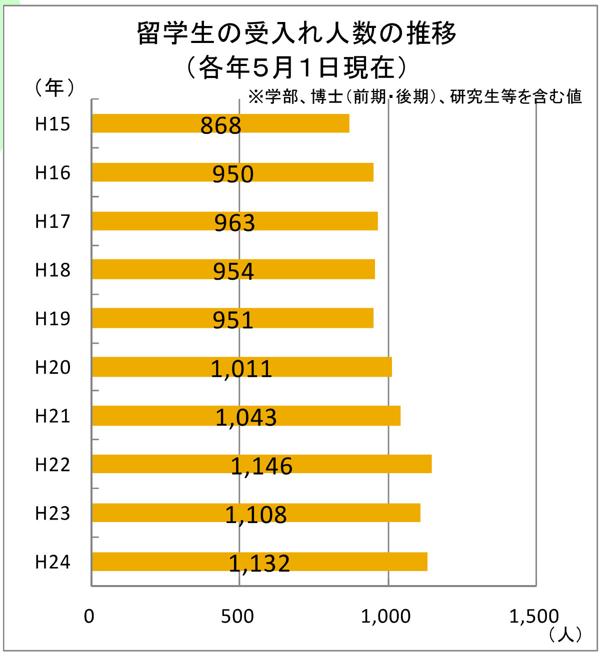
協定名称	協定締結機関	締結日	連携内容
国立大学法人神戸大学と学校法人神戸薬科大学との連携に関する協定	神戸薬科大学	H19.7.17	(1) 学部及び大学院における教育に関すること (2) 学術研究に関すること (3) 臨床研修に関すること (4) 教職員の相互交流に関すること (5) 地域社会及び国内外の教育研究機関との連携に関すること
国立大学法人神戸大学、兵庫県立大学及び独立行政法人海洋研究開発機構の教育研究に関する包括協定	兵庫県立大学 海洋研究開発機構	H19.8.6	次世代スーパーコンピュータを用いた教育研究における、 (1) 共同研究に関すること (2) 人材育成に関すること (3) 人材交流に関すること
[旧三商大]一橋大学、神戸大学及び大阪市立大学における教育交流に関する協定	一橋大学 大阪市立大学	H22.2.1	(1) 学生の交流の支援に関する事項 (2) 三大学学生研究討論会及び三商大体育大会を中心とした三大学間の学生交流事業等の促進に関する事項 (3) 各大学が開催する学術交流事業等に関する事項
国立大学法人神戸大学と国立大学法人京都大学との計算科学分野における連携協力に関する協定	京都大学	H22.4.1	(1) 計算科学分野の基礎から応用までの総合的な教育に関すること (2)計算科学分野における研究に関すること
大阪大学･神戸大学･関西大学･関西学院大学 国際化推進に向けたネットワーク形成に関する協定	大阪大学 関西大学 関西学院大学	H23.7.27	国際化推進のための、 (1) 情報及び資料の交換 (2) 教職員の交流事業 (3) 各大学に在籍する留学生同士及び留学生と産業界との交流事業 (4) 各大学が設置している海外拠点における諸活動
国立大学法人神戸大学と国立大学法人東北大学との災害科学分野における連携協力に関する協定	東北大学	H23.10.23	(1) 災害科学分野における学術研究に関すること (2) 災害科学分野における人材養成に関すること (3) 災害科学分野における社会貢献に関すること (4) その他災害科学分野における教育研究及び社会貢献に関し両大学が必要と認めて合意した事項

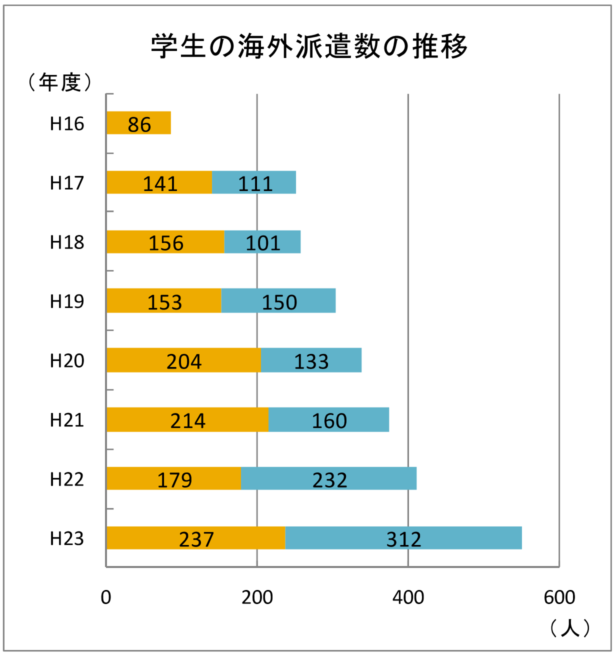
国際

19. 留学生受入れ・学生派遣状況

平成23年度における留学生の受入れ人数について、東日本大震災の影響により減少したと思われるが、平成24年度においては回復傾向にある。
学生派遣数は、引き続き年々増加している。

◆神戸大学◆



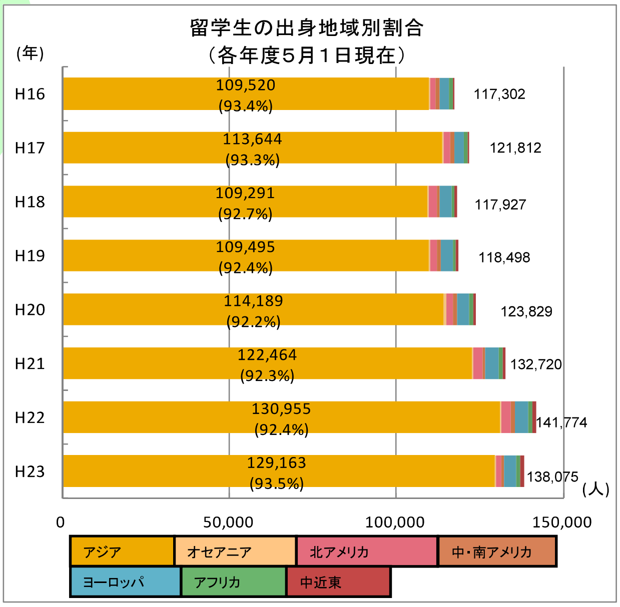


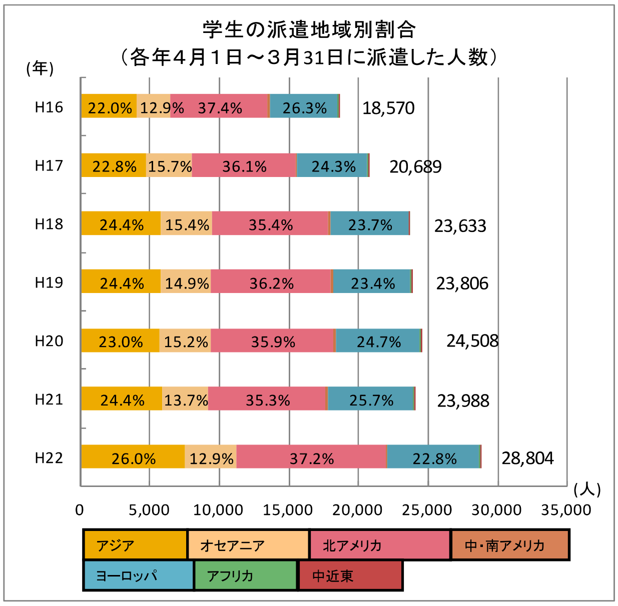
右：■は交換留学及び海外外国語研修（SOLAC）等のプログラムによる派遣、■は私費留学（H17年より集計開始）及び各部局の研修・実習、外部機関が実施するプログラム（H19年より集計開始）による派遣

国際

全国の留学生受入れ・学生派遣の地域別割合

「10万人計画」が達成された平成15年以降も、我が国の高等教育機関のグローバル化を目指す「留学生30万人計画」のもと、神戸大学をはじめ全国的にも留学生の受入れは増加している。





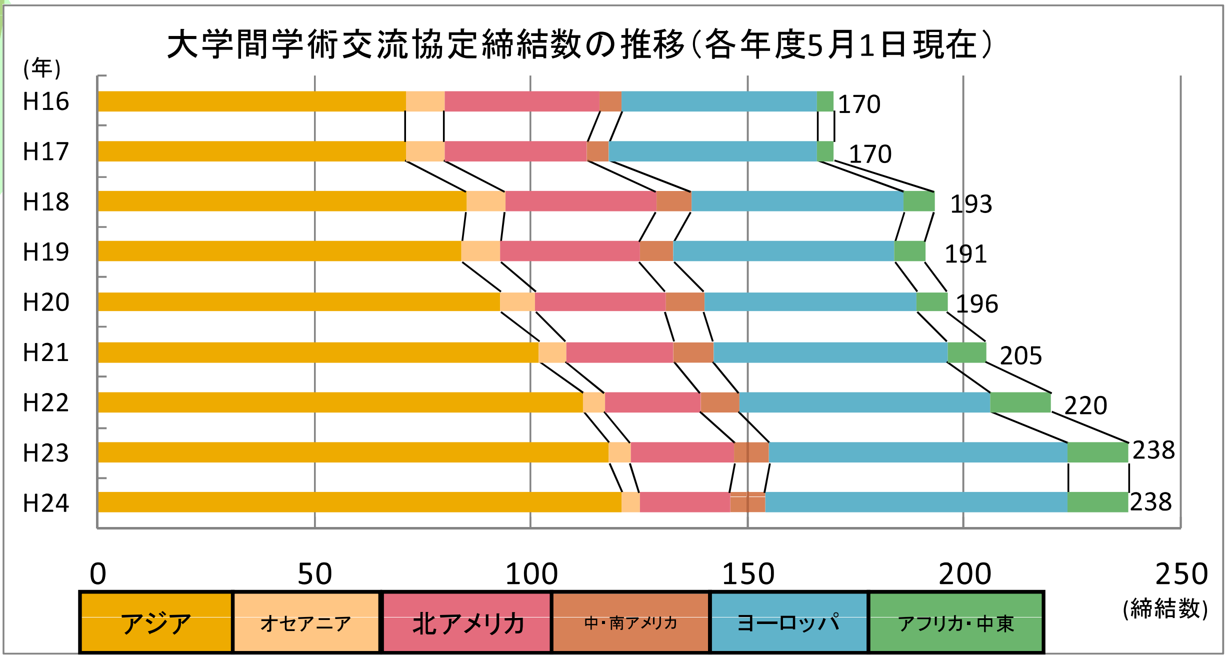
※（　）内は各年度における全体に対するアジア出身留学生の割合。

左：出典　JASSO「外国人留学生在籍状況」より作成

右：出典　JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況」より作成

20. 外国の大学等との学術交流協定の締結状況

◆神戸大学◆

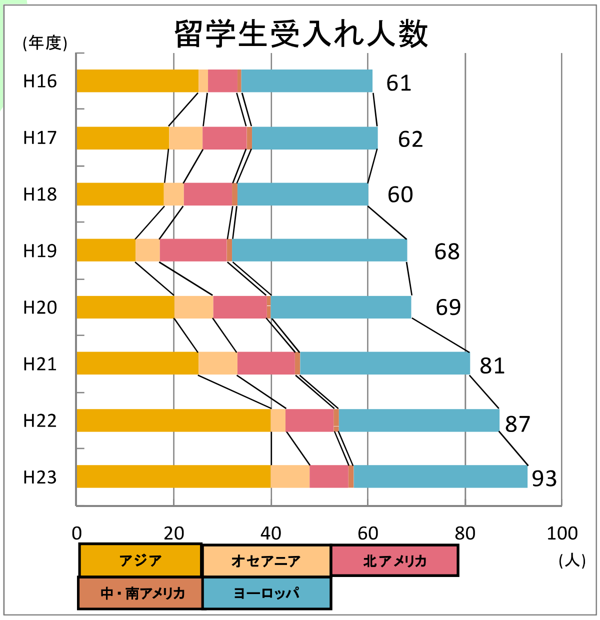


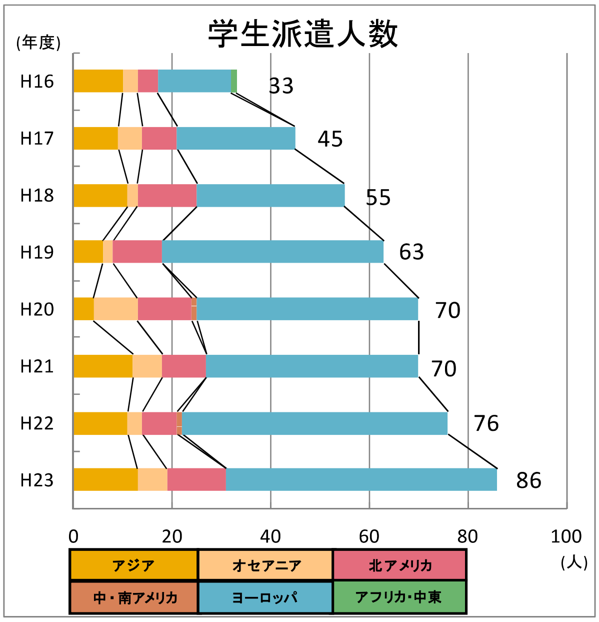
大学間学術交流協定に基づく留学生受入れ・学生派遣状況

受入れでは、アジアからの留学生の増加が目立つ。一方で、学生の派遣では、ヨーロッパ地域の大学への派遣がここ数年で大幅に増加していることがわかる。

◆神戸大学◆

※グラフ内の数値は各年度の総数

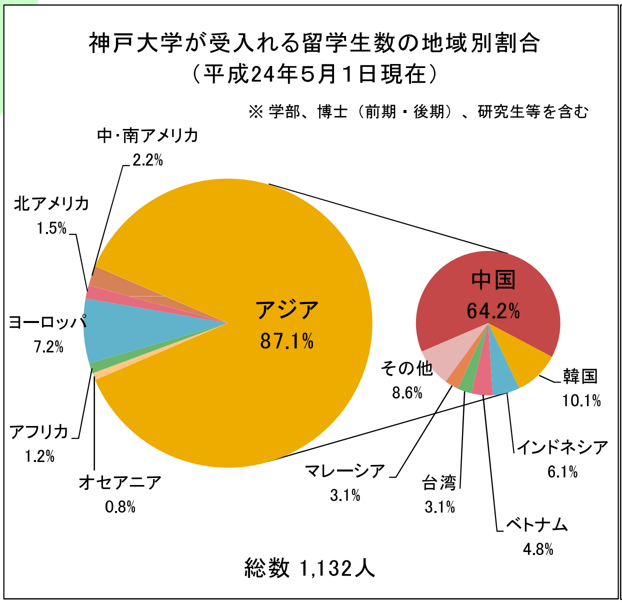


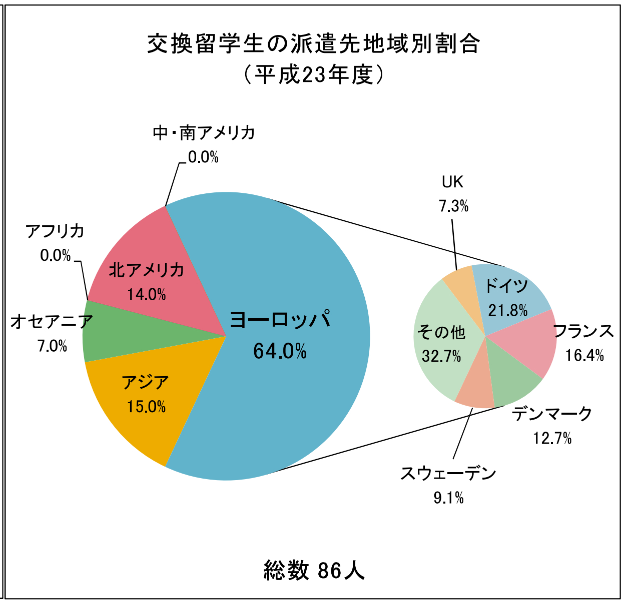


国際

20.【参考】神戸大学における留学生の出身地域・学生の派遣先地域

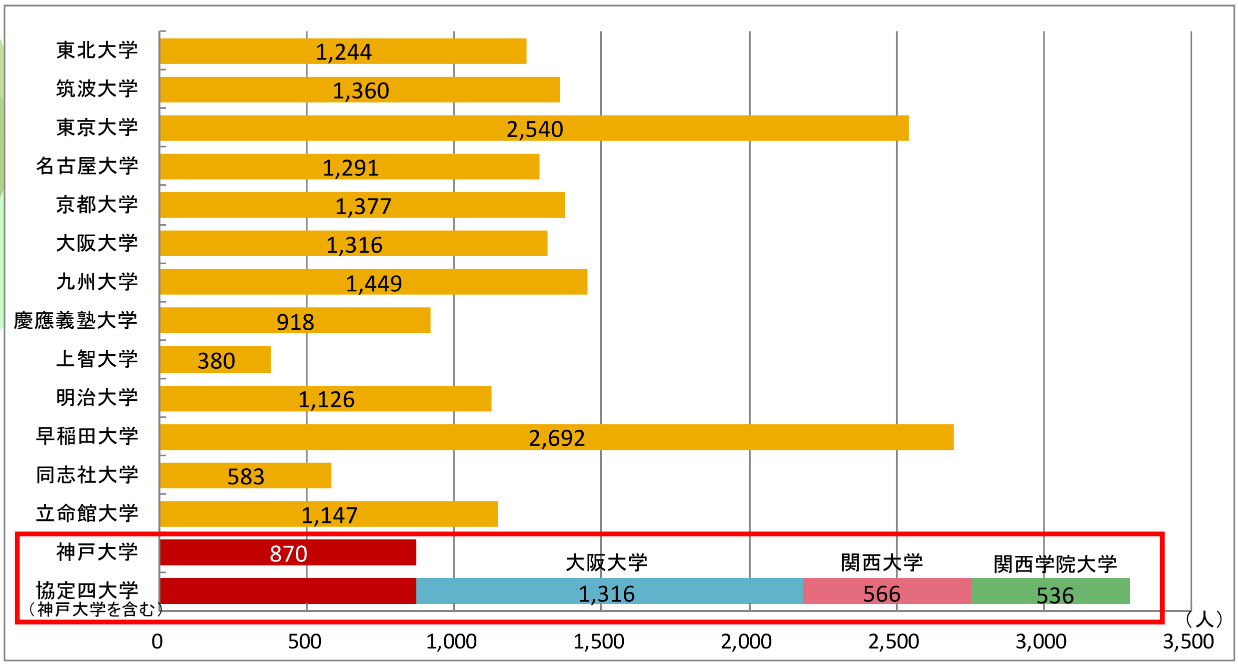
受入れではアジア、特に中国からの留学生が多く、学生の派遣地域としてはヨーロッパが多い。





国際

20.【参考】「グローバル30」採択拠点との留学生受入れ数の比較（平成23年度）



出典：朝日新聞出版『大学ランキング2013』より作成。グラフは学部留学生＋大学院留学生の値であり、研究生等を含まない。

神戸大学は平成23年７月、これまで推進してきた「大学の国際化」をさらに推進するべく、大阪大学、関西大学及び関西学院大学の四大学でネットワークを形成し連携を図るための協定を締結した。

20.【参考】神戸大学のダブルディグリープログラムによる学生交流者数

○神戸大学におけるダブルディグリー設置状況

平成24年7月1日現在

部局	課程	共同設置機関国	共同設置機関校	先方における関係部局	プログラム覚書締結日	派遣/受入開始日	派遣				受入					
							H21	H22	H23	H24	H19	H20	H21	H22	H23	H24
国際文化学研究科	修士	ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学※1	文学部	2012/3/28	2012年秋以降	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		中国	浙江大学※1	人文学院	2011/9/28	2012年4月	－	－	－	1	－	－	－	－	－	0
経済学研究科	修士	ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学※2	文学部	2010/1/18	2012年春(受入)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
			ルーヴァン・カトリック大学※1	文学部及び社会科学部	検討中	未定	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		中国	北京外国語大学※2	北京日本学研究センター	2010/5/18	2011年春	－	－	－	－	－	－	－	－	3	4
国際協力研究科	修士	インドネシア	インドネシア大学※3	経済学部	2006/6/28	2007年秋(受入) 2010年8月(派遣)	－	1	0	0	1	3	2	2	2	0
			ガジャマダ大学※3	経済学部	2006/6/28		－	0	0	0	1	2	3	2	3	0
				工学部	2006/6/28		－	0	0	0	2	2	1	1	2	0
			バンドン工科大学※3	建築・企画政策開発学科	2006/6/28		－	0	0	0	3	0	0	1	1	0
		韓国	ソウル国立大学校※1	国際関係学院	2011/11/25	調整中	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			高麗大学校	国際研究大学院	2012/3/26	調整中	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		中国	復旦大学	国際関係・公共事務学院	2012/6/12	調整中	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		英国	イーストアングリア大学	開発学部	2008/7/16	2009年秋	1	0	1	0	－	－	0	0	0	0
			ロンドン大学東洋アフリカ研究学院	全部局	2009/9/7	2010年秋	－	0	1	0	－	－	－	0	0	0
			サセックス大学	教育社会福祉学部	2010/2/25	2010年秋	－	2	0	0	－	－	－	0	0	0
		米国	ピッツバーグ大学	公共国際関係学研究科	2009/9/24	調整中	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		エジプト	カイロ大学	経済政治学研究科	2009/7/16	調整中	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※ － は、受入れ・派遣を開始していないことを示す。

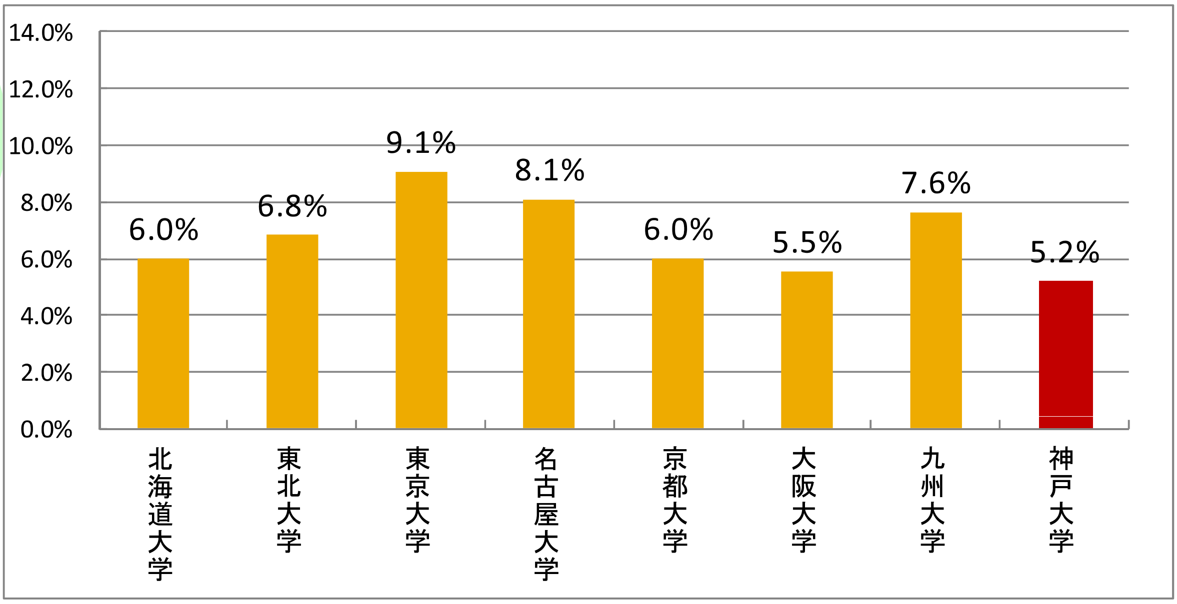
※1 授業料相互不徴収によるダブルディグリープログラム。

※2 受入れのみのダブルディグリープログラムであり、日本語学科の修士課程に在籍の学生を対象として、最短2年間で共同設置大学と神戸大学経済学研究科の修士号取得を目指すもの。

※3 インドネシア大学経済学部、ガジャマダ大学経済学部及び工学部、バンドン工科大学とは、2006年に日本の国際協力銀行(当時)の円借款による支援を受けてダブルディグリー取得を目指す学生の受入れのために覚書を交わし、2007年秋学期から、7名を受入れ。これらの大学とは、別途私費でダブルディグリー取得を目指す学生の相互派遣・受入れを目指した覚書も締結している。

国際

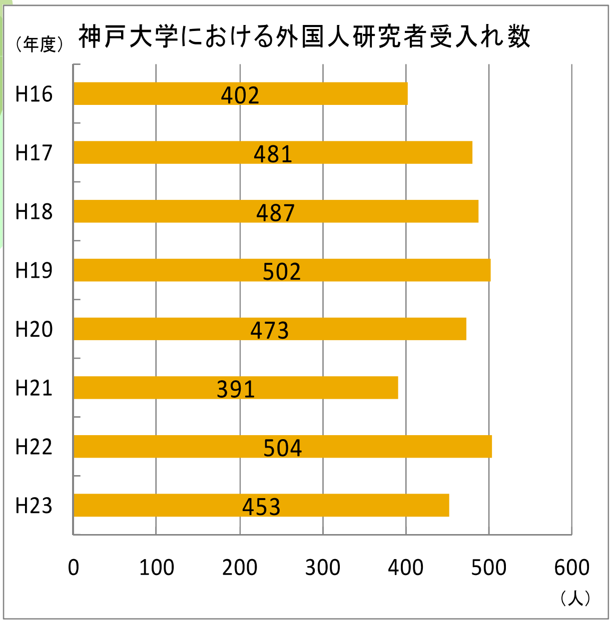
20.【参考】在籍学生数に占める留学生の割合比較（学部学生＋大学院生）

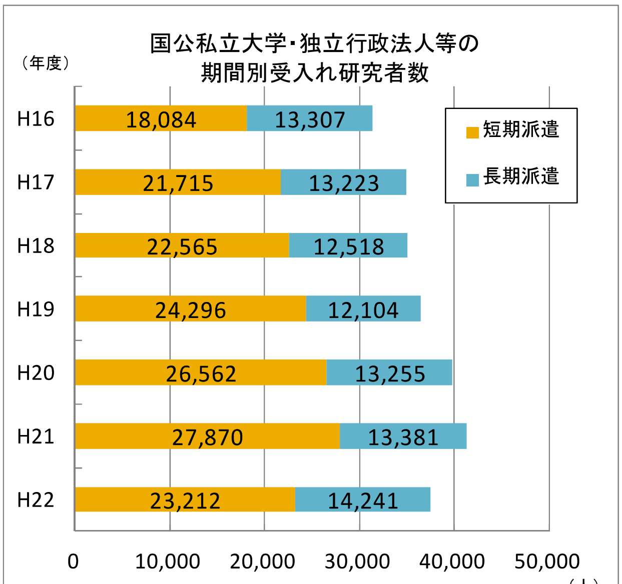


出典：各大学HPより作成（平成23年度）

21. 研究者等交流状況

◆外国人研究者受入れ数の推移◆

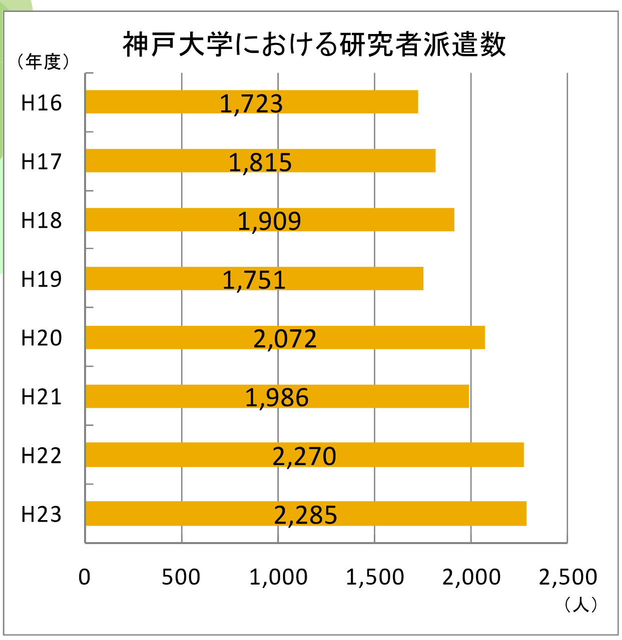


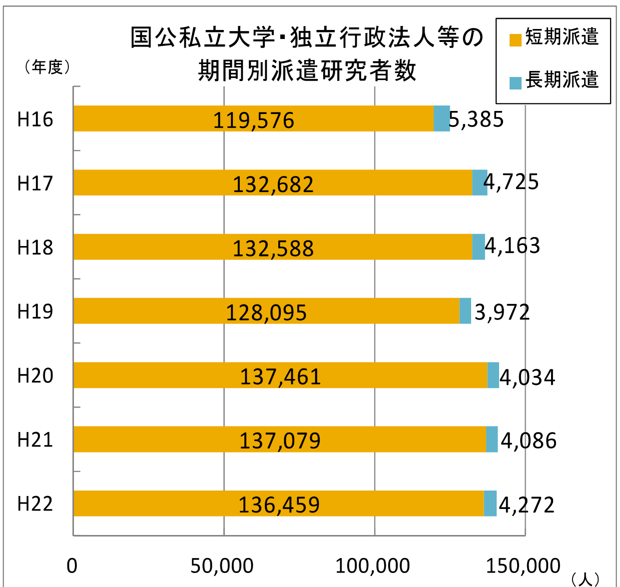


注1）30日以内を短期、31日以上を長期とする。
注2）ポスドク・特別研究員等の受入れ研究者数について、従前の調査では対象に含まれるかどうか明確ではなかったが、平成22年度の調査からは対象に含める。

右：出典　文部科学省 「国際研究交流の概況」より作成

◆研究者派遣数の推移◆





注1）30日以内を短期、31日以上を長期とする。
注2）従来の調査では対象に含まれるかどうか明確ではなかったが、平成20年度からポスドクを、平成22年度からポスドク・特別研究員等を対象に含める。

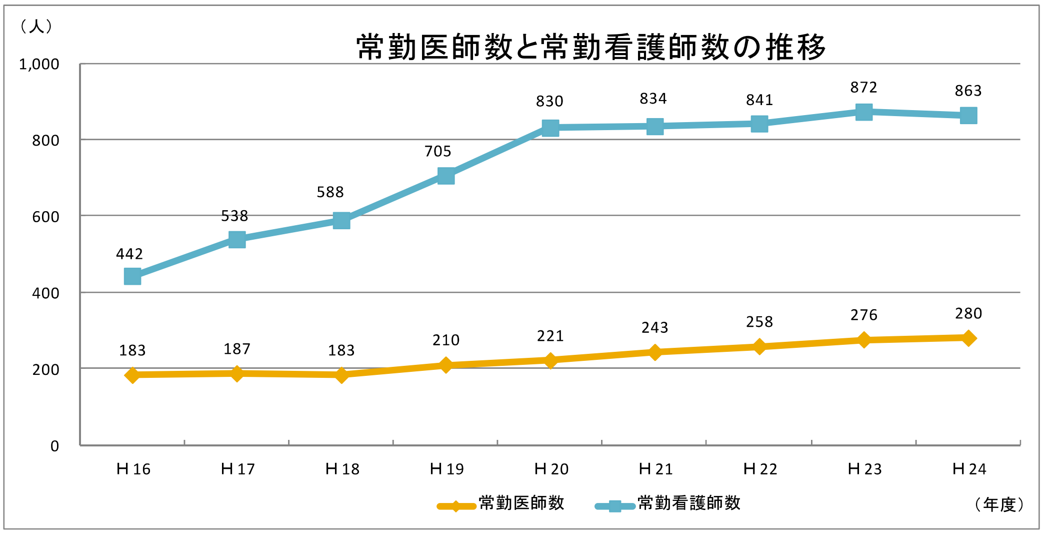
右：出典　文部科学省 「国際研究交流の概況」より作成

22. 病床数･常勤医師数･常勤看護師数

◆神戸大学◆

平成24年５月１日現在

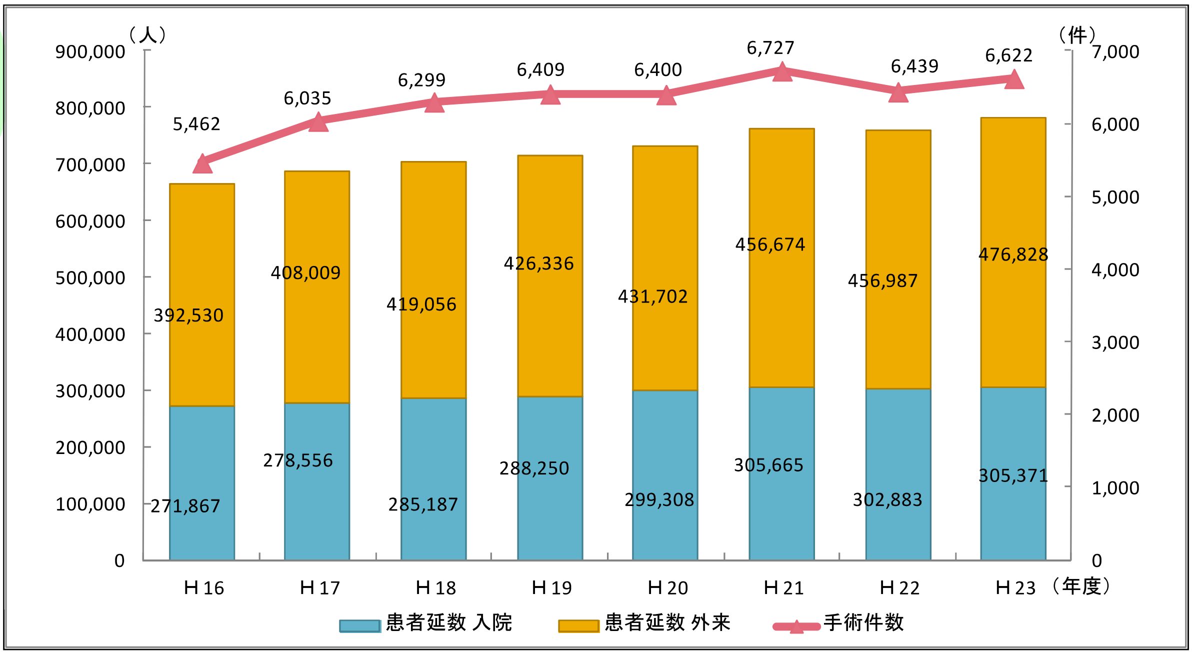
病床数		常勤医師数	常勤看護師数
一般病棟	精神病棟		
874床	46床	280名	863名



病院

23. 総手術件数と患者数の推移

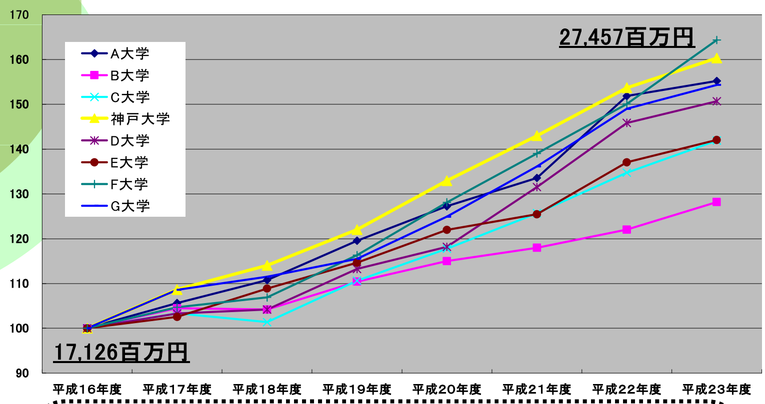
◆神戸大学◆



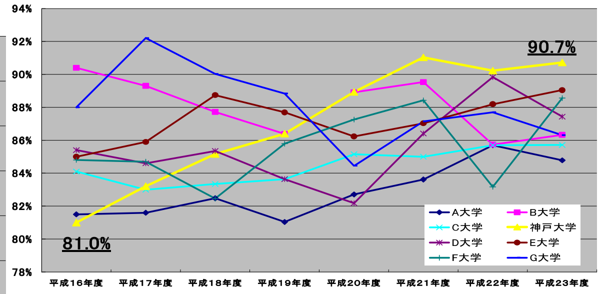
【参考】国立大学法人病院診療報酬請求額等の推移

● 病床数が同規模である8大学について比較をした。

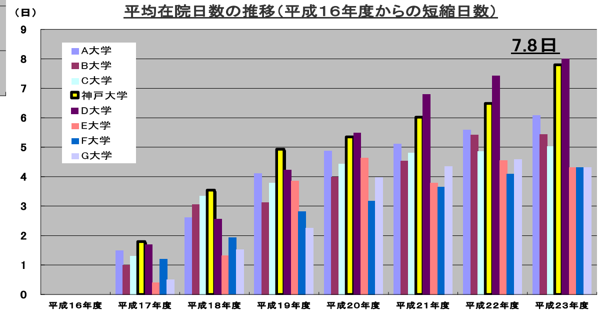
平成16年度を100とした場合の診療報酬請求額の伸び率
（平成16年度～平成23年度）



病床稼働率の推移（平成16年度～平成23年度）



平均在院日数の推移（平成16年度からの短縮日数）



◎診療報酬請求額（H16年度～H23年度）

17,126百万円→27,457百万円　【10,331百万円 増】

○病床稼働率（H16年度～H23年度）

81.0%→90.7%　【9.7% 増】

○平均在院日数（H16年度～H23年度）

24.8日→17.0日　【7.8日 減】

※出典
・診療報酬請求額・・・H16~H22：国立大学病院DBC病院資料、H23：国立大学病院DBC診療報酬稼働額Webﾃﾞｰﾀ
・病床稼働率・・・H16~H17:国立大学病院DBC病院資料、H18~H23:UMINﾃﾞｰﾀ
・平均在院日数・・・H16~H17:国立大学病院DBC病院資料、H18~H23:UMINﾃﾞｰﾀ
・病床数・・・国立大学病院DBC病院資料（H23.6.1現在）　・運営費交付金収益・・・文部科学省集計資料

《参考》

（千円）

大学名	病床数	運営費交付金収益（H22年度）	大学名	病床数	運営費交付金収益（H22年度）
A大学	1,035床	4,776,120	D大学	856床	3,104,335
B大学	946床	3,402,607	E大学	838床	2,868,274
C大学	925床	3,502,548	F大学	835床	3,570,133
神戸大学	920床	2,949,774	G大学	800床	1,965,837

神戸大学医学部附属病院は、教育・研究・高度医療・地域医療に貢献しています

教　育

将来の医療を担う医療従事者の育成
・医学生、看護学生等の教育
・初期研修医(104名)の指導
・専門医の養成(プログラム登録者614名)
・エキスパートコメディカルの育成
　(H24.8.1現在コース修了者58名)

診　療

・地域の中核病院として専門性を有した質の高い医療の提供
・小児科、産科、救急医療など地域医療の充実のための診療部門における医療の提供


手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」

研　究

臨床医学発展の推進と医療技術水準の向上への貢献
・新薬等開発のための臨床試験(治験)
・高度先進医療の開発
　腹腔鏡補助下膵体尾部切除又は核出術
　内視鏡的大腸粘膜下層剥離術
　ロボット支援手術　ほか

社会貢献

・地域がん診療連携拠点病院
・災害拠点病院
・エイズ治療拠点病院
・３次救急医療機関（３次的機能病院）
・医師が不足している地域に医師を派遣

24. 附属学校における連携授業

附属学校では、大学との連携授業を実施しています。

平成23年８月
海事科学研究科の協力の下、深江キャンパスにある海事科学部において、約150名の小学生・中等教育学校生及び保護者が海事科学部に集い大学の授業を受けました。

【授業内容】
放射能（平成23年３月の東北地方太平洋沖地震による福島第一原発事故とその影響について）

【体験実習】
附属練習船「深江丸」での乗船実習が行われました。

平成24年２月
保健学研究科の協力の下、名谷キャンパスにある医学部保健学科において、約150名の小学生・中等教育学校生及び保護者が大学の授業を受けました。

【授業内容】
・私たちが生まれる前の世界（ヒトの発生について）
・水中にいるときのからだは、地上にいるときと違うの？（「水治（すいち：理学療法の一種。水中運動を用いた治療）」の実験について）

【体験実習】
看護学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の各専攻に分かれて、体験実習が行われました。

附属学校

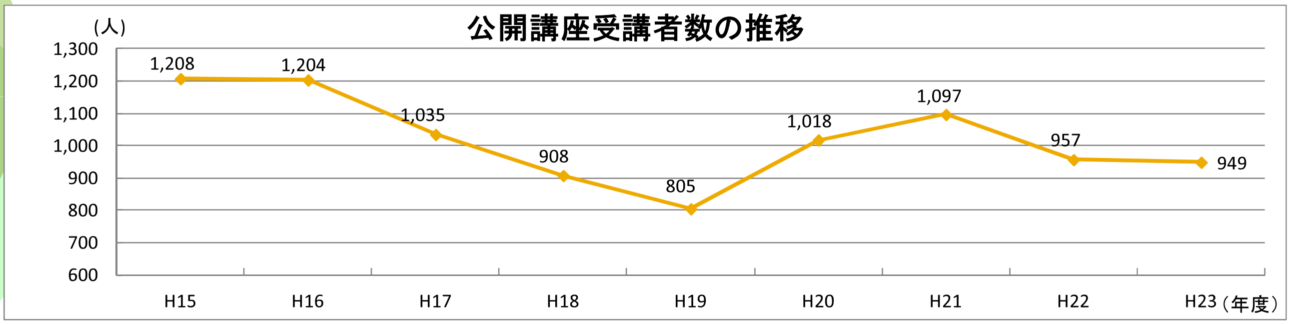
平成24年８月
医学研究科の協力の下、楠キャンパスにある医学部医学科において、約300名の小学生・中等教育学校生及び保護者が大学の授業を受けました。

【授業内容】
・脳のでき方とその異常
・21世紀のロボット手術

【体験実習】
「病院見学・聴診体験コース」「内視鏡手術体験コース」「研究室見学コース」に分かれて、体験実習や見学が行われました。

25. 公開講座実施状況

◆神戸大学◆



◎受講者の部局別内訳

単位：人

実施部局等	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
文学部・人文学研究科	75	250	98	58	38	48	70	46	98
国際文化学部・国際文化学研究科	55	68	44	66	42	117	120	116	94
発達科学部・人間発達環境学研究科	46	40	189	63					
法学部・法学研究科		67					205		
経済学部・経済学研究科				125					232
経営学部・経営学研究科	120					174			
理学部・理学研究科	139	277	288	126	128	124	189	80	
医学部医学科・医学研究科	80	59	59	95	47	78	66	66	59
医学部保健学科・保健学研究科	57	75	86	86	77	154	89	89	70
工学部	90	83	58	75	67	62	54	59	71
農学部・農学研究科	290	173	62	87	87	99	70	53	64
海事科学部・海事科学研究科	58	33	41	43	67	48	96	89	91
国際協力研究科					158				
経済経営研究所	48		50					223	
全学講座	150	79	60	84	94	114	138	136	170
合　計	1,208	1,204	1,035	908	805	1,018	1,097	957	949

（注）□ 及び海事科学部・海事科学研究科のH15中(6時間、170人）、H19中（3時間、24人)、H21中（7.5時間、延べ325人/5日）、H22中（1.5時間、延べ279人/5日）、H23中（1.5時間、延べ250人/5日）（7時間、24人）は、受講料無料の講座。

社会貢献

25. 【参考】平成23年度公開講座等実施状況

◆神戸大学◆

《公開講座》

部　局　名	講　　座　　名	受講対象者	時間数（時間）	募集人数（人）	受講者数（人）
全学	神戸大学研究最前線	一般市民、学生	9	100	170
人文学研究科	日本社会と大災害 －古代・中世から3.11大震災まで	一般市民、学生	9	100	98
国際文化学研究科	ネット社会を再考する ―心の問題から社会変容まで	一般市民、学生（中学生以上）	6	60	94
経済学研究科	グローバル金融危機に揺れるEU経済	一般市民、学生等	12	100	232
医学研究科	見る、聴く、話す、食べる	一般市民、学生等	10	100	59
保健学研究科	最新の研究から家庭の保健・医療へ	一般市民、学生（高校生以上）	4	100	70
工学部	身近な先端工学技術 －エネルギー、レアアース、ゲリラ豪雨など－	一般市民、学生	15	100	71
農学研究科	これからの日本の「農」を考える	興味のある人	3	100	64
海事科学研究科	マリー・キュリーの考えていたこと	原則として高校生以上	7	30	24
海事科学研究科	航海術と計器の発展－大航海時代から人工衛星まで－　（第5回海事博物館市民セミナー）	高校生以上	各1.5 （全5回）	各100	50/日※
海事科学研究科	ヨットクルージング	軽い運動が可能な成人	37	18	17

※ 海事博物館の公開講座受講者数　10/8＝50、10/15＝49、10/22＝56、11/5＝46、11/12＝49、　5日間で計250人により50/日と表記

《その他、セミナー、シンポジウム等》

部　局　名	講　　座　　名	受講対象者	時間数（時間）	募集人数（人）	受講者数（人）
国際文化学研究科	神戸大学・浙江大学共催国際シンポジウム 「東アジアの地平から見た辛亥革命の思想的価値 －近代化と留学交流の意義」	一般市民、学生等	4	100	151
理学部	サイエンスセミナー2011 「科学によって解き明かされる自然現象」	一般市民、高校生	各40分 （全5回）	120	110

Toward Global Excellence
in Research and Education

データと資料が語る神戸大学の今の姿
－神戸大学データ資料集－
平成２４年度

神戸大学企画部企画課

（平成24年9月作成）